

第1 鍼灸学科・第2 鍼灸学科 授業科目一覧表 (2026年度以降入学生)

教育内容	授業科目	授業形態	時間数	必修単位	実務経験のある教員による授業科目		
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活	トレーニング論	講義	30	2		
		スポーツ医学概論	講義	30	2		
		スポーツと栄養学	講義	30	2		
		健康とスポーツ	講義	30	2		
		食養生	講義	30	2		
		医療人のための英語	講義	30	2		
		心理学	講義	30	2		
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ	講義	15	1		
		人体の構造と機能Ⅱ	講義	15	1		
		人体の構造と機能Ⅲ	講義	15	1		
		人体の構造と機能Ⅳ	講義	15	1		
		人体の構造と機能Ⅴ	講義	15	1		
		人体の構造と機能Ⅵ	講義	15	1		
		人体の構造と機能Ⅶ	講義	15	1		
		人体の構造と機能Ⅷ	講義	15	1		
		基礎演習Ⅰ	演習	15	1		
		基礎演習Ⅱ	演習	15	1		
		基礎演習Ⅲ	演習	15	1		
		基礎演習Ⅳ	演習	15	1		
		基礎演習Ⅴ	演習	15	1		
		基礎演習Ⅵ	演習	15	1		
		疾病の成り立ち、予防 及び回復の促進	病理学	講義	30	1	
			衛生学・公衆衛生学	講義	30	1	
			リハビリテーション医学	講義	30	1	
	臨床医学Ⅰ		講義	30	1		
	臨床医学Ⅱ		講義	30	1		
	臨床医学Ⅲ		講義	30	1		
	臨床医学Ⅳ		講義	30	1		
	臨床医学Ⅴ		講義	30	1		
	基礎臨床医学演習Ⅰ		演習	15	1		
	基礎臨床医学演習Ⅱ		演習	15	1		
	保健医療福祉と はり及びきゅうの理念	医療概論	講義	15	1		
		関係法規	講義	15	1		
		基礎保健医療演習	演習	15	1		
	専門分野	基礎はりきゅう学	基礎はりきゅう学	講義	15	1	●
			経絡経穴概論Ⅰ	講義	30	1	●
			経絡経穴概論Ⅱ	講義	30	1	●
			東洋医学概論Ⅰ	講義	30	1	●
			東洋医学概論Ⅱ	講義	30	1	●
			東洋医学概論Ⅲ	講義	30	1	●
基礎経絡経穴演習			演習	15	1	●	
基礎東洋医学演習Ⅰ			演習	15	1	●	
基礎東洋医学演習Ⅱ			演習	15	1	●	
臨床はりきゅう学			メディカルインタビュー・サポートコーチング	演習	30	1	●
			臨床はりきゅう学Ⅰ	講義	60	2	●
			臨床はりきゅう学Ⅱ	講義	30	1	●
			臨床はりきゅう学Ⅲ	講義	60	2	●
		臨床はりきゅう学Ⅳ	講義	30	1	●	
		はりきゅう診療シミュレーション	演習	30	1	●	
		臨床はりきゅう学演習Ⅰ	演習	15	1	●	
		臨床はりきゅう学演習Ⅱ	演習	15	1	●	
		臨床はりきゅう学演習Ⅲ	演習	15	1	●	
		臨床はりきゅう学演習Ⅳ	演習	15	1	●	
		スポーツはりきゅう学	講義	15	1	●	
		美容はりきゅう学	講義	15	1	●	
		スポーツセラピー	講義	15	1	●	
		コスメティックサイエンス	講義	15	1	●	
		経絡治療	講義	15	1	●	
		伝統はりきゅう技法	講義	15	1	●	
		社会はりきゅう学	社会はりきゅう学	講義	15	1	●
プライマリ・ヘルスケア			講義	30	2	●	
基礎はりきゅう実技			実習	45	1	●	
実習		取穴実技Ⅰ	実習	45	1	●	
		取穴実技Ⅱ	実習	45	1	●	
		触察解剖実技	実習	45	1	●	
		臨床はりきゅう実技Ⅰ	実習	60	2	●	
		臨床はりきゅう実技Ⅱ	実習	60	2	●	
		臨床はりきゅう実技Ⅲ	実習	45	1	●	
		臨床はりきゅう実技Ⅳ	実習	45	1	●	
		臨床はりきゅう実技Ⅴ	実習	45	1	●	
		はりきゅう診療シミュレーション実技	実習	45	1	●	
		スポーツはりきゅう実技	実習	45	1	●	
		美容はりきゅう実技	実習	45	1	●	
		スポーツセラピー実技	実習	45	1	●	
		コスメティックセラピー実技	実習	45	1	●	
		経絡治療実技	実習	45	1	●	
		伝統はりきゅう技法実技	実習	45	1	●	
		臨床実習	臨床実習Ⅰ	実習	45	1	●
			臨床実習Ⅱ	実習	45	1	●
臨床実習Ⅲ			実習	45	1	●	
臨床実習Ⅳ			実習	45	1	●	
総合領域	総合はりきゅう演習Ⅰ	演習	30	1			
	総合はりきゅう演習Ⅱ	演習	30	1			
	総合はりきゅう演習Ⅲ	演習	30	1			
	総合はりきゅう演習Ⅳ	演習	30	1			
	総合はりきゅう演習Ⅴ	演習	30	1			
	総合はりきゅう演習Ⅵ	演習	30	1			
	総合はりきゅう演習Ⅶ	演習	30	1			
	総合はりきゅう演習Ⅷ	演習	30	1			
	総合演習Ⅰ	演習	15	1			
	総合演習Ⅱ	演習	15	1			
	総合演習Ⅲ	演習	15	1			
	キャリアデザイン	演習	30	1	●		
	合 計			2655	107	53単位	

認定規則外 アスレティックトレーナー 専攻併修	コーチング論Ⅰ	講義	30	1	
	コーチング論Ⅱ	講義	30	1	
	アスレティックトレーナーの役割	講義	30	1	
	スポーツ予防学Ⅰ	講義	30	1	
	スポーツ予防学Ⅱ	講義	30	1	
	スポーツ予防学実習	実習	30	1	
	コンディショニング論	講義	30	1	
	コンディショニング実習Ⅰ	実習	30	1	
	コンディショニング実習Ⅱ	実習	30	1	
	リコンディショニング論	講義	30	1	
	リコンディショニング実習Ⅰ	実習	30	1	
	リコンディショニング実習Ⅱ	実習	30	1	
	救急対応	演習	30	1	
	救急対応実習	実習	30	1	
	検査・測定と評価	演習	30	1	
	機能解剖学Ⅰ	講義	30	1	
	機能解剖学Ⅱ	講義	30	1	
	運動生理学	講義	30	1	
	スポーツバイオメカニクス	講義	30	1	
	スポーツ科学	講義	30	1	
	スポーツ医学Ⅰ	講義	30	1	
	スポーツ医学Ⅱ	講義	30	1	
	現場実習	実習	180	4	
合 計			840	26	

授業シラバス

科目名	トレーニング論	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	前期		
		単位数	2 単位	時間数	30 時間	授業形態	講義		
担当者	吉田 勲生	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	無								
DPとの関連	DP 1		DP 2		DP 3	◎	DP 4		DP 5

授業の概要										
<p>スポーツトレーニングの科学的な基礎理論を学ぶ授業です。なぜ練習をすると強くなるのか。どんな練習をすればいいのか。休養はなぜ必要なのか。これらの問いに科学的に答えられるようになることを目指します。</p> <p>前半（第1～9回）はJSP0 リファレンスブックに基づき、トレーニングの基本的な考え方・理論体系と体力のトレーニング（神経・筋・エネルギー・各体力要素の鍛え方）を学びます。</p> <p>後半（第10～15回）はスキルトレーニング・メンタルトレーニング・栄養・医学的知識を学び、最後に自分自身のトレーニング計画を立案する実践演習で締めくくります。</p>										
到達目標										
<p>トレーニングとは何かを正確に説明できる（体力だけでなく技術・戦術・心理・栄養・休養を含む）。</p> <p>トレーニングサイクル・パフォーマンス構造論・期分けの考え方を理解し説明できる。</p> <p>SMART な目標設定ができ、ニーズ分析に基づくトレーニング手段を選択できる。</p>										
学修上の助言										
<p>本授業は講義内容を理解するだけでなく、実際の身体動作やトレーニング場面と結びつけて学習することが重要である。授業内で扱う評価方法やトレーニング手法については、受動的に学ぶだけでなく、自ら考え実践する姿勢を持つことが望ましい。</p>										
成 績 評 価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分				100					100
	評価の実施方法と注意点									
	<p>授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。</p> <p>筆記試験ではなくレポート提出で評価します（100 点満点）。合計点が 60 点以上で合格となります。</p>									
	<p>受験資格・出席について</p> <p>【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。</p>									
教科書・参考図書										
<p>教科書：</p> <p>参考図書等：共通科目リファレンスブック：公益社団法人 日本スポーツ協会</p>										
授業時間外の学習について										
<p>授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。</p>										
特記事項										

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系Ⅰ (P131～P155)	オンデマンド	配布資料により復習を行う。
2	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系Ⅱ (P131～P155)	オンデマンド	配布資料により復習を行う。
3	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系Ⅲ (P131～P155)	オンデマンド	配布資料により復習を行う。
4	スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系Ⅳ (P131～P155)	オンデマンド	配布資料により復習を行う。
5	体カトレーニングⅠ (P156～P191)	オンデマンド	配布資料により復習を行う。
6	体カトレーニングⅡ (P156～P191)	オンデマンド	配布資料により復習を行う。
7	体カトレーニングⅢ (P156～P191)	オンデマンド	配布資料により復習を行う。
8	体カトレーニングⅣ (P156～P191)	オンデマンド	配布資料により復習を行う。
9	体カトレーニングⅤ (P156～P191)	オンデマンド	配布資料により復習を行う。
10	スキルトレーニングⅠ (P192～P202)	オンデマンド	配布資料により復習を行う。
11	スキルトレーニングⅡ (P192～P202)	オンデマンド	配布資料により復習を行う。
12	スキルトレーニングⅢ (P192～P202)	オンデマンド	配布資料により復習を行う。
13	心のトレーニングⅠ (P203～P238)	オンデマンド	配布資料により復習を行う。
14	心のトレーニングⅡ (P203～P238)	オンデマンド	配布資料により復習を行う。
15	心のトレーニングⅢ (P203～P238)	オンデマンド	

授業シラバス

科目名	スポーツ医科学概論	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	前期			
		単位数	2 単位	時間数	30 時間	授業形態	講義			
担当者	山根 太治	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	無									
DPとの関連	DP1		DP2		DP3	◎	DP4		DP5	

授業の概要

・スポーツ現場で必要となるスポーツ医学に関する知識について学ぶ。また、各種内科・外科的障害の予防・対策、救急処置・コンディショニングの手法など現場で活用できる知識を学ぶ。

到達目標

- ・代表的なスポーツ外傷・障害およびスポーツ活動と関連する代表的な内科疾患等に関する疫学、病態、発生機転、予防、一般的治療プロセスについて説明できる。
- ・スポーツ現場で起こりうる留意すべき重篤な外傷や疾病についての疫学、病態、発生機転、予防、一般的治療プロセスについて説明できる。
- ・女性、スポーツによる精神障害の特徴および医学的留意事項を説明できる。
- ・コンディショニングの手法について説明できる。

学修上の助言

オンデマンド動画を繰り返し視聴し知識を定着させる。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分					100				
評価の実施方法と注意点										
期末試験（筆記試験）を行い、100 点満点で評価します。 合計点が 60 点以上で合格となります。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：

参考図書等：共通科目リファレンスブック（公益社団法人 日本スポーツ協会）

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	スポーツに関する医科学的知識Ⅰ (スポーツと健康・アスリートの健康管理)	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
2	スポーツに関する医科学的知識Ⅱ (アスリートの内科的障害と対策①)	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
3	スポーツに関する医科学的知識Ⅲ (アスリートの内科的障害と対策②)	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
4	スポーツに関する医科学的知識Ⅳ (女性アスリートの障害と対策)	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
5	スポーツに関する医科学的知識Ⅴ (スポーツによる精神障害と対策)	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
6	スポーツに関する医科学的知識Ⅵ (外傷障害の予防①)	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
7	スポーツに関する医科学的知識Ⅶ (外傷障害の予防②)	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
8	スポーツに関する医科学的知識Ⅷ (テーピングの手法①)	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
9	スポーツに関する医科学的知識Ⅷ (テーピングの手法②)	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
10	スポーツに関する医科学的知識Ⅸ (救急蘇生法)	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
11	スポーツに関する医科学的知識Ⅹ (外科的応急処置)	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
12	コーチング環境の特徴Ⅰ	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
13	コーチング環境の特徴Ⅱ	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
14	コーチング環境の特徴Ⅲ	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
15	コーチング環境の特徴Ⅳ	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。

授業シラバス

科目名	スポーツと栄養学	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	前期			
		単位数	2 単位	時間数	30 時間	授業形態	講義			
担当者	桑原 彩 吉田 勲生	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	無									
DPとの関連	DP 1		DP 2		DP 3	◎	DP 4		DP 5	

授業の概要

- ・基礎の栄養学をスポーツ現場で活用・指導できるようについて学ぶ。
- ・スポーツ現場におけるアンチ・ドーピングについて学ぶ。
- ・心臓・動脈・静脈など循環器系の構造と機能を学び、血液循環の仕組みを理解するとともに、運動時の身体変化やスポーツ現場での活用について学修する。

到達目標

- ・スポーツの現場で、実際に選手が必要な栄養をとるために何をどれくらい食べればよいかを指導できる知識と技術を身につける。
- ・心臓・動脈・静脈の基本的な構造と役割を説明できる。
- ・循環器系の知識をスポーツや健康管理に活用できる。

学修上の助言

オンデマンド動画を繰り返し視聴し知識を定着させる。

評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
評価配分				72			28		100

成績評価	評価の実施方法と注意点									
	授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。 桑原担当分、吉田担当分を合わせて 100 点 (%) 満点で評価します。配分は以下のとおりです。 【桑原 1～10 コマ目】 オンデマンド課題提出 (28%分) 及び 10 コマ目の期末レポート (42%分) で評価します。 【吉田 11～15 コマ目】 15 コマ目の期末レポート (30%分) で評価します。									
	受験資格・出席について									
	【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。									

教科書・参考図書

教科書：

参考図書等：共通科目リファレンスブック（公益社団法人 日本スポーツ協会）

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	栄養学の基礎 五大栄養素の役割と特徴	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
2	五大栄養素の役割と特徴・アセスメント	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
3	サプリメント摂取に関する注意点	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
4	基本の食事（日本人の食事摂取基準と食事バランスガイド）	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
5	水分補給と熱中症	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
6	栄養・食事計画の立案Ⅰ	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
7	栄養・食事計画の立案Ⅱ（試合期）	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
8	栄養・食事計画の立案Ⅲ（女性アスリート）	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
9	アンチドーピング	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
10	まとめ スポーツと栄養	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
11	心臓の構造と血液循環、運動時の心臓のはたらき	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
12	主要な動脈の名称と走行、運動時の血流変化	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
13	主要な静脈の名称と静脈還流、疲労回復との関係	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
14	循環器系の総まとめとスポーツ現場での活用	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。
15	まとめ 循環器系の総まとめとスポーツ現場での活用	オンデマンド	授業で学んだ内容を復習する。

授業シラバス

科目名	健康とスポーツ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	前期		
		単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	講義		
担当者	岩内 和也	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	無								
DPとの関連	DP1		DP2		DP3	◎	DP4		DP5

授業の概要

現代社会は、経済や科学技術の発展により生活が豊かで便利になった反面、身体を動かす機会が減少し、運動不足に陥りやすい生活環境、生活様式となっています。このような中で、子どもの体力や青少年の体力・運動能力は長期的に低下傾向にあります。また、高齢者社会が進む中、「健康寿命」（自立した生活を送れる期間）の視点が重要視されてきています。こうした社会状況の中で、健康の維持・増進、運動能力向上などに効果的で、身体活動による爽快感、達成感、ストレス発散等々、心の健康にも効果がある「スポーツ」が果たす役割はますます増していくものと思われれます。この『健康とスポーツ』では、「スポーツ」を単にアスリート（競技者）のものでなく、子どもから大人、高齢者まで、誰もが、気楽に、楽しめるものとして捉え、生活の質（QOL）を高める重要なツールであることを、いくつかの種目やトレーニングメソッドを通して体験的に学び、各自が社会の中で「生涯スポーツ」に関わっていける資質を高めていくことをねらいとします。

到達目標

- ・各種目における「技術」、「体の使い方」、「すすめ方とルール」を理解し実践できる。
- ・トレーニングメソッドに、前向きに取り組み、その方法について理解し、効果について簡単に説明できる。

学修上の助言

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分								100	
評価の実施方法と注意点										
授業時数の3分の2以上出席したものを評価対象とします。										
技能 20%、関心・態度・態度 30%、知識・理解 50%（実習カード、レポート）										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：特にありません

参考図書等：必要に応じて資料を配布します

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	①オリエンテーション ②ライフキネティックの概要	対面	ライフキネティックの概要について復習しておく
2	①ライフキネティックの実際 ②フットサル…ボールを止める、蹴る	対面	止める・蹴るのコツやイメージを再確認しておく
3	①ライフキネティックの実際 ②フットサル…パス、ドリブル（ボールを運ぶ）	対面	パスとドリブルの方法をイメージトレーニングで復習
4	①ライフキネティックの実際 ②フットサル…ルール説明、基本戦術、スモールゲーム	対面	ルール、基本戦術について再確認しておく
5	①ライフキネティックの実際 ②フットサル…基本戦術、ゲーム	対面	ルールについて復習しておく。
6	①ライフキネティックの実際 ②ドッジビー…種目の説明、フライングディスクのスローとキャッチ	対面	種目の概要について復習しておく
7	①ライフキネティックの実際 ②ドッジビー…ルール説明、ゲーム	対面	ルール、ゲームの進め方について復習しておく
8	①ライフキネティックの実際 ②ドッジビー…ゲーム	対面	ゲームの中での動き方について振り返って自己評価しておく
9	①ライフキネティックの実際 ②アルティメット…種目の説明、基本動作（スロー、キャッチ）	対面	種目の概要、特性について復習しておく
10	①ライフキネティックの実際 ②アルティメット…ルール説明、基本戦術、スモールゲーム	対面	ルール、基本戦術について再確認しておく
11	①ライフキネティックの実際 ②アルティメット…ゲーム	対面	ゲームの中での動き方について振り返って自己評価しておく
12	①ライフキネティックの実際 ②ウォーキングサッカー…種目の説明、ルール説明、基本練習	対面	種目の概要、特性について復習しておく
13	①ライフキネティックの実際 ②ウォーキングサッカー…基本戦術、スモールゲーム	対面	基本戦術について再確認し、ゲームの中での動き方について復習しておく
14	①ライフキネティックの実際 ②ウォーキングサッカー…ゲーム	対面	基本戦術について再確認し、ゲームの中での動き方について復習しておく
15	①ウォーキングサッカー…ゲーム ②まとめ	対面	本講義で学んだ全ての内容について復習しておく

授業シラバス

科目名	人体の構造と機能 I	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	前期		
		単位数	1 単位	時間数	15 時間	授業形態	講義		
担当者	中本 琴音	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	無								
DPとの関連	DP 1	◎	DP 2		DP 3		DP 4		DP 5

授業の概要

鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。人体を構成する細胞、組織と器官の構造と機能を理解し、“かたち”と“働き”について関連付けながら学習していく。

到達目標

1. 細胞や組織について説明できる。
2. 骨の構造を説明できる。
3. 骨とその各部分の名称を説明できる。
4. 骨と骨格筋の関係を説明できる。
5. 関節とその運動の仕組みを説明できる。
6. 関節における主要な靭帯について説明できる。

学修上の助言

1. 基礎医学を初めて学ぶ学生を前提とする。
2. 事前学修・事後学修をしっかりと行うこと。
3. 授業で紹介するキーワードを中心に理解を深めること。
4. 課題は期限内に提出すること。
5. 病気や治療に興味を持って接すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
		評価配分	100%							
評価の実施方法と注意点										
期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。 成績評価は 100 点満点で採点し、60 点以上を得た場合に単位修得を認める。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：
参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	細胞の構造と機能、物質移動、体液の組成と働き、組織	オンデマンド	
2	骨学総論	オンデマンド	
3	上肢帯・下肢帯の関節と靭帯	オンデマンド	
4	上肢帯：上肢の骨	オンデマンド	
5	下肢帯：下肢の骨	オンデマンド	
6	体幹：頸～尾の脊柱、胸骨、肋骨	オンデマンド	
7	頭蓋骨：脳頭蓋、顔面頭蓋、内・外頭蓋底	オンデマンド	
8	まとめ（評価を含む）	対面	

授業シラバス

科目名	人体の構造と機能Ⅱ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	前期		
		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義		
担当者	中本 琴音	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	無								
DPとの関連	DP1	◎	DP2		DP3		DP4		DP5

授業の概要

鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。人体を構成する細胞、組織と器官の構造と機能を理解し、“かたち”と“働き”について関連付けながら学習していく。

到達目標

1. 筋の基本構造と機能について説明できる。
2. 筋の名称とその筋の起始停止作用について説明できる。
3. 骨格筋とその他の構造物との関係を説明できる。
4. 筋の局所解剖について説明できる。

学修上の助言

1. 基礎医学を初めて学ぶ学生を前提とする。
2. 事前学修・事後学修をしっかりと行うこと。
3. 授業で紹介するキーワードを中心に理解を深めること。
4. 課題は期限内に提出すること。
5. 病気や治療に興味を持って接すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100%								
評価の実施方法と注意点										
期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。成績評価は100点満点で採点し、60点以上を得た場合に単位修得を認める。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：
参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	筋の構造と働き、筋収縮のしくみ、筋のエネルギー供給の仕組み、	オンデマンド	
2	筋学の総論、筋の起始・停止、分類、形状	オンデマンド	
3	上肢帯、上腕、前腕の筋①	オンデマンド	
4	上肢帯、上腕、前腕の筋②	オンデマンド	
5	下肢帯、大腿、下腿①	オンデマンド	
6	下肢帯、大腿、下腿②	オンデマンド	
7	体幹（背・腹）	オンデマンド	
8	まとめ（評価を含む）	対面	

授業シラバス

科目名	人体の構造と機能Ⅲ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	前期		
		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義		
担当者	宮城 凌央 中村 暢俊	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	無								
DPとの関連	DP1	◎	DP2		DP3		DP4		DP5

授業の概要

鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。人体を構成する細胞、組織と器官の構造と機能を理解し、“かたち”と“働き”について関連付けながら学習していく。

到達目標

1. 神経系の概要を説明できる。
2. 脊髄の構造、機能を説明できる。
3. 脳幹の構造、機能を説明できる。
4. 間脳の構造と機能を説明できる。
5. 小脳の構造と機能を説明できる。
6. 大脳の構造と機能を説明できる。
7. 伝導路について説明できる。

学修上の助言

1. 基礎医学を初めて学ぶ学生を前提とする。
2. 事前学修・事後学修をしっかりと行うこと。
3. 授業で紹介するキーワードを中心に理解を深めること。
4. 課題は期限内に提出すること。
5. 病気や治療に興味を持って接すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100%								
評価の実施方法と注意点										
期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。成績評価は100点満点で採点し、60点以上を得た場合に単位修得を認める。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：
参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	ニューロンの構造と働き、神経線維の興奮伝導、シナプス伝達	オンデマンド	
2	伝導路、脳室、脳波、髄膜	オンデマンド	
3	脳神経	オンデマンド	
4	大脳	対面	
5	間脳、小脳	対面	
6	脳幹（中脳、橋、延髄）	対面	
7	脊髄	対面	
8	まとめ（評価を含む）	対面	

授業シラバス

科目名	人体の構造と機能Ⅳ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	後期		
		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義		
担当者	宮城 凌央 中村 暢俊	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	無								
DPとの関連	DP1	◎	DP2		DP3		DP4		DP5

授業の概要

鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。本講義では末梢神経(脊髄神経、自律神経)の“かたち”と“働き”について関連付けながら学習する。

到達目標

1. 脊髄神経の構造と機能を説明できる。2. 自律神経の構造と機能を説明できる。3. 神経の構造と機能を説明できる。

学修上の助言

1. 基礎医学を初めて学ぶ学生を前提とする。2. 事前学修・事後学修をしっかりと行うこと。3. 授業で紹介するキーワードを中心に理解を深めること。4. 課題は期限内に提出すること。5. 病気や治療に興味を持って接すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100%								
評価の実施方法と注意点										
期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。 成績評価は100点満点で採点し、60点以上を得た場合に単位修得を認める。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：からだが見える「人体の構造と機能」第1版 メディックメディア

参考図書等：『人体の正常構造と機能』改訂第5版 日本医事新報社

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習(50分程度)を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

※医療人として相応しい人間性(知識・技能)の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	脊髄神経の構造と機能 頸神経叢の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
2	腕神経叢の構造と機能①	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
3	胸神経・腰神経叢の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
4	腕神経叢の構造と機能②	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
5	仙骨神経叢・尾骨神経の構造と機能①	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
6	仙骨神経叢・尾骨神経の構造と機能②	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
7	自律神経の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
8	まとめ	対面	

授業シラバス

科目名	人体の構造と機能Ⅴ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	後期		
		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義		
担当者	宮城 凌央 中村 暢俊	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	無								
DPとの関連	DP1	◎	DP2		DP3		DP4		DP5

授業の概要

鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。本講義では感覚器（視覚、聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚、体性感覚）と循環器（心臓）の“かたち”と“働き”について関連付けながら学習する。

到達目標

1. 視覚器の構造と機能を説明できる。2. 聴覚器の構造と機能を説明できる。3. 平衡覚器の構造と機能を説明できる。4. 嗅覚器の構造と機能を説明できる。5. 味覚器の構造と機能を説明できる。6. 皮膚感覚系の構造と機能について説明できる。7. 心臓の構造と機能を説明できる。

学修上の助言

1. 基礎医学を初めて学ぶ学生を前提とする。2. 事前学修・事後学修をしっかりと行うこと。3. 授業で紹介するキーワードを中心に理解を深めること。4. 課題は期限内に提出すること。5. 病気や治療に興味を持って接すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
		評価配分	100%							
評価の実施方法と注意点										
期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。 成績評価は100点満点で採点し、60点以上を得た場合に単位修得を認める。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：からだが見える「人体の構造と機能」第1版 メディックメディア
参考図書等：『人体の正常構造と機能』改訂第5版 日本医事新報社

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	視覚器の構造と機能	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
2	聴覚器の構造と機能	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
3	平衡覚の構造と機能	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
4	嗅覚の構造と機能 味覚の構造と機能 皮膚の構造と機能	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
5	体性感覚の構造と機能 感覚の伝導路の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
6	心臓の構造と機能① 心臓の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
7	心臓の構造と機能② 心臓の活動、循環の調節	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
8	まとめ(評価を含む)	対面	

授業シラバス

科目名	基礎演習 I	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	前期		
		単位数	1 単位	時間数	15 時間	授業形態	演習		
担当者	宮城 凌央	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	無								
DPとの関連	DP 1	◎	DP 2		DP 3		DP 4		DP 5

授業の概要

鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。本講義では骨、筋の構造と機能について問題演習形式にて学習する。

到達目標

1. 骨の構造と機能が説明できる。2. 筋の構造と機能が説明できる。

学修上の助言

1. 基礎医学を初めて学ぶ学生を前提とする。2. 事前学修・事後学修をしっかりと行うこと。3. 授業で紹介するキーワードを中心に理解を深めること。4. 課題は期限内に提出すること。5. 病気や治療に興味を持って接すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100%								
評価の実施方法と注意点										
期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。 成績評価は 100 点満点で採点し、60 点以上を得た場合に単位修得を認める。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：からだが見える「人体の構造と機能」第1版 メディックメディア

参考図書等：『人体の正常構造と機能』改訂第5版 日本医事新報社

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	骨の構造① 総論・脊柱・胸郭	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
2	骨の構造② 上肢骨	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
3	骨の構造② 下肢骨	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
4	筋の構造① 体幹の筋	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
5	筋の構造② 上肢の筋	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
6	筋の構造③ 下肢の筋	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
7	骨・筋の機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
8	まとめ	対面	

授業シラバス

科目名	基礎演習Ⅱ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	前期		
		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	演習		
担当者	宮城 凌央	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	無								
DPとの関連	DP1	◎	DP2		DP3		DP4		DP5

授業の概要

鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。本講義では中枢神経、末梢神経(脳神経)の構造と機能と運動機能について問題演習形式にて学習する。

到達目標

1. 中枢神経の構造と機能が説明できる。2. 末梢神経(脳神経)の構造と機能が説明できる。3. 運動機能が説明できる

学修上の助言

1. 基礎医学を初めて学ぶ学生を前提とする。2. 事前学修・事後学修をしっかりと行うこと。3. 授業で紹介するキーワードを中心に理解を深めること。4. 課題は期限内に提出すること。5. 病気や治療に興味を持って接すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100%								
評価の実施方法と注意点										
期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。 成績評価は100点満点で採点し、60点以上を得た場合に単位修得を認める。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：からだが見える「人体の構造と機能」第1版 メディックメディア

参考図書等：『人体の正常構造と機能』改訂第5版 日本医事新報社

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習(50分程度)を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

※医療人として相応しい人間性(知識・技能)の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	中枢神経の構造と機能① 脊髄の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
2	中枢神経の構造と機能② 脳の構造	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
3	中枢神経の構造と機能③ 脳の機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
4	末梢神経(脳神経)の構造と機能① 脳神経の構造	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
5	末梢神経(脳神経)の構造と機能② 脳神経の機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
6	運動機能① 骨格筋の神経支配と伝導路	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
7	運動機能② 運動の調節	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
8	まとめ	対面	

授業シラバス

科目名	基礎演習Ⅲ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	後期		
		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	演習		
担当者	宮城 凌央	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	無								
DPとの関連	DP1	◎	DP2		DP3		DP4		DP5

授業の概要

鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。本講義では末梢神経(脊髄神経、自律神経)の構造と機能について問題演習形式にて学習する。

到達目標

1. 末梢神経(脊髄神経、自律神経)の構造と機能が説明できる。

学修上の助言

1. 基礎医学を初めて学ぶ学生を前提とする。2. 事前学修・事後学修をしっかりと行うこと。3. 授業で紹介するキーワードを中心に理解を深めること。4. 課題は期限内に提出すること。5. 病気や治療に興味を持って接すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100%								
評価の実施方法と注意点										
期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。 成績評価は100点満点で採点し、60点以上を得た場合に単位修得を認める。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：からだが見える「人体の構造と機能」第1版 メディックメディア
参考図書等：『人体の正常構造と機能』改訂第5版 日本医事新報社

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習(50分程度)を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

※医療人として相応しい人間性(知識・技能)の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	脊髄神経の構造と機能① ニューロンの構造 頸神経叢の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
2	脊髄神経の構造と機能② 腕神経叢の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
3	脊髄神経の構造と機能③ 胸神経・腰神経叢の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
4	脊髄神経の構造と機能④ 仙骨神経叢・尾骨神経の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
5	神経の構造と機能① ニューロンの機能 興奮の伝導と神経線維	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
6	神経の構造と機能② シナプス伝達(伝達物質と受容体)	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
7	自律神経の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
8	まとめ(評価を含む)	対面	

授業シラバス

科目名	基礎演習Ⅳ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	後期		
		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	演習		
担当者	宮城 凌央	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	無								
DPとの関連	DP1	◎	DP2		DP3		DP4		DP5

授業の概要

鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。本講義では感覚器(視覚、聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚、体性感覚)の構造と機能と循環器(心臓)の構造と機能について問題演習形式にて学習する。

到達目標

1. 感覚器(視覚、聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚、体性感覚)の構造と機能が説明できる。2. 循環器(心臓)の構造と機能が説明できる。

学修上の助言

1. 基礎医学を初めて学ぶ学生を前提とする。2. 事前学修・事後学修をしっかりと行うこと。3. 授業で紹介するキーワードを中心に理解を深めること。4. 課題は期限内に提出すること。5. 病気や治療に興味を持って接すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100%								
評価の実施方法と注意点										
期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。 成績評価は100点満点で採点し、60点以上を得た場合に単位修得を認める。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：からだが見える「人体の構造と機能」第1版 メディックメディア
参考図書等：『人体の正常構造と機能』改訂第5版 日本医事新報社

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習(50分程度)を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

※医療人として相応しい人間性(知識・技能)の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	視覚器の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
2	聴覚器の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
3	平衡覚の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
4	嗅覚の構造と機能 味覚の構造と機能 皮膚の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
5	体性感覚の構造と機能 感覚の伝導路の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
6	心臓の構造と機能① 心臓の構造と機能	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
7	心臓の構造と機能② 心臓の活動、循環の調節	オンデマンド	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
8	まとめ(評価を含む)	対面	

授業シラバス

科目名	病理学	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	後期		
		単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義		
担当者	中島 康敦	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	無								
DPとの関連	DP1	◎	DP2		DP3		DP4		DP5

授業の概要

解剖学や生理学で、人体の正常について学んだことをもとに、病気の原因や成り立ちを理解することを目的とする。

到達目標

病気の原因には何があるのかを理解し、説明できる。

病気の原因がどのように身体に影響をおよぼすのか理解し、説明できる。

病気の原因が身体に影響を与えることで、臓器・組織・細胞がどのように変化するのか理解し、説明できる。

学修上の助言

1. 基礎医学を初めて学ぶ学生を前提とする。2. 事前学修・事後学修をしっかりと行うこと。3. 授業で紹介するキーワードを中心に理解を深めること。4. 課題は期限内に提出すること。5. 病気や治療に興味を持って接すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100%								
評価	評価の実施方法と注意点									
	期末筆記試験での評価を行います。									
	受験資格・出席について									
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：

参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	オリエンテーション、「病理学とは」「疾病の一般」「病理学および疾病の概論」	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
2	「病因Ⅰ」病因（内因）について	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
3	「病因Ⅱ」病因（外因）について	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
4	「先天性異常」遺伝子異常、染色体異常、母体の環境異常について	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
5	「細胞障害、退行性病変」萎縮、変性、壊死について	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
6	「進行性病変」肥大、増殖、再生、化生、創傷治癒過程、異物処理について	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
7	「循環障害Ⅰ」充血、うっ血、貧血、虚血、出血について	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
8	「循環障害Ⅱ」血栓、塞栓、梗塞、浮腫、ショックについて	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
9	「炎症Ⅰ」炎症の概念、病変について	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
10	「炎症Ⅱ」炎症の分類について	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
11	「免疫異常Ⅰ」免疫異常の概要について	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
12	「免疫異常Ⅱ」アレルギー、自己免疫疾患について	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
13	「腫瘍Ⅰ」腫瘍の概要について	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
14	「腫瘍Ⅱ」腫瘍の種類について	対面	授業内で配布された復習プリントを用いて行う
15	まとめ（評価含む）本授業について確認・復習する。	対面	

授業シラバス

科目名	臨床医学 I	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	後期
		単位数	1 単位	時間数	30 時間	授業形態	講義
担当者	畑中 仁美 中島 康敦 中村 暢俊	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：				
実務経験	無						
DPとの関連	DP1	○	DP2	◎	DP3	DP4	DP5

授業の概要

この科目では臨床医学総論と臨床医学各論を同時に学びます。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などについてまとめたものが臨床医学総論の内容となります。臨床医学論では疾患ごとに概念、分類、症状、検査、治療などの理解を包括的に行い、鑑別を含む検査や代表的な症状を学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。臨床医学 I では整形外科疾患について学びます。

到達目標

整形外科疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念、分類、症状、検査、治療を示すことができる。

学修上の助言

整形外科領域の疾患を理解するとともに、それら各疾患に対する診察法や検査法を学び、スムーズな診療、病態把握ができるようになるための重要な科目となります。オンデマンド資料などを活用し、予習・復習を行いましょう。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100%								
評価	評価の実施方法と注意点									
	期末試験は筆記試験として最終日に実施する。また、期末試験終了後に解説を実施する。成績評価は 100 点満点で採点し、60 点以上を単位修得とする。									
	受験資格・出席について									
【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：臨床医学総論・臨床医学各論 東洋療法学校協会編

参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	オリエンテーション 診察の一般。 医療面接、視診、触診、血圧、ROM、MMT を理解する。	対面	血圧、ROM、MMT について予習・復習を行う。
2	治療法、画像診断、関節炎、可動域の異常を理解する。	対面	治療法、画像診断、関節炎、可動域について予習・復習を行う。
3	頸に生じる疾患を理解する。	対面	頸部の構造と機能について予習を行う。
4	肩に生じる疾患を理解する。	対面	肩の構造と機能について予習を行う。
5	肘に生じる疾患を理解する。	対面	肘の構造と機能について予習を行う。
6	上肢に生じる疾患を理解する。	対面	上肢の構造と機能について予習を行う。
7	腰部に生じる疾患を理解する。	対面	腰下肢の構造と機能について予習を行う。
8	腰部に生じる疾患を理解する。	対面	腰下肢の構造と機能について予習を行う。
9	膝に生じる疾患を理解する。	対面	膝の構造と機能について予習を行う。
10	足部に生じる疾患を理解する。	対面	足部の構造と機能について予習を行う。
11	側弯症・脊髄損傷を理解する。	対面	脊柱、脊髄の構造と機能について予習を行う。
12	骨代謝性疾患、骨腫瘍を理解する。	対面	骨代謝について予習を行う。
13	外傷（骨折、脱臼、捻挫、）を理解する。	対面	外傷について復習を行う。
14	全体を通じて学んだ内容を総論的に理解する。	対面	これまで学んだ内容を復習しておく。
15	総まとめ（評価含む）	対面	これまで学んだ内容を復習しておく。

授業シラバス

科目名	基礎臨床医学演習 I	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	後期			
		単位数	1 単位	時間数	15 時間	授業形態	演習			
担当者	中島 康敦	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	無									
DPとの関連	DP 1	○	DP 2		DP 3		DP 4		DP 5	◎

授業の概要

本講義では病気の原因や成り立ちについて問題演習形式にて学習する。

到達目標

国家試験における病理学の内容を理解する。

学修上の助言

病理学を理解するとともに、国家試験対策となる重要な科目です。予習・復習を行きましょう。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100%								
評価の実施方法と注意点										
期末試験は筆記試験として最終日に実施する。また、期末試験終了後に解説を実施する。成績評価は 100 点満点で採点し、60 点以上を単位修得とする。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】 授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：

参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	「病理学とは」「疾病の一般」「病理学および疾病の概論」 「病因Ⅰ」病因（内因）について	オンデマンド	
2	「病因Ⅱ」病因（外因）について 「先天性異常」遺伝子異常、染色体異常、母体の環境異常について	オンデマンド	
3	「細胞障害、退行性病変」萎縮、変性、壊死について 「進行性病変」肥大、増殖、再生、化生、創傷治癒過程、異物処理について	オンデマンド	
4	「循環障害Ⅰ」充血、うっ血、貧血、虚血、出血について 「循環障害Ⅱ」血栓、塞栓、梗塞、浮腫、ショックについて	オンデマンド	
5	「炎症Ⅰ」炎症の概念、病変について 「炎症Ⅱ」炎症の分類について	オンデマンド	
6	「免疫異常Ⅰ」免疫異常の概要について 「免疫異常Ⅱ」アレルギー、自己免疫疾患について	オンデマンド	
7	「腫瘍Ⅰ」腫瘍の概要について 「腫瘍Ⅱ」腫瘍の種類について	オンデマンド	
8	まとめ（評価含む）	対面	

授業シラバス

科目名	基礎臨床医学演習Ⅱ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	後期
		単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義
担当者	畑中 仁美	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：				
実務経験	無						
DPとの関連	DP1	○	DP2	◎	DP3	DP4	DP5

授業の概要										
臨床医学Ⅰで学習した内容について問題演習を行い、理解を深め、試験問題に対応できる能力の向上を目的とします。										
到達目標										
国家試験における臨床医学Ⅰの内容を理解する。										
学修上の助言										
整形外科領域の疾患を理解するとともに、臨床現場で必要とされる知識の習得および国家試験対策となる重要な科目です。オンデマンド資料などを活用し、予習・復習を行いましょう。										
成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100%								
	評価の実施方法と注意点									
	期末試験は筆記試験として最終日に実施する。また、期末試験終了後に解説を実施する。成績評価は100点満点で採点し、60点以上を単位修得とする。									
	受験資格・出席について									
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										
教科書・参考図書										
教科書：臨床医学総論・臨床医学各論 東洋療法学校協会編 参考図書等：										
授業時間外の学習について										
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。										
特記事項										

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	問題演習① 診察の一般、医療面接、視診、触診、血圧、ROM、MMT 治療法、画像診断、関節炎、可動域の異常、頸に生じる疾患	オンデマンド	
2	問題演習② 肩に生じる疾患、肘に生じる疾患	オンデマンド	
3	問題演習③ 上肢に生じる疾患、腰部に生じる疾患 1	オンデマンド	
4	問題演習④ 腰部に生じる疾患 2、膝に生じる疾患 1	オンデマンド	
5	問題演習⑤ 膝に生じる疾患 2、足部に生じる疾患	オンデマンド	
6	問題演習⑥ 側弯症・脊髄損傷、骨代謝性疾患	オンデマンド	
7	問題演習⑦ 骨腫瘍、外傷（骨折、脱臼、捻挫、）	オンデマンド	
8	期末試験	対面	

授業シラバス

科目名	基礎はりきゅう学	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	前期			
		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義			
担当者	半田 由美子	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務									
DPとの関連	DP1	○	DP2		DP3		DP4		DP5	

授業の概要										
<p>基礎はりきゅう実技で実技がスムーズに行えるよう予備知識を得ること、国家試験に関連する内容に対応できることが目的となる。</p> <p>また、臨床の際に起こり得るリスク管理の基礎概念を理解する。</p>										
到達目標										
はり・きゅうの基本的な知識を習得しつつ、はりきゅう理論の基礎的なレベルの問題も理解する。										
学修上の助言										
<p>はりきゅう理論の基礎的な項目は国家試験において数問出題されるため、基礎をしっかりと固めていきます。</p> <p>授業では、課題をクラスルームから配信します。授業時間が終了するまで提出してください。</p>										
成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100								
	評価の実施方法と注意点									
	<p>期末試験は4択問題で45問出題します。(1問2点)</p> <p>課題はすべて提出して10点となりますので、必ず提出してください。</p>									
	<p>受験資格・出席について</p> <p>【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。</p>									
教科書・参考図書										
<p>教科書：「はりきゅう実技」「はりきゅう理論」「鍼灸安全対策マニュアル」</p> <p>参考図書等：「はりきゅう基礎技術学」南江堂</p>										
授業時間外の学習について										
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習(50分程度)を行ってください。										
特記事項										

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	鍼・灸の基礎知識	オンデマンド	講義動画と課題を配信します。
2	刺鍼の方法と術式 施灸の方法 (有痕灸・無痕灸)	オンデマンド	講義動画と課題を配信します。
3	刺鍼中の 17 手技	オンデマンド	講義動画と課題を配信します。
4	古代九鍼 鍼灸の臨床応用	オンデマンド	講義動画と課題を配信します。
5	衛生的手洗い・施術前後の洗浄と消毒法 鍼や器具の洗浄・滅菌方法	オンデマンド	講義動画と課題を配信します。
6	有害事象の種類と対処法	オンデマンド	講義動画と課題を配信します。
7	重要臓器障害事故防止	オンデマンド	講義動画と課題を配信します。
8	まとめ (評価)	対面	

授業シラバス

科目名	経絡経穴概論 I	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	前期		
		単位数	1 単位	時間数	30 時間	授業形態	講義		
担当者	小田原 崇文	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務								
DPとの関連	DP 1		DP 2	◎	DP 3		DP 4		DP 5

授業の概要

14経絡の流れを理解し、各経絡における主要経穴を理解するとともに、経穴の取穴方法を習得することを目的とします。更には経穴の持つ意義や奇穴、要穴なども学習し、臨床応用に結びつける能力を養成します。

到達目標

取穴実技で、経穴を正確に取穴するために、必要なランドマークを理解することができる。
国家試験問題に慣れておくことを目的とする。

学修上の助言

iPad を用いて授業を行います。授業資料に書きこみをしますので、ペンも忘れないように気をつけてください。
授業中に課題を配信する場合は必ず期限内に提出してください。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100								
評価	評価の実施方法と注意点									
	期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。 成績評価は 100 点満点で採点し、60 点以上を得た場合に単位修得を認める。									
	受験資格・出席について									
	【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。									

教科書・参考図書

教科書：「経絡経穴概論」東洋療法学校協会 医道の日本
参考図書等：「ツボ単」(株)エヌ・ティー・エス

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	経絡・経穴について	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
2	督脈①	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
3	督脈②	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
4	任脈①	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
5	任脈②	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
6	手の太陰肺経	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
7	手の陽明大腸経	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
8	足の陽明胃経	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
9	足の陽明胃経	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
10	足の太陰脾経	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
11	足の陽明胃経	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
12	手の少陰心経	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
13	手の太陽小腸経	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
14	まとめ①	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
15	まとめ②	対面	

授業シラバス

科目名	経絡経穴概論Ⅱ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	後期		
		単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義		
担当者	小田原 崇文	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務								
DPとの関連	DP1		DP2	◎	DP3		DP4		DP5

授業の概要

14経絡の流れを理解し、各経絡における主要経穴を理解するとともに、経穴の取穴方法を習得することを目的とします。更には経穴の持つ意義や奇穴、要穴なども学習し、臨床応用に結びつける能力を養成します。

到達目標

取穴実技で、経穴を正確に取穴するために、必要なランドマークを理解することができる。
国家試験問題に慣れておくことを目的とする。

学修上の助言

iPadを用いて授業を行います。授業資料に書きこみをしますので、ペンも忘れないように気をつけてください。
授業中に課題を配信する場合は必ず期限内に提出してください。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
		評価配分	100							
評価	評価の実施方法と注意点									
	期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。 成績評価は100点満点で採点し、60点以上を得た場合に単位修得を認める。									
	受験資格・出席について									
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：「経絡経穴概論」東洋療法学校協会 医道の日本
参考図書等：「ツボ単」(株)エヌ・ティー・エス

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	足の太陽膀胱経	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
2	足の太陽膀胱経	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
3	足の太陽膀胱経	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
4	足の太陽膀胱経	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
5	足の少陰腎経	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
6	足の少陰腎経	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
7	手の厥陰心包経	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
8	手の少陽三焦経	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
9	手の少陽三焦経	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
10	足の少陽胆経	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
11	足の少陽胆経	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
12	足の厥陰肝経	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
13	足の厥陰肝経	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
14	まとめ①	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
15	まとめ②	対面	

授業シラバス

科目名	東洋医学概論 I	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	前期		
		単位数	1 単位	時間数	30 時間	授業形態	講義		
担当者	竹口 太陽	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務								
DPとの関連	DP 1		DP 2	◎	DP 3		DP 4		DP 5

授業の概要

東洋医学の概念、思想を理解し、気・血・津液の生理、陰・陽論、五行・臓腑理論の概念をもとに身体の仕組みを学ぶことを目的としています。

到達目標

東洋医学の基礎である精・気・血・津液や陰陽論、五行論、五臓などを理解する。

学修上の助言

iPad を用いて授業を行います。授業資料に書きこみをしますので、ペンも忘れないように気をつけてください。授業中に課題を配信する場合は必ず期限内に提出してください。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分		100							
評価	評価の実施方法と注意点									
	期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。成績評価は 100 点満点で採点し、60 点以上を得た場合に単位修得を認める。									
	受験資格・出席について									
	【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。									

教科書・参考図書

教科書：「東洋医学概論」東洋療法学校協会 医道の日本

参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	生体物質：精・気・血・津液について（精）	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
2	生体物質：精・気・血・津液について（気）	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
3	生体物質：精・気・血・津液について（気）	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
4	生体物質：精・気・血・津液について（血）	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
5	生体物質：精・気・血・津液について（血）	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
6	生体物質：精・気・血・津液について（津液）	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
7	生体物質：精・気・血・津液について（津液）	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
8	生体物質：精・気・血・津液について（神）	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
9	五臓について	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
10	脈・舌について	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
11	東洋医学の歴史について	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
12	東洋医学の歴史について	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
13	東洋医学の歴史について	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
14	まとめ	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
15	まとめ（評価、解説を含む）	対面	

授業シラバス

科目名	東洋医学概論Ⅱ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	後期			
		単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義			
担当者	竹口 太陽	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務									
DPとの関連	DP1	○	DP2		DP3		DP4		DP5	◎

授業の概要

東洋医学の概念、思想を理解し、気・血・津液の生理、陰・陽論、五行・臓腑理論の概念をもとに身体の仕組みを学ぶことを目的としています。

Iで学んだ生体の生理・病理を基礎とし、診断法、その解釈、治法へ至る考え方を理解し、それぞれの理論に基づいた概念を修得していくことを目的とします。

到達目標

東洋医学の基礎である精・気・血・津液や陰陽論、五行論、五臓などを理解する。

学修上の助言

iPadを用いて授業を行います。授業資料に書きこみをしますので、ペンも忘れないように気をつけてください。授業中に課題を配信する場合は必ず期限内に提出してください。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分		100							
評価	評価の実施方法と注意点									
	期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。 成績評価は100点満点で採点し、60点以上を得た場合に単位修得を認める。									
	受験資格・出席について									
	【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。									

教科書・参考図書

教科書：「東洋医学概論」東洋療法学校協会 医道の日本

参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	陰陽学説について	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
2	蔵象学説について (肝)	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
3	蔵象学説について (肝)	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
4	蔵象学説について (心)	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
5	蔵象学説について (心)	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
6	蔵象学説について (脾)	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
7	蔵象学説について (脾)	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
8	蔵象学説について (肺)	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
9	蔵象学説について (肺)	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
10	蔵象学説について (腎)	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
11	蔵象学説について (腎)	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
12	蔵象学説について (三焦)	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
13	蔵象学説について (三焦)	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
14	まとめ	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
15	まとめ (評価、解説を含む)	対面	

授業シラバス

科目名	基礎経絡経穴演習	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	後期		
		単位数	1 単位	時間数	30 時間	授業形態	講義		
担当者	小田原 崇文	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務								
DPとの関連	DP 1		DP 2	◎	DP 3		DP 4		DP 5

授業の概要

経絡、骨度寸法、要穴、奇経八脈、奇穴、現代医学的研究について学ぶことを目的としています。演習形式で学修を行います。

到達目標

経穴や経絡、骨度寸法について学び理解することを目標とする。

学修上の助言

iPad を用いて授業を行います。授業資料に書きこみをしますので、ペンも忘れないように気をつけてください。授業中に課題を配信する場合は必ず期限内に提出してください。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分		100							
評価	評価の実施方法と注意点									
	期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。成績評価は 100 点満点で採点し、60 点以上を得た場合に単位修得を認める。									
	受験資格・出席について									
	【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。									

教科書・参考図書

教科書：

参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	経絡について	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
2	骨度寸法について	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
3	要穴について (五腧穴・五行穴)	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
4	要穴について (四総穴・八会穴・組合せ経穴)	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
5	奇経八脈について	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
6	奇穴について	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
7	現代医学的研究について	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
8	まとめ (評価、解説を含む)	オンデマンド	

授業シラバス

科目名	基礎東洋医学演習 I	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	後期			
		単位数	1 単位	時間数	30 時間	授業形態	講義			
担当者	竹口 太陽	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務									
DPとの関連	DP 1		DP 2	◎	DP 3		DP 4		DP 5	

授業の概要

I・II 学んだ生体の生理・病理を基礎とし、診断法、その解釈、治法へ至る考え方を理解し、それぞれの理論に基づいた概念を修得していくことを目的とします。

到達目標

東洋医学の基礎である精・気・血・津液や陰陽論、五行論、五臓などを理解する。
東洋医学の思想・四診・弁証論治を理解する。

学修上の助言

iPad を用いて授業を行います。授業資料に書きこみをしますので、ペンも忘れないように気をつけてください。
授業中に課題を配信する場合は必ず期限内に提出してください。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分		100							
評価	評価の実施方法と注意点									
	期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。 成績評価は 100 点満点で採点し、60 点以上を得た場合に単位修得を認める。									
	受験資格・出席について									
	【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。									

教科書・参考図書

教科書：「東洋医学概論」東洋療法学校協会 医道の日本
参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	四診について（望診・聞診・問診・切診）	対面	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
2	四診について（望診・聞診・問診・切診）	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
3	四診について（望診・聞診・問診・切診）	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
4	四診について（望診・聞診・問診・切診）	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
5	四診について（望診・聞診・問診・切診）	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
6	四診について（望診・聞診・問診・切診）	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
7	四診について（望診・聞診・問診・切診）	オンデマンド	授業内で配布されたプリントを用いて復習を行う
8	まとめ（評価、解説を含む）	オンデマンド	

授業シラバス

科目名	メディカルインタビュー ・サポートコーチング	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	前期		
		単位数	1 単位	時間数	30 時間	授業形態	演習		
担当者	谷口剛志	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	臨床歴 26 年 明治東洋医学院専門学校附属治療所鍼灸科スポーツ専門外来、ポルトガル SL ベンフィカ、CF ベレネンセス、明治国際医療大学附属鍼灸センターアスリートラボ								
DP との関連	DP 1		DP 2	◎	DP 3		DP 4		DP 5

授業の概要

本授業では、はりきゅうの臨床現場で実践されるメディカルインタビューならびにメディカルサポートコーチング、セラピストイングリッシュを取り扱い、模擬演習を通じてコミュニケーションスキルの獲得を目的とします。

到達目標

- ・問診と医療面接の違いを理解できる。
- ・メディカルインタビューが実践できる。
- ・メディカルサポートコーチングが実践できる。
- ・英語でメディカルインタビューが実践できる。

学修上の助言

- ・授業は OLM（オンデマンドライブミックス）で対面で実施します。
- ・事前にオンデマンドで学んだ内容を演習形式でトレーニングします。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
		評価配分	37						63	
評価の実施方法と注意点										
本授業は全て対面で展開されるため、事前に臨床方略のオンデマンド動画を視聴してから授業に臨んでください。評価は、演習での課題提出（7 演習 × 9 点）、期末に全演習内容の筆記試験（37 点）を実施します。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：図解 鍼灸療法技術ガイド I 第 2 版 臨床の現場で役立つ実践のすべて 文光堂
参考図書等：メディカルサポートコーチング

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	コミュニケーション	オンデマンド	次回授業の予習をする
2	演習1 コミュニケーションを取ってみよう	対面	次回授業の予習をする
3	問診と医療面接 パーソナルスペース	オンデマンド	次回授業の予習をする
4	演習2 パーソナルスペースを意識して医療面接をやってみよう	対面	次回授業の予習をする
5	東洋医学の問診	オンデマンド	次回授業の予習をする
6	演習3 東洋医学の問診をやってみよう	対面	次回授業の予習をする
7	メディカルサポートコーチング	オンデマンド	次回授業の予習をする
8	演習4 メディカルサポートコーチングをやってみよう	対面	次回授業の予習をする
9	臨床におけるコミュニケーション	オンデマンド	次回授業の予習をする
10	演習6 臨床におけるコミュニケーションの実践	対面	次回授業の予習をする
11	トランスセオレティカルモデル	オンデマンド	次回授業の予習をする
12	演習7 患者指導をやってみよう	対面	次回授業の予習をする
13	演習8 メディカルインタビュー	対面	次回授業の予習をする
14	演習9 メディカルサポートコーチング	対面	次回授業の予習をする
15	総合（期末評価含む）	対面	

授業シラバス

科目名	臨床はりきゅう学Ⅰ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	後期			
		単位数	2単位	時間数	60時間	授業形態	講義			
担当者	中本 琴音 安東 由仁 宮城 凌央	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	中本・宮城：明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務、安東：鍼灸院開業									
DPとの関連	DP1	○	DP2		DP3		DP4		DP5	◎

授業の概要

鍼灸臨床で遭遇する可能性の高い運動器疾患を中心に、それぞれの疾患・症候の概念と鍼灸治療の適否の判断、診察法と治療方針、治療穴の選択までを学びます。今後の臨床実習Ⅱ、Ⅲ、Ⅳに向けて、基本的な診察法（医療面接・視診・触診・徒手検査）と鍼灸治療の方法を修得することを目的とします。また、この科目は東洋医学臨床論として、国家試験では臨床的な考え方や治療方法を問われる科目で問題数も最多となっています。その中心的な科目となりますので、対応する実習と合わせてしっかりと学んでください。

到達目標

- ① 疾患・症候の概要を理解する。
- ② 疾患の特異的な症状について述べるができる。
- ③ 疾患・症候の病態を把握するために必要な検査とそれぞれに対する適切な治療穴が選択できる。

学修上の助言

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポータル	課題	その他	合計
	評価配分	100%								
評価の実施方法と注意点										
期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。 成績評価は100点満点で採点し、60点以上を得た場合に単位修得を認める。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：臨床医学各論、臨床医学総論、東洋医学概論（医歯薬出版）
参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	頭頸部の構造と機能	対面	次回授業の予習をする
2	頭頸部における症状・検査	対面	次回授業の予習をする
3	頭頸部のはりきゅう治療	対面	次回授業の予習をする
4	頭頸部のはりきゅう診療（症例 etc）	対面	次回授業の予習をする
5	肩関節の構造と機能	対面	次回授業の予習をする
6	肩関節における症状・検査	対面	次回授業の予習をする
7	肩関節のはりきゅう治療	対面	次回授業の予習をする
8	肩関節のはりきゅう診療（症例 etc）	対面	次回授業の予習をする
9	上肢の構造と機能	対面	次回授業の予習をする
10	上肢における症状・検査	対面	次回授業の予習をする
11	上肢のはりきゅう治療	対面	次回授業の予習をする
12	上肢のはりきゅう診療（症例 etc）	対面	次回授業の予習をする
13	肘関節の構造と機能	対面	次回授業の予習をする
14	肘関節における症状・検査	対面	次回授業の予習をする
15	肘関節のはりきゅう治療	対面	

授業シラバス

16	肘関節のはりきゅう診療（症例 etc）	対面	
17	まとめ（中間試験）	対面	
18	腰殿部の構造と機能	対面	
19	腰殿部における症状・検査	対面	
20	腰殿部のはりきゅう治療	対面	
21	腰殿部のはりきゅう診療（症例 etc）	対面	
22	下肢の構造と機能	対面	
23	下肢における症状・検査	対面	
24	下肢のはりきゅう治療	対面	
25	下肢のはりきゅう診療（症例 etc）	対面	
26	膝関節の構造と機能	対面	
27	膝関節における症状・検査	対面	
28	膝関節のはりきゅう治療	対面	
29	膝関節のはりきゅう診療（症例 etc）	対面	
30	まとめ（評価含む）	対面	

授業シラバス

科目名	臨床はりきゅう学演	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	後期
	習 I	単位数	1 単位	時間数	15 時間	授業形態	演習
担当者	中本 琴音	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：				
実務経験	明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務						
DPとの関連	DP 1	DP 2	◎	DP 3	DP 4	DP 5	

授業の概要

本講義では病気の原因や成り立ちについて問題演習形式にて学習する。
演習形式で学修します。

到達目標

国家試験における東洋医学概論（運動器系）の内容を理解する。

学修上の助言

東洋医学臨床論として、国家試験では臨床的な考え方や治療方法を問われる重要な科目です。予習・復習を行いましょ

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100%								
評価の実施方法と注意点										
期末試験は筆記試験とし最終授業日に実施する。また、期末試験終了後に試験に関する解説を行う。 成績評価は 100 点満点で採点し、60 点以上を得た場合に単位修得を認める。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：

参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	頭頸部の構造と機能、症状・検査、はりきゅう治療（症例問題含む）	オンデマンド	次回授業の予習をする
2	肩関節の構造と機能、症状・検査、はりきゅう治療（症例問題含む）	オンデマンド	次回授業の予習をする
3	上肢の構造と機能、症状・検査、はりきゅう治療（症例問題含む）	オンデマンド	次回授業の予習をする
4	肘関節の構造と機能、症状・検査、はりきゅう治療（症例問題含む）	オンデマンド	次回授業の予習をする
5	腰殿部の構造と機能、症状・検査、はりきゅう治療（症例問題含む）	オンデマンド	次回授業の予習をする
6	下肢の構造と機能、症状・検査、はりきゅう治療（症例問題含む）	オンデマンド	次回授業の予習をする
7	膝関節の構造と機能、症状・検査、はりきゅう治療（症例問題含む）	オンデマンド	次回授業の予習をする
8	まとめ（評価含む）	対面	

授業シラバス

科目名	社会はりきゅう学	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	前期			
		単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義			
担当者	小野直哉	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	講義歴 15年 明治国際医療大学鍼灸学部鍼灸学科、明治国際医療大学大学院保健医療学研究科、東京医療福祉専門学校鍼灸マッサージ教員養成科等。									
DPとの関連	DP1	◎	DP2	◎	DP3	◎	DP4	◎	DP5	○

授業の概要

本授業では、現代社会における健康問題を「日常の暮らし（生活全体）」の視点から捉える一方で、従来の医療モデルや社会モデルも含めて比較検討する。スポーツおよび災害を導入として、多様な健康観および生活機能の概念を取り上げ、それぞれの意義と限界を考察する。最終的に、鍼灸の機能的多様性（cure・care・function）について複数の視点から整理し、従来の社会はりきゅう学の内容（社会・制度・公衆衛生）を踏まえつつ、3年次「プライマリ・ケア」へ接続する基礎科目とする。

到達目標

1. スポーツ・災害・日常の各場面における鍼灸の関わりについて、複数の視点から説明できる。
2. 生活機能（身体・精神・社会）という概念について、その意義と限界を含めて理解できる。
3. 鍼灸の機能的多様性（cure・care・function）について、異なる立場から説明できる。
4. 社会構造と健康問題の関係について、複数のモデル（医療・社会・生活機能）を比較して理解できる。
5. 鍼灸師の役割について、特定のモデルに依拠せず、自らの立場として言語化できる。

学修上の助言

- ・ 本授業は暗記ではなく思考と統合を重視する
- ・ 講義内容は自身の生活経験と結びつけて理解すること
- ・ 毎回の課題は最終レポート作成の基礎となるため、継続的に取り組むこと

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分					70			30	
評価の実施方法と注意点										
本授業の評価は、最終レポート（テーマは最終講義で告知）により実施する。評価は、社会→生活→鍼灸の複数のモデルを適切に比較しているか、前提条件や限界を理解しているか、自身の立場を論理的に説明できているかの観点から総合的に行う。単なる感想ではなく講義内容に基づいた論述とし、指定用語を適切に用いること。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】 授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：なし（資料配布）

参考資料：社会はりきゅう学関連テキスト、医療概論、公衆衛生学、プライマリヘルスケア関連資料等

授業時間外の学習について

各回の講義内容は、最終レポートの構成要素となるため、各回の学びを単独の知識としてではなく、最終的に統合さ

授業シラバス

れる内容として蓄積することが重要である。授業時間外学習（予習・復習）の目安は、各回 30～60 分程度とする。

特記事項

本授業は、3 年次「プライマリ・ケア」と連携し、社会構造・生活機能・制度理解へと接続する基盤科目である。

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	スポーツと鍼灸（どのように鍼灸は用いられているのか）	対面	スポーツと鍼灸の関係の振り返り
2	災害と鍼灸（医療では対応しきれない領域）	対面	災害時の健康問題の整理
3	日常の暮らしと鍼灸（生活全体を支える視点）	対面	日常の暮らしの不調の振り返り
4	生活機能とは何か（医療モデル・社会モデルとの比較）	対面	生活機能の整理
5	鍼灸の機能的多様性（cure・care・function）	対面	cure・care・functionの整理
6	社会構造と健康問題（高齢化・孤立・ストレス社会等）	対面	社会と健康の関係を考察
7	医療制度とプライマリ・ケア（医療における鍼灸の位置づけ）	対面	医療と鍼灸の役割の整理
8	総合（鍼灸師の役割に関する複数の選択肢）	対面	全講義内容の統合

授業シラバス

科目名	基礎はりきゅう実技	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	前期
		単位数	1 単位	時間数	45 時間	授業形態	実技
担当者	半田 由美子 森川 由紀子	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：				
実務経験	明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務						
DPとの関連	DP1	DP2	○	DP3	DP4	DP5	◎

授業の概要

鍼術：鍼術の基本を理解し、適切な消毒を含む施術順序・手技を取得する。

灸術：艾炷づくりなどの灸術の基本を理解し、適切な消毒を含む施術順序・手技を取得する。

そのうえで自身や相手の身体に対して安全に施術することができ、医療人としての衛生概念も養うことを目的とする。

到達目標

人体の指定複数部位に適切な施術手順、手技、消毒法による施鍼・施灸が指定時間内に安全に行うことができる。

学修上の助言

実技は欠席すると遅れが出てくるので、体調管理に気をつけて全出席を心がけてください。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分		80	10					10	
成績評価	評価の実施方法と注意点									
	中間試験と期末試験（実技試験）で100点満点で評価します。									
	受験資格・出席について									
【実技・実習】授業時間数の4/5以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：「はりきゅう実技」「はりきゅう理論」

参考図書等：「鍼灸医療安全ガイドライン」 鍼灸安全委員会 医歯薬出版株式会社、「はりきゅう基礎技術学」南江堂

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	オリエンテーション、道具の確認（施灸板の作成） 鍼の名称と形状、両手挿管法	対面	授業内容の復習を行う
2	鍼：押手（満月・半月）・押手圧（上下圧・左右圧・周囲圧） 切皮・弾入 灸：艾作り、施灸板での艾炷作り（米粒大）	対面	授業内容の復習を行う
3	鍼：揉捻法（前揉法・後揉法）、刺入（送り込み刺法・旋捻刺法） 灸：艾作り、施灸板での艾炷作り（米粒大）	対面	授業内容の復習を行う
4	鍼：揉捻法（前揉法・後揉法）、刺入（送り込み刺法・旋捻刺法） 片手挿管法 灸：艾作り、施灸板での艾炷作り（半米粒大）	対面	授業内容の復習を行う
5	鍼：揉捻法（前揉法・後揉法）、刺入（送り込み刺法・旋捻刺法） 片手挿管法、刺入深度、刺入角度 灸：艾作り、施灸板での艾炷作り（半米粒大）	対面	授業内容の復習を行う
6	鍼：刺入角度（直刺・斜刺・横刺）を学ぶ。 灸：艾作り、施灸板での艾炷作り（米粒大・半米粒大）	対面	授業内容の復習を行う
7	鍼：片手挿管法チェック・刺鍼に必要な一連の流れの確認 灸：艾作り、温度センサーでの艾炷作り（米粒大・半米粒大）	対面	授業内容の復習を行う
8	鍼：事前・事後の消毒法、刺鍼に必要な一連の流れの確認 灸：艾炷チェック（米粒大・半米粒大）	対面	授業内容の復習を行う
9	自身の下肢に鍼	対面	授業内容の復習を行う
10	自身の下肢に灸	対面	授業内容の復習を行う
11	自身の下肢に鍼・灸①	対面	授業内容の復習を行う
12	自身の下肢に鍼・灸②	対面	授業内容の復習を行う
13	自身の下肢に鍼・灸チェック	対面	授業内容の復習を行う
14	鍼応用（ペアに刺鍼）	対面	授業内容の復習を行う
15	灸応用（ペアに施灸）	対面	授業内容の復習を行う

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
16	鍼灸応用（ペアに刺鍼・施灸）①	対面	授業内容の復習を行う
17	鍼灸応用（ペアに刺鍼・施灸）②	対面	授業内容の復習を行う
18	鍼灸応用（ペアに刺鍼・施灸）③	対面	授業内容の復習を行う
19	鍼灸応用（ペアに刺鍼・施灸）④	対面	授業内容の復習を行う
20	鍼灸応用（ペアに刺鍼・施灸）⑤	対面	授業内容の復習を行う
21	鍼灸応用（ペアに刺鍼・施灸）⑥ まとめの練習	対面	授業内容の復習を行う
22	鍼灸応用（ペアに刺鍼・施灸）⑦ まとめの練習	対面	授業内容の復習を行う
23	まとめ（評価）	対面	

授業シラバス

科目名	取穴実技 I	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	前期
		単位数	1 単位	時間数	45 時間	授業形態	講義
担当者	半田 由美子 中島 康敦 小田 原崇文	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：				
実務経験	明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務						
DPとの関連	DP 1	DP 2	○	DP 3	DP 4	DP 5	◎

授業の概要										
1 2 経絡の流れを理解し、主要経穴を正確に取穴することができる。 指示された「ランドマーク」および「経穴」に、シールまたはペンで取穴を行う。										
到達目標										
経穴を正確に取穴するために、必要なランドマークを触知及び確認することができる。 重要経穴・経穴の要穴（原穴・郄穴・絡穴、井穴、榮穴、兪穴、経穴、合穴）を取穴することができる。										
学修上の助言										
経絡経穴概論 I の講義の内容を理解すること。										
成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100								
	評価の実施方法と注意点									
	期末試験（実技試験）で 100 点満点で評価します。									
	受験資格・出席について									
【実技・実習】授業時間数の 4/5 以上の出席が評価対象となります。										
教科書・参考図書										
教科書：「経絡経穴概論」東洋療法学校協会 医道の日本 参考図書等：										
授業時間外の学習について										
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。										
特記事項										

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	はじめに 骨度寸法・要穴、督脈	対面	骨度寸法・要穴の復習
2	督脈	対面	督脈の復習
3	督脈 まとめ	対面	督脈の復習
4	任脈	対面	任脈の復習
5	任脈 まとめ	対面	任脈の復習
6	手の太陰肺経	対面	手の太陰肺経の復習
7	手の太陰肺経 まとめ	対面	手の太陰肺経の復習
8	手の陽明大腸経	対面	手の陽明大腸経の復習
9	手の陽明大腸経 まとめ	対面	手の陽明大腸経の復習
10	足の陽明胃経	対面	足の陽明胃経の復習
11	足の陽明胃経	対面	足の陽明胃経の復習
12	足の陽明胃経 まとめ	対面	足の陽明胃経の復習
13	足の太陰脾経	対面	足の太陰脾経の復習
14	足の太陰脾経	対面	足の太陰脾経の復習
15	足の太陰脾経 まとめ	対面	足の太陰脾経の復習

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
16	手の少陰心経	対面	手の少陰心経の復習
17	手の少陰心経	対面	手の少陰心経の復習
18	手の少陰心経 まとめ	対面	手の少陰心経の復習
19	手の太陽小腸経	対面	手の太陽小腸経の復習
20	手の太陽小腸経	対面	手の太陽小腸経の復習
21	手の太陽小腸経 まとめ	対面	手の太陽小腸経の復習
22	試験の流れ・全体のまとめ	対面	まとめ
23	まとめ（評価、解説を含む）	対面	まとめ

授業シラバス

科目名	取穴実技Ⅱ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	後期
		単位数	1単位	時間数	45時間	授業形態	講義
担当者	半田 由美子 小田原 崇文	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：				
実務経験	明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務						
DPとの関連	DP1	DP2	○	DP3	DP4	DP5	◎

授業の概要

1 2 経絡の流れを理解し、主要経穴を正確に取穴することができる。
指示された「ランドマーク」および「経穴」に、シールまたはペンで取穴を行う。

到達目標

経穴を正確に取穴するために、必要なランドマークを触知及び確認することができる。

学修上の助言

経絡経穴概論Ⅱの講義の内容を理解すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100								
評価	評価の実施方法と注意点									
	1. 受験資格について総授業時間数の4/5以上が必要です。 2. 成績評価について実技試験にて60点以上で合格とします。									
	受験資格・出席について 【実技・実習】授業時間数の4/5以上の出席が評価対象となります。									

教科書・参考図書

教科書：

参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	足の太陽膀胱経	対面	授業内容の復習を行う。
2	足の太陽膀胱経	対面	授業内容の復習を行う。
3	足の太陽膀胱経	対面	授業内容の復習を行う。
4	足の太陽膀胱経	対面	授業内容の復習を行う。
5	足の少陰腎経	対面	授業内容の復習を行う。
6	足の少陰腎経	対面	授業内容の復習を行う。
7	足の少陰腎経	対面	授業内容の復習を行う。
8	手の厥陰心包経	対面	授業内容の復習を行う。
9	手の厥陰心包経	対面	授業内容の復習を行う。
10	手の厥陰心包経	対面	授業内容の復習を行う。
11	手の少陽三焦経	対面	授業内容の復習を行う。
12	手の少陽三焦経	対面	授業内容の復習を行う。
13	手の少陽三焦経	対面	授業内容の復習を行う。
14	足の少陽胆経	対面	授業内容の復習を行う。
15	足の少陽胆経	対面	授業内容の復習を行う。

授業シラバス

16	総復習	対面	授業内容の復習を行う。
17	総復習	対面	授業内容の復習を行う。
18	総復習	対面	授業内容の復習を行う。
19	総復習	対面	授業内容の復習を行う。
20	総復習	対面	授業内容の復習を行う。
21	総復習	対面	授業内容の復習を行う。
22	総復習	対面	授業内容の復習を行う。
23	総復習	対面	

授業シラバス

科目名	触察解剖実技	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	前期		
		単位数	1 単位	時間数	45 時間	授業形態	実技		
担当者	畑中 仁美 藤井 健介	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：						
実務経験	畑中：明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務、藤井：明治国際医療大学附属鍼灸センター								
DPとの関連	DP 1	◎	DP 2		DP 3		DP 4		DP 5

授業の概要										
鍼灸師として必要な臨床技術の基礎として、体表から識別できる骨、筋、神経、血管などの位置関係を理解し、施術に活かせる知識を習得する。										
到達目標										
各部の骨、筋、関節、神経、血管等を説明できる。 各構造物の位置関係を説明できる。 構造物の機能の概要を説明できる。 体表からの位置を説明できる。										
学修上の助言										
人体の構造と機能の内容を学修すること。										
成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	100%								100
	評価の実施方法と注意点									
	1. 受験資格について総授業時間数の 4 / 5 以上が必要です。 2. 成績評価について実技試験にて 60 点以上で合格とします。									
	受験資格・出席について 【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。									
教科書・参考図書										
教科書： 参考図書等：										
授業時間外の学習について										
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。										
特記事項										

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	オリエンテーション：人体の構成・位置・方向用語、触診の基本 (手順・触り方)	対面	授業内容の復習を行う。
2	体幹の指標Ⅰ（背側）：肩甲骨、椎骨、脊柱起立筋、腰方形筋	対面	授業内容の復習を行う。
3	体幹の指標Ⅱ（腹側）：胸骨、肋骨、腹筋、胸筋	対面	授業内容の復習を行う。
4	上腕前面Ⅰ：上腕骨、上腕二頭筋、上腕筋、肩関節	対面	授業内容の復習を行う。
5	上腕前面Ⅱ：腋窩動脈、上腕動脈、正中神経、腋窩、鎖骨胸筋三角	対面	授業内容の復習を行う。
6	前腕前面Ⅰ：橈骨、尺骨、肘窩、肘関節	対面	授業内容の復習を行う。
7	前腕前面Ⅱ：前腕屈筋群、正中神経	対面	授業内容の復習を行う。
8	手部：手根骨、指骨、手根管、手関節	対面	授業内容の復習を行う。
9	肩甲帯：鎖骨、肩甲骨、回旋筋腱板①	対面	授業内容の復習を行う。
10	上腕背側：肘頭、回旋筋腱板②、上腕三頭筋、橈骨神経	対面	授業内容の復習を行う。
11	前腕背側Ⅰ：前腕伸筋群、橈骨神経	対面	授業内容の復習を行う。
12	前腕背側Ⅱ：橈骨小窩（嗅ぎタバコ入れ）、伸筋支帯	対面	授業内容の復習を行う。
13	下肢帯：寛骨、殿筋、坐骨神経	対面	授業内容の復習を行う。
14	大腿前面：大腿骨、大腿四頭筋、縫工筋、膝蓋骨、股関節	対面	授業内容の復習を行う。
15	下腿前面Ⅰ：脛骨、腓骨、膝関節	対面	授業内容の復習を行う。

授業シラバス

16	下腿前面Ⅱ：下腿伸筋群、深腓骨神経	対面	授業内容の復習を行う。
17	足部：足根管、足部の靭帯、指骨、足関節	対面	授業内容の復習を行う。
18	大腿後面Ⅰ：ハムストリングス、坐骨神経	対面	授業内容の復習を行う。
19	大腿後面Ⅱ：腸脛靭帯、鵞足、内転筋、膝窩、	対面	授業内容の復習を行う。
20	下腿後面：下腿三頭筋、脛骨神経、総腓骨神経	対面	授業内容の復習を行う。
21	頭頸部Ⅰ：甲状軟骨、舌骨、下顎骨、胸鎖乳突筋、総頸動脈	対面	授業内容の復習を行う。
22	総復習	対面	授業内容の復習を行う。
23	まとめ（評価含む）	対面	

授業シラバス

科目名	臨床はりきゅう実技	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	後期			
	I	単位数	2単位	時間数	45時間	授業形態	実技			
担当者	中本 琴音 藤井 健介 宮城 凌央	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	中本・宮城：明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務 藤井：明治国際医療大学附属鍼灸センター勤務									
DPとの関連	DP1	○	DP2		DP3		DP4		DP5	◎

授業の概要

臨床医学論と東洋医学臨床論で学んだ疾患・症候に対する診察法を行います。臨床実習Ⅳに向け、臨床で多く遭遇する疾患に対する基本的な医療情報の収集、触診、検査などの技術を修得することを目的とします。整形外科疾患などに対する鍼灸治療の技術を身に付けます。

到達目標

- ①患者に必要な徒手検査が選択でき、安全に実施できる。
- ②整形外科疾患に対する鍼灸治療（西洋医学・東洋医学）が安全に実施できる。

学修上の助言

頸部・上肢などの各種検査のメカニズム、各種検査実技、検査所見の理解および記載方法などを学習していきます。本授業では、検査実技を確実に習得するため、反復することに重点を置きます。

	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
成績評価	評価配分	100%								
	評価の実施方法と注意点									
	1. 受験資格について総授業時間数の4/5以上が必要です。 2. 成績評価について実技試験にて60点以上で合格とします。									
	受験資格・出席について 【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。									

教科書・参考図書

教科書：
参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。
※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	頸部 検査	対面	頸部の構造と機能について予習を行う。
2	頸部 検査・治療	対面	頸部の構造と機能について予習を行う。
3	頸部 治療	対面	頸部の構造と機能について予習を行う。
4	頸部 治療（東洋）	対面	頸部の構造と機能について予習を行う。
5	肩 検査	対面	肩の構造と機能について予習を行う。
6	肩 検査・治療	対面	肩の構造と機能について予習を行う。
7	肩 治療	対面	肩の構造と機能について予習を行う。
8	肩 治療（東洋）	対面	肩の構造と機能について予習を行う。
9	肘 検査	対面	肘の構造と機能について予習を行う。
10	肘 検査・治療	対面	肘の構造と機能について予習を行う。
11	肘 治療	対面	肘の構造と機能について予習を行う。
12	肘 治療（東洋）	対面	肘の構造と機能について予習を行う。
13	上肢 検査	対面	上肢の構造と機能について予習を行う。
14	上肢 検査・治療	対面	上肢の構造と機能について予習を行う。
15	上肢 治療	対面	上肢の構造と機能について予習を行う。

授業シラバス

16	上肢 治療（東洋）	対面	上肢の構造と機能について予習を行う。
17	腰下肢 検査	対面	腰下肢の構造と機能について予習を行う。
18	腰下肢 検査・治療	対面	腰下肢の構造と機能について予習を行う。
19	腰下肢 治療	対面	腰下肢の構造と機能について予習を行う。
20	腰下肢 治療（東洋）	対面	腰下肢の構造と機能について予習を行う。
21	腰鑑別 検査	対面	腰下肢の構造と機能について予習を行う。
22	腰鑑別 検査・治療	対面	腰下肢の構造と機能について予習を行う。
23	腰鑑別 治療	対面	腰下肢の構造と機能について予習を行う。
24	腰鑑別 治療（東洋）	対面	腰下肢の構造と機能について予習を行う。
25	膝 検査	対面	膝の構造と機能について予習を行う。
26	膝 検査・治療	対面	膝の構造と機能について予習を行う。
27	膝 治療	対面	膝の構造と機能について予習を行う。
28	膝 治療（東洋）	対面	膝の構造と機能について予習を行う。
29	まとめ（期末試験）	対面	これまで学んだ内容を復習しておく。
30	まとめ（期末試験）	対面	これまで学んだ内容を復習しておく。

授業シラバス

科目名	臨床実習 I	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	時間外
		単位数	1 単位	時間数	45 時間	授業形態	臨床実習
担当者	谷口 剛志	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：				
実務経験	明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務						
DPとの関連	DP 1	DP 2	○	DP 3	○	DP 4	○ DP 5

授業の概要

臨床実習 I は、医療関連の施設での仕事の実際を見て学びます。現場での仕事の内容だけでなく、医療に従事する者の心構えや患者、利用者とのコミュニケーションについて考えることを目的としています。
将来の目標設定を明確にし、今後の学習意欲を高めます。

到達目標

実習を通して、以下の 3 点を到達目標とします。

1. 仕事の内容を見て職務の概要を理解することが出来る。
2. 鍼灸師がその仕事につくことの意味について考えることが出来る。
3. 患者、利用者とのコミュニケーションについて考えることが出来る。

学修上の助言

1. 現場では患者、利用者の前に出て見学を行います。医療人として、実習生として相応しい態度、身だしなみで実習に臨んでください。※服装は実習先で異なりますので確認すること。
2. 実習先では現地の指導者に従って積極的に実習を行ってください。
3. 実習先で得た個人情報には守秘義務があります。絶対に漏らさないでください。
4. 実習先の仕事の概要等についてはホームページなどで確認し、事前に知識を持っておくようにしてください。

成 績 評 価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
		評価配分				50		50		
評価の実施方法と注意点										
実習先での現場の評価と提出されたレポート等により評価します。 評価の内容・基準は事前に公開します。										
受験資格・出席について										
【臨床実習】全実習への出席が必要となります。										

教科書・参考図書

教科書：
参考図書等：

授業時間外の学習について

実習の内容について、必ずその日のうちに振り返り、レポートの作成など、記憶にとどめるように努力すること。その際に、翌日の行動目標についても確認して実りある実習としてください。

特記事項

授業シラバス

科目名	総合演習 I	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	時間外			
		単位数	1 単位	時間数	15 時間	授業形態	演習			
担当者	谷口 剛志	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務									
DPとの関連	DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	◎

授業の概要

1. 本演習では、西洋・東洋医学系基礎を問題演習形式にて学習する。
2. 本演習では、鍼灸業界の動向ならびに卒後必要な知識を研修会などを通じて学習する。

到達目標

1. 1年次に学習した西洋・東洋医学系基礎が理解できる。
2. 研修を通じて鍼灸業界の動向ならびに卒後必要な知識を自ら表出し理解できる。

学修上の助言

1. 1年次に学習した西洋・東洋医学系基礎は、国家試験対策となる重要となります。1年間の総括となります。復習を行いましょう。
2. 鍼灸業界の動向をキャッチして鍼灸師として将来像を明確にしていきましょう。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	50%				50%				
評価の実施方法と注意点										
期末試験は筆記試験として最終日に実施する。また、期末試験終了後に解説を実施する。成績評価は100点満点で採点し、60点以上を単位修得とする。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：解剖学、生理学、経絡経穴概論、東洋医学概論

参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、指示のもとに復習を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。計画的に研修に参加しましょう。

特記事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	前期・後期の東洋医学系復習（東洋医学概論、経絡経穴概論）	オンデマンド	授業内容の復習を行う
2	前期・後期の東洋医学系復習（解剖学・生理学）	オンデマンド	授業内容の復習を行う
3	鍼灸業界の動向に関する演習	対面	授業内容の復習を行う
4	鍼灸業界の動向に関する演習	対面	授業内容の復習を行う
5	卒後必要な知識を構築する演習	対面	授業内容の復習を行う
6	卒後必要な知識を構築する演習	対面	授業内容の復習を行う
7	まとめ（西洋医学系、評価含む）	対面	授業内容の復習を行う
8	まとめ（東洋医学系、評価含む）	対面	

授業シラバス

科目名	コーチング論 I	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	前期			
		単位数	1 単位	時間数	30 時間	授業形態	講義			
担当者	山根 太治	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	JSP0 - AT、鍼灸師としてラグビー現場でのトレーナー活動。AT 専門教育。									
DPとの関連	DP 1		DP 2	◎	DP 3	◎	DP 4	◎	DP 5	

授業の概要

スポーツ指導者としての基本的な思考、態度、行動、様々な指導現場や環境において必要となる要素を考え、各種関係者、学生間での意見交換・共同作業を通して、コーチングの原点やプロセス、コーチングの計画立案法、効果的なコーチング実践法に関する知識やスキルの獲得及び理論の理解を深めることを学ぶ。

到達目標

コーチング、コーチングのプロセス、コーチングの計画立案法、効果的なコーチング実践法に関する知識やスキルの獲得及び理論の理解を深めるように出来る。

学修上の助言

スポーツ指導者である JSP0-AT として、現状の自分から目標とする自分に成長するために必要な知識やスキルを理解し、それらを習得すべき具体的な行動について考察する。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分					90				10
評価	評価の実施方法と注意点									
	現状の自己評価と目標設定、到達のための具体的な行動指針が立てられているかをレポート評価する。									
	受験資格・出席について									
【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：共通科目リファレンスブック（公益財団法人 日本スポーツ協会）

参考図書等：

授業時間外の学習について

スポーツ指導者としての JSP0-AT の在り方を、自身の日常生活における立ち居振る舞いに反映させる意識を持つ。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	コーチングとは	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
2	コーチングとは	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
3	コーチングとは	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
4	コーチに求められる役割	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
5	コーチに求められる知識とスキル	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
6	他者力を磨こうⅠ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
7	他者力を磨こうⅡ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
8	他者力を磨こうⅢ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
9	他者力を磨こうⅣ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
10	他者力を磨こうⅤ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
11	対自己力を磨こうⅠ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
12	対自己力を磨こうⅡ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
13	対自己力を磨こうⅢ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
14	対自己力を磨こうⅣ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
15	対自己力を磨こうⅤ	対面	

授業シラバス

科目名	コーチング論Ⅱ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	前期			
		単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義			
担当者	山根 太治	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	JSP0 - AT、鍼灸師としてラグビー現場でのトレーナー活動。AT 専門教育。									
DPとの関連	DP1		DP2	◎	DP3	◎	DP4	◎	DP5	

授業の概要

コーチングをする上でスポーツの本質・制度・環境について学ぶ。また、近年のスポーツチームや組織において気をつけなければならないガバナンス・暴力・ハラスメント・リスクマネジメントについて学ぶ。

到達目標

コーチングを取り巻く環境様々な環境、問題について考え、理解し、実践の場でもその知識を利用が出来る。

学修上の助言

スポーツ指導者である JSP0-AT として、現状の自分から目標とする自分に成長するために必要な知識やスキルを理解し、それらを習得すべき具体的な行動について考察する。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分					90				10
評価	評価の実施方法と注意点									
	現状の自己評価と目標設定、到達のための具体的行動指針が立てられているかをレポート評価する。									
	受験資格・出席について									
【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：共通科目リファレンスブック（公益財団法人 日本スポーツ協会）

参考図書等：

授業時間外の学習について

スポーツ指導者としての JSP0-AT の在り方を、自身の日常生活における立ち居振る舞いに反映させる意識を持つ。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	スポーツの意義と価値	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
2	スポーツの意義と価値	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
3	スポーツの価値を守るスポーツ権	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
4	スポーツの自治－ガバナンスとコンプライアンス－ 暴力・ハラスメントの根絶Ⅰ)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
5	暴力・ハラスメントの根絶Ⅱ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
6	暴力・ハラスメントの根絶Ⅲ)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
7	スポーツのインテグリティ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
8	スポーツの事故におけるスポーツ指導者の法的責任	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
9	スポーツ仲裁	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
10	スポーツ倫理	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
11	時代をリードするコーチング	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
12	ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチングⅠ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
13	ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチングⅡ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
14	障がい者とスポーツⅠ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
15	障がい者とスポーツⅡ	対面	

授業シラバス

科目名	アスレティックトレーナーの役割	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	前期			
		単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義			
担当者	松山 隆文	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	サッカージュニアユース世代のJSP0-ATとして活動									
DPとの関連	DP1	○	DP2		DP3		DP4		DP5	◎

授業の概要

・JSP0-AT や関連資格の役割・業務・制度、法律的観点からの役割と求められる倫理・責任、自身の健康管理の重要性と対処法、スポーツ医・科学チームにおける求められる役割、科学的根拠に基づく情報収集・活用方法、クライアントの特徴理解と連携体制の構築方法について学ぶ。

到達目標

- ・JSP0-AT 及び国内外の関連資格の役割、業務、制度を説明できる。
- ・法律的観点からみた JSP0-AT の役割を理解し、求められる倫理と責任について説明できる。
- ・自身の健康管理の重要性を理解し、その予防や対処法について説明できる。
- ・スポーツ医・科学チームを構成する関連資格の特徴を理解し、JSP0-AT に求められる役割を説明できる。
- ・科学的根拠に基づいた業務推進のための情報収集と活用方法について説明できる。
- ・クライアントの特徴を理解し、連携体制の構築に活用できる。

学修上の助言

- ・非常に幅広く活動する JSP0-AT の仕事内容を理解し、自分がどのようなトレーナーになりたいかを考える。
- ・現場で活躍している各トレーナーの話を聞く姿勢が必要。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分								100%	
評価の実施方法と注意点										
授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										
学期途中に行う確認試験、期末試験（筆記試験）を行い、100 点満点で評価します。										
合計点が 60 点以上で合格となります。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：専門科目テキスト・共通科目リファレンスブック

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー (JSP0-AT) とは (P1~P38)	対面	予習：範囲の教科書を読む
2	JSP0-AT のコンピテンシーに応じた業務と運営 (P39~P52)	対面	予習：範囲の教科書を読む 復習：前回の授業を振り返る
3	アスレティックトレーナーの実際①	対面	
4	JSP0-AT の活動と倫理および運営管理について① ：AT の倫理と責任、法的諸問題・リスクマネジメント (P54~P73)	対面	予習：範囲の教科書を読む
5	アスレティックトレーナーの実際②	対面	
6	JSP0-AT の活動と倫理および運営管理について②：活動環境、新たな職域 (P74~P86)	対面	予習：範囲の教科書を読む 復習：前々回の授業を振り返る
7	アスレティックトレーナーの実際③	対面	
8	JSP0-AT の安全と健康管理, セルフマネジメント：健康管理・感染症概論・メンタルヘルス (P87~P109)	対面	予習：範囲の教科書を読む 復習：前々回の授業を振り返る
9	アスレティックトレーナーの実際④	対面	
10	スポーツ医・科学チームとスタッフについて (P111~P131)	対面	予習：範囲の教科書を読む 復習：前々回の授業を振り返る
11	アスレティックトレーナーの実際⑤	対面	
12	エビデンスに基づいた運営について① (P133~P149)	対面	予習：範囲の教科書を読む
13	エビデンスに基づいた運営について② (P150~P174)	対面	予習：範囲の教科書を読む 復習：前回の授業を振り返る
14	JSP0-AT とクライアントについて ：関係者とのコミュニケーションと留意点・対象者の特性とコミュニケーション (P175~P213)	対面	予習：範囲の教科書を読む 復習：前回の授業を振り返る
15	まとめ	対面	予習：今までの復習を行う

授業シラバス

科目名	スポーツ予防学 I	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	前期			
		単位数	1 単位	時間数	30 時間	授業形態	講義			
担当者	宮本 直樹	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	大学アメリカンフットボール部トレーナー									
DPとの関連	DP1	○	DP2		DP3		DP4		DP5	◎

授業の概要

・ JAP0-AT としてコンピテンシーの 1 つである「スポーツ活動中の外傷・障害予防」について理解し、それを実践することができるための知識を習得する。

到達目標

・ 上肢の機能解剖、スポーツ傷害の基礎知識を習得する
 ・ スポーツ活動中の外傷・障害予防に対する基礎知識を習得し、後期にて実施されるスポーツ予防学実習へ応用できる様に、常にスポーツ現場を想定し、スポーツ現場で活躍できる姿を想像できるようになる。

学修上の助言

機能解剖、スポーツ傷害の知識が必要な教科であるため、他の教科で学んだ内容も学習に必要となってくる場合がある。授業連携を意識し、当授業に取り組む姿勢が必要である。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分		50%			30%			20%	
評価	評価の実施方法と注意点									
	期末試験にて、まとめのテストを実施する。また、単元毎にレポート、課題の提出を持って評価とする。									
	受験資格・出席について									
【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防、アスレティックトレーナー専門科目テキスト1 運動器の機能と構造、アスレティックトレーナー専門科目テキスト2 スポーツ医学

参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	肩甲帯・肩関節・上腕部の機能解剖学①(運動器の機能と構造 p. 62～p. 77)	対面	第1回授業の復習
2	肩甲帯・肩関節・上腕部の機能解剖学②(運動器の機能と構造 p. 78～p. 103)	対面	第2回授業の復習
3	肩関節・上腕の代表的な傷害①(スポーツ医学概論 p. 81～86)	対面	第3回授業の復習
4	肩関節・上腕の代表的な傷害②(スポーツ医学概論 p. 87～91)	対面	第1～4回の授業をまとめる
5	肘関節・前腕部の機能解剖①(運動器の機能と構造 p. 104～p. 110)	対面	第5回授業の復習
6	肘関節・前腕部の機能解剖②(運動器の機能と構造 p. 111～p. 126)	対面	第6回授業の復習
7	肘関節の代表的な傷害(スポーツ医学概論 p. 92～96)	対面	第5～7回の授業をまとめる
8	手関節・手指の機能解剖①(運動器の機能と構造 p. 127～p. 138)	対面	第8回授業の復習
9	手関節・手指の機能解剖②(運動器の機能と構造 p. 139～p. 149)	対面	第9回授業の復習
10	前腕・手・手指の代表的な傷害(スポーツ医学概論 p. 97～113)	対面	第9～10回の授業をまとめる
11	上肢の絞扼神経傷害(スポーツ医学概論 p. 114～122)	対面	第11回授業の復習
12	スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念について (P1～P9)	対面	第12回授業の復習
13	スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態 (P11～P22)	対面	第13回授業の復習
14	各種要因が安全・健康管理が及ぼす影響 (P23～P34)	対面	第14回授業の復習
15	まとめ	対面	第1～14回授業内容の疑問点をまとめる

授業シラバス

科目名	スポーツ予防学Ⅱ	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	後期			
		単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義			
担当者	宮本 直樹	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：木曜日							
実務経験	大学アメリカンフットボール部トレーナー									
DPとの関連	DP1	○	DP2		DP3		DP4		DP5	◎

授業の概要

・ JAP0-AT としてコンピテンシーの1つである「スポーツ活動中の外傷・障害予防」について理解し、それを実践することができるための知識を習得する。

到達目標

・ スポーツ活動中の外傷・障害予防に対する基礎知識を習得し、スポーツ予防学実習へ応用できる様に、常にスポーツ現場を想定し、スポーツ現場で活躍できる姿を想像できるようになる。

学修上の助言

機能解剖、スポーツ傷害の知識が必要な教科であるため、他の教科で学んだ内容も学習に必要となってくる場合がある。授業連携を意識し、当授業に取り組む姿勢が必要である。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分		50%			30%			20%	
評価	評価の実施方法と注意点									
	期末試験にて、まとめのテストを実施する。また、単元毎にレポート、課題の提出を持って評価とする。									
	受験資格・出席について									
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防
参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	初回ガイダンス	対面	
2	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防における JSP0-AT の役割について① (P35～P44)	対面	
3	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防における JSP0-AT の役割について② (P45～P54)	対面	
4	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防における JSP0-AT の役割について③ (P55～P70)	対面	
5	健康管理と JSP0-AT の役割について (P71～P82)	対面	
6	スポーツ外傷・障害予防の考え方・疫学調査と事例・発症要因について (P83～P103)	対面	
7	スポーツ外傷・障害の発生要因・スポーツ外傷・障害予防プログラムの立案と介入 (P104～P114)	対面	
8	再発予防を踏まえたスポーツ活動への復帰の考え方 (P166～P169)	対面	
9	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応①：性別 (P217～P229)	対面	
10	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応②：年齢・感染症 (P230～P250)	対面	
11	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応③：環境 (P251～P282)	対面	
12	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用① (P171～P185)	対面	
13	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用② (P185～P208)	対面	
14	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用③ (P209～P216)	対面	
15	まとめ	対面	

授業シラバス

科目名	スポーツ予防学実習	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	後期			
		単位数	1 単位	時間数	30 時間	授業形態	実技			
担当者	宮本 直樹	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	大学アメリカンフットボール部トレーナー									
DPとの関連	DP1	○	DP2		DP3		DP4		DP5	◎

授業の概要

- ・ JAP0-AT としてコンピテンシーの 1 つである「スポーツ活動中の外傷・障害予防」について理解し、それを実践する。
- ・ 教科書記載の実際のプログラムを参考に、「スポーツ活動中の外傷・障害予防」を目的としたプログラムを作成する。

到達目標

- ・ スポーツ活動中の外傷・障害予防に対するプログラムを実践し、スポーツ現場を想定したスポーツ活動中の外傷・障害予防に対してのプログラム作成と指導ができ、スポーツ現場で活躍できる姿を想像できるようになる。

学修上の助言

実践が主となるため、積極的なエクササイズの実施と指導実践が必要となる。

成 績 評 価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分					80%			20%	
評価の実施方法と注意点										
授業中に指示されたレポートの提出により評価を行う。また、各単元での課題を行い、課題の内容を評価する。実技中心のため、運動ができる服装、水分補給ができる準備をして、授業に望む。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】 授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防
参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	予防・再発予防としての動作の実践：走動作（P314～P323）	対面	走動作のプログラムの復習
2	予防・再発予防としての動作の実践：跳動作（P324～P328）	対面	跳動作のプログラムの復習
3	予防・再発予防としての動作の実践：方向転換動作（P329～P338）	対面	方向転換動作のプログラムの復習
4	予防・再発予防としての動作の実践：投球動作（P339～P346）	対面	投球動作のプログラムの復習
5	予防・再発予防としての動作の実践：打撃動作（P347～P351）	対面	打撃動作のプログラムの復習
6	予防・再発予防としての動作の実践：泳動作（P352～P358）	対面	泳動作のプログラムの復習
7	予防・再発予防としての動作の実践：あたり動作（P359～P363）	対面	あたり動作のプログラムの復習
8	予防・再発予防としての動作の実践：滑走動作（P364～P370）	対面	滑走動作のプログラムの復習
9	科学的根拠に基づいたスポーツ外傷・障害予防プログラムの実際①：前十字靭帯損傷（P115～P124）	対面	前十字靭帯損傷予防のプログラムの復習
10	科学的根拠に基づいたスポーツ外傷・障害予防プログラムの実際②：足関節捻挫（P125～P129）	対面	足関節捻挫予防のプログラムの復習
11	科学的根拠に基づいたスポーツ外傷・障害予防プログラムの実際③：肉ばなれ（P130～P134）	対面	肉離れ予防のプログラムの復習
12	科学的根拠に基づいたスポーツ外傷・障害予防プログラムの実際④：投球障害（P135～P141）	対面	投球障害予防のプログラムの復習
13	実践①（設定に応じた予防・再発予防としての動作プログラム作成）	対面	実際のプログラム作成を行うポイントの復習
14	実践②（設定に応じた予防・再発予防としての動作プログラム作成）	対面	実際のプログラム作成を行うポイントの復習
15	まとめ	対面	1～14回までの復習

授業シラバス

科目名	救急対応	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	前期			
		単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義			
担当者	山根 太治	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	JSP0 - AT、鍼灸師としてラグビー現場でのトレーナー活動。AT 専門教育。									
DPとの関連	DP1	◎	DP2	◎	DP3	◎	DP4	◎	DP5	◎

授業の概要

JSP0-AT の役割における救急対応の位置づけを理解したうえで、医療資格者に引き継ぐための現場で出来る最高レベルの救急対応ができる実践的な知識、態度や技術を学ぶ。

到達目標

- ・スポーツ現場における救急対応の重要性やその体制構築における JSP0-AT の役割について説明できる。
- ・救急対応を実施する際に必要な正しい知識と倫理、法的留意点について説明できる。
- ・スポーツ活動現場における救急体制構築や緊急時対応計画（EAP）の立案に必要な要素、具体的な立案方法について説明できる。
- ・緊急性を判断するための的確な方法を活用し、JSP0-AT の役割における救急対応が実践できる。
- ・重症度や外傷、内科的疾患に応じた救急対応が実践できる。
- ・競技・種目特性に応じた緊急時対応計画（EAP）の計画や救急対応が実践できる。

学修上の助言

スポーツ現場での活動を常に想定し、授業を通じて得た知識やスキルを実践的に活用できることを意識すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
		評価配分	80							20
評価の実施方法と注意点										
知識を確認することを主な評価基準とするが、実技習得への取り組みも評価基準に組み込む。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】 授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：専門科目テキスト救急対応（公益財団法人 日本スポーツ協会）

参考図書等：

授業時間外の学習について

実技練習を自ら行うこと。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	スポーツ現場と救急対応および救急対応の考え方	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
2	スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
3	スポーツ現場での外傷, 障害の評価とその手順① (初期評価・体位管理・保温)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
4	スポーツ現場での外傷, 障害評価実習① (初期評価・体位管理・保温)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
5	外傷時の救急対応① (創傷・出血)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
6	外傷時の救急対応実習① (創傷・出血)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
7	外傷時の救急対応② (打撲・捻挫・肉ばなれ)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
8	外傷時の救急対応実習② (RICE 処置)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
9	外傷時の救急対応③ (骨折・脱臼)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
10	外傷時の救急対応実習③ (骨折・脱臼に対する固定)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
11	外傷時の救急対応④ (脳震盪)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
12	外傷時の救急対応実習④ (脳震盪)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
13	外傷時の救急対応⑤ (頭部・頸部・脊損における重症外傷)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
14	外傷時の救急対応実習⑤ (頭部・頸部・脊損における重症外傷)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
15	まとめ	対面	

授業シラバス

科目名	救急対応実習	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	時間外			
		単位数	1 単位	時間数	30 時間	授業形態	講義			
担当者	山根 太治	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	JSP0 - AT、鍼灸師としてラグビー現場でのトレーナー活動。AT 専門教育。									
DPとの関連	DP 1	◎	DP 2	◎	DP 3	◎	DP 4	◎	DP 5	◎

授業の概要

JSP0-AT の役割における救急対応の位置づけを理解したうえで、医療資格者に引き継ぐための現場で出来る最高レベルの救急対応ができる実践的な知識、態度や技術を学ぶ。

到達目標

- ・スポーツ現場における救急対応の重要性やその体制構築における JSP0-AT の役割について説明できる。
- ・救急対応を実施する際に必要な正しい知識と倫理、法的留意点について説明できる。
- ・スポーツ活動現場における救急体制構築や緊急時対応計画（EAP）の立案に必要な要素、具体的な立案方法について説明できる。
- ・緊急性を判断するための的確な方法を活用し、JSP0-AT の役割における救急対応が実践できる。
- ・重症度や外傷、内科的疾患に応じた救急対応が実践できる。
- ・競技・種目特性に応じた緊急時対応計画（EAP）の計画や救急対応が実践できる。

学修上の助言

スポーツ現場での活動を常に想定し、授業を通じて得た知識やスキルを実践的に活用できることを意識すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
		評価配分	80							20
評価の実施方法と注意点										
実技習得への取り組みも評価基準に組み込み、知識と実技スキル双方を評価する。										
受験資格・出席について										
【実技・実習】授業時間数の 4/5 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：専門科目テキスト救急対応（公益財団法人 日本スポーツ協会）

参考図書等：

授業時間外の学習について

実技練習を自ら行うこと。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	外傷時の救急対応⑥ (特殊な外傷)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
2	外傷時の救急対応実習⑥ (特殊な外傷)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
3	スポーツ現場での外傷, 障害の評価とその手順② (搬送法)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
4	スポーツ現場での外傷, 障害評価実習② (搬送法)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
5	内科的疾患に対する救急対応① (心停止)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
6	内科的疾患に対する救急対応実習① (心停止・一次救命処置)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
7	内科的疾患に対する救急対応② (熱中症)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
8	内科的疾患に対する救急対応実習② (熱中症)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
9	内科的疾患に対する救急対応③ (スポーツでよく見られる内科的疾患)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
10	内科的疾患に対する救急対応実習③ (スポーツでよく見られる内科的疾患)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
11	各競技における救急体制の実際①	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
12	各競技における救急体制の実際②	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
13	各競技における救急体制の実際③	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
14	各競技における救急体制の実際④	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
15	まとめ (評価含む)	対面	

授業シラバス

科目名	検査・測定と評価	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	後期			
		単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義			
担当者	山根 太治	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	JSP0 - AT、鍼灸師としてラグビー現場でのトレーナー活動。AT 専門教育。									
DPとの関連	DP1	◎	DP2	◎	DP3	◎	DP4	◎	DP5	◎

授業の概要

JSP0-AT に必要とされる検査・測定・評価についてその目的と意義を学び、各種具体的な評価手順、実践できる能力を学ぶ。

到達目標

- ・ JSP0-AT による評価の目的と意義を説明できる。
- ・ 形態の評価に関する目的と意義を説明し、実践できる。
- ・ 関節可動性および関節弛緩性、関節動揺性・関節不安定性の評価に関する目的と意義を説明し、実践できる。
- ・ 筋力の評価に関する目的と意義を説明し、徒手的な方法で実践できる。
- ・ 筋パワーの評価に関する目的と意義を説明し、実践できる。
- ・ 持久力の評価に関する目的と意義を説明し、フィールドにおける評価を実践できる。
- ・ 敏捷性の評価、バランス機能の評価に関する目的と意義を説明し、フィールドにおける評価を実践できる。
- ・ 一般的な体力測定に関する目的と意義を説明できる。
- ・ 心理アセスメントに関する目的と意義を説明できる。

学修上の助言

スポーツ現場での活動を常に想定し、授業を通じて得た知識やスキルを実践的に活用できることを意識すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	80								20
評価	評価の実施方法と注意点									
	実技習得への取り組みも評価基準に組み込み、知識と実技スキル双方を評価する。									
	受験資格・出席について									
	【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。									

教科書・参考図書

教科書：専門科目テキスト検査・測定と評価（公益財団法人 日本スポーツ協会）

参考図書等：

授業時間外の学習について

実技練習を自ら行うこと。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	JSP0-AT の行う検査・測定・評価とは	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
2	形態の評価	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
3	関節可動性の評価Ⅰ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
4	関節可動性の評価Ⅱ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
5	関節弛緩性・関節動揺性・関節不安定性の評価	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
6	筋力の評価Ⅰ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
7	筋力の評価Ⅱ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
8	筋パワーの評価Ⅰ)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
9	筋パワーの評価Ⅱ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
10	持久力の評価Ⅰ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
11	持久力の評価Ⅱ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
12	敏捷性の評価	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
13	バランス機能の評価)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
14	一般的な体力測定・心理アセスメントの指標	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
15	まとめ	対面	

授業シラバス

科目名	機能解剖学 I	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	後期			
		単位数	1 単位	時間数	30 時間	授業形態	講義			
担当者	山根 太治	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	JSPO - AT、鍼灸師としてラグビー現場でのトレーナー活動。AT 専門教育。									
DPとの関連	DP 1	◎	DP 2	◎	DP 3	◎	DP 4	○	DP 5	○

授業の概要

骨・関節・筋の構造と機能を理解し、各身体部位の構造、スポーツにおける基本動作を理解して学ぶ。

到達目標

- ・ 骨、骨の各部位の名称を説明できる。
- ・ 関節を定義し、関節の構造が関節の働きを決めている理由を説明できる。
- ・ 関節の構造の分類を説明できる。
- ・ 筋の起始と停止、作用を説明できる。
- ・ 身体における代表的な骨、関節、靭帯、筋・腱の特定が実践できる。

学修上の助言

基礎解剖学に加えて機能的な理解を深め、触察や評価法、傷害の理解につながる学習を意識すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分		80							20
評価	評価の実施方法と注意点									
	知識と実技スキル双方を評価する。									
	受験資格・出席について									
【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：専門基礎科目テキスト 運動器の機能と構造（文光堂）

参考図書等：

授業時間外の学習について

触察実技や評価実技などの練習を組み合わせることで知識の習得を目指す。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	スポーツ動作と運動器の機能と構造 頭頸部・体幹の機能と構造：総論、スポーツ動作の仕組み	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
2	頭頸部・体幹の構造：頭頸部Ⅰ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
3	頭頸部・体幹の構造：体幹Ⅰ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
4	頭頸部・体幹の構造：体幹Ⅱ)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
5	上肢の構造：総論、スポーツ動作の仕組み 肩甲帯・肩関節・上腕部Ⅰ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
6	上肢の構造：肩甲帯・肩関節・上腕部Ⅱ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
7	上肢の構造：肘関節・前腕部Ⅰ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
8	上肢の構造：手関節・手指Ⅰ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
9	下肢の構造：総論、スポーツ動作の仕組み 骨盤帯・股関節・大腿部Ⅰ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
10	下肢の構造：骨盤帯・股関節・大腿部Ⅱ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
11	下肢の構造：膝関節Ⅰ)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
12	下肢の構造：膝関節Ⅱ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
13	下肢の構造：下腿部・足関節・足部Ⅰ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
14	下肢の構造：下腿部・足関節・足部Ⅱ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
15	まとめ	対面	

授業シラバス

科目名	運動生理学	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	後期			
		単位数	1 単位	時間数	30 時間	授業形態	講義			
担当者	山根 太治	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	JSP0 - AT、鍼灸師としてラグビー現場でのトレーナー活動。AT 専門教育。									
DPとの関連	DP1	◎	DP2	◎	DP3	◎	DP4	◎	DP5	◎

授業の概要

体力・運動能力向上やスポーツ外傷・障害予防の計画と実践に必要な運動生理学の各種の基礎知識について学ぶ。

到達目標

体力・運動能力向上やスポーツ外傷・障害予防の計画と実践に必要な運動生理学の各種の基礎知識（筋生理、神経生理、代謝、呼吸・循環、内分泌など）について説明できる。

学修上の助言

トレーニング指導を含めたコンディショニングの実践につながることを意識して学習すること。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	80								20
評価の実施方法と注意点										
知識レベルと、それを応用する思考について評価する。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：専門基礎科目テキスト スポーツ科学概論（文光堂）

参考図書等：

授業時間外の学習について

スポーツ現場で活用するアイデアを具体的に考案する。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	筋生理Ⅰ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
2	筋生理Ⅱ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
3	筋生理Ⅲ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
4	神経生理Ⅰ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
5	神経生理Ⅱ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
6	神経生理Ⅲ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
7	代謝Ⅰ)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
8	代謝Ⅱ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
9	代謝Ⅲ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
10	呼吸・循環Ⅰ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
11	呼吸・循環Ⅱ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
12	呼吸・循環Ⅲ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
13	内分泌Ⅰ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
14	内分泌Ⅱ	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
15	内分泌Ⅲ	対面	

授業シラバス

科目名	スポーツバイオメカニクス	開講年度	2026年度	配当年次	1年	開講期	後期			
		単位数	1単位	時間数	30時間	授業形態	講義			
担当者	山根 太治	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	JSPO - AT、鍼灸師としてラグビー現場でのトレーナー活動。AT 専門教育。									
DPとの関連	DP1	◎	DP2	◎	DP3	◎	DP4	○	DP5	○

授業の概要										
体力・運動能力向上やスポーツ外傷・障害予防の計画と実践に必要なバイオメカニクスの各種の基礎知識を学ぶ。										
到達目標										
体力・運動能力向上やスポーツ外傷・障害予防の計画と実践に必要なバイオメカニクスの各種の基礎知識（運動と力、運動と力のモーメント、流体力、インパクトと外傷・障害など）について説明できる。										
学修上の助言										
望ましいスポーツ動作の習得やトレーニング指導を含めたコンディショニングの実践につながることを意識して学習すること。										
成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分	80							20	100
	評価の実施方法と注意点									
	知識レベルと、それを応用する思考について評価する。									
	受験資格・出席について									
【講義・演習】授業時間数の2/3以上の出席が評価対象となります。										
教科書・参考図書										
教科書：専門基礎科目テキスト スポーツ科学概論（文光堂） 参考図書等：										
授業時間外の学習について										
スポーツ現場で活用するアイデアを具体的に考案する。										
特記事項										

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	身体の力学的特性	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
2	運動と力	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
3	運動と力のモーメント	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
4	流体力 (P64~P70)	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
5	よい動きのバイオメカニクスの原則	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
6	スポーツ動作の分析：歩・走動作	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
7	スポーツ動作の分析：跳動作	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
8	スポーツ動作の分析：投動作	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
9	スポーツ動作の分析：打動作	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
10	スポーツ動作の分析：方向転換動作	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
11	スポーツ動作の分析：あたり動作	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
12	スポーツ動作の分析：滑走動作	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
13	スポーツ動作の分析：泳動作	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
14	スポーツ動作の分析：その他	対面	授業内で配布された資料を用いて復習を行う
15	まとめ	対面	

授業シラバス

科目名	スポーツ科学	開講年度	2026 年度	配当年次	1 年	開講期	前期			
		単位数	1 単位	時間数	30 時間	授業形態	講義			
担当者	松山 隆文	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	サッカージュニアユース世代の JSP0-AT として活動									
DP との関連	DP 1	○	DP 2		DP 3		DP 4		DP 5	◎

授業の概要

- ・各種トレーニング、運動形式、様々な個人、環境変化、健康管理、各競技への実践例などを学ぶ。

到達目標

- ・体力・運動能力向上やスポーツ外傷・障害予防の計画と実践に必要なスポーツ科学の応用的知識（トレーニング科学、運動学習、発育発達、性差、時間生物学、環境による生理学的変化など）について説明できる。
- ・スポーツ科学の基礎的・応用的知識を、運動能力向上やスポーツ外傷・障害予防を目的とした動きづくりのためのコンディショニング計画と実践に活用できる。
- ・スポーツ科学の基礎的・応用的知識を、スポーツ現場における健康管理の計画と実践に活用できる。

学修上の助言

- ・幅広い内容であり、実務も多く使える為、知識と実務を並行して行うことが大切である。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
		評価配分	100%							
評価の実施方法と注意点										
授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										
学期途中に行う確認試験、期末試験（筆記試験）を行い、100 点満点で評価します。										
合計点が 60 点以上で合格となります。										
受験資格・出席について										
【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。										

教科書・参考図書

教科書：専門科目テキスト・共通科目リファレンスブック

参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

授業シラバス

授業計画		授業方法	授業時間外学習 (予習・復習)
1	コンディショニングの基礎 (P119～P125)	対面	予習：教科書の範囲を読む
2	トレーニング各論：筋力・筋パワー (P126～P132)	対面	予習：教科書の範囲を読む 復習：前回の授業の復習
3	トレーニング各論：柔軟性 (P132～P138)	対面	予習：教科書の範囲を読む 復習：前回の授業の復習
4	トレーニング各論：持久力 (P138～P147)	対面	予習：教科書の範囲を読む 復習：前回の授業の復習
5	トレーニング各論：スプリント（スピード） (P147～P154)	対面	予習：教科書の範囲を読む 復習：前回の授業の復習
6	トレーニング各論：アジリティ (P155～P159)	対面	予習：教科書の範囲を読む 復習：前回の授業の復習
7	運動制御・運動学習、発育発達 (P160～P170)	対面	予習：教科書の範囲を読む 復習：前回の授業の復習
8	加齢学、性差 (P171～P178)	対面	予習：教科書の範囲を読む 復習：前回の授業の復習
9	時間生物学、環境による生理学的変化 I (P179～P190)	対面	予習：教科書の範囲を読む 復習：前回の授業の復習
10	環境による生理学的変化 II (P190～P200)	対面	予習：教科書の範囲を読む 復習：前回の授業の復習
11	健康管理への具体的実践例 I (P201～P224)	対面	予習：教科書の範囲を読む 復習：前回の授業の復習
12	健康管理への具体的実践例 II (P201～P224)	対面	予習：教科書の範囲を読む 復習：前回の授業の復習
13	競技種目別の具体的実践例 I (P225～P251)	対面	予習：教科書の範囲を読む 復習：前回の授業の復習
14	競技種目別の具体的実践例 II (P225～P251)	対面	予習：教科書の範囲を読む 復習：前回の授業の復習
15	まとめ	対面	予習：今までの範囲を復習しておく

授業シラバス

科目名	現場実習	開講年度	2026 年度	配当年次	1～2 年	開講期	通年			
		単位数	4 単位	時間数	180 時間	授業形態	実技			
担当者	松山 隆文	連絡先	メールアドレス： 出勤曜日：							
実務経験	サッカージュニアユース世代の JSP0-AT として活動									
DP との関連	DP 1	○	DP 2		DP 3		DP 4		DP 5	◎

授業の概要

- ・ JSP0-AT が様々なスポーツ現場でどのような役割を担い、どのような能力が必要かを見学する。
- ・ スポーツ現場で日頃学んでいることを AT の下、活動を行う。

到達目標

- ・ JSP0-AT の役割についてスポーツ現場で見学する機会を提供し、JSP0-AT のコンピテンシーの習得に必要な技能が何かを知ることを目標とする。
- ・ JSP0-AT の理念のもとスポーツ現場で活動を行う

学修上の助言

- ・ 各スポーツ現場で AT の邪魔にならないように社会人として最低限のマナーを守ること。
- ・ 担当 AT に従い、スポーツ現場で活動を行う。

成績評価	評価方法	期末試験	中間試験	小テスト	レポート	口頭試問	ポートフォリオ	課題	その他	合計
	評価配分					100%				
評価	評価の実施方法と注意点									
	実習日誌等により評価を行う									
	受験資格・出席について									
	【講義・演習】授業時間数の 2/3 以上の出席が評価対象となります。									

教科書・参考図書

教科書：

参考図書等：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

特記事項

第1鍼灸学科・第2鍼灸学科 授業科目一覧表（2025年度以前入学生）

教育内容		授業科目	授業形態	時間数	必修単位	実務経験のある教員による授業科目		
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	自然科学	講義	30	2			
		健康とスポーツ	講義	30	2			
		情報処理	講義	30	2			
		外国語	講義	30	2			
		健康指導法	講義	30	2			
		食と健康	講義	30	2			
		心理学	講義	30	2			
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ	講義	30	1			
		人体の構造と機能Ⅱ-1	講義	30	1			
		人体の構造と機能Ⅱ-2	講義	30	1			
		人体の構造と機能Ⅲ	講義	30	1			
		人体の構造と機能Ⅳ	講義	30	1			
		人体の構造と機能Ⅴ	講義	30	1			
		人体の構造と機能Ⅵ	講義	30	1			
		人体の構造と機能Ⅶ	講義	30	1			
		人体の構造と機能Ⅷ	講義	30	1			
		人体の構造と機能Ⅸ	講義	30	1			
		人体の構造と機能Ⅹ	講義	30	1			
		人体の構造と機能Ⅺ	講義	30	1			
		運動学	講義	30	1			
	疾病の成り立ち、予防 及び回復の促進	病理学概論Ⅰ	講義	30	1			
		病理学概論Ⅱ	講義	30	1			
		衛生学・公衆衛生学Ⅰ	講義	30	1			
		衛生学・公衆衛生学Ⅱ	講義	30	1			
		リハビリテーション医学	講義	30	1			
		臨床医学Ⅰ	講義	30	1			
		臨床医学Ⅱ	講義	30	1			
		臨床医学Ⅲ	講義	30	1			
		臨床医学Ⅳ	講義	30	1			
		臨床医学Ⅴ	講義	30	1			
	保健医療福祉と はり及びきゅうの理念	医療概論	講義	15	1			
		社会保険制度と職業倫理	講義	15	1			
		関係法規	講義	30	1			
	専門分野	基礎はりきゅう学	鍼灸理論Ⅰ	講義	30	1	●	
経絡経穴概論Ⅰ			講義	60	2	●		
経絡経穴概論Ⅱ			講義	60	2	●		
東洋医学概論Ⅰ			講義	30	1	●		
東洋医学概論Ⅱ			講義	30	1	●		
東洋医学概論Ⅲ			講義	30	1	●		
東洋医学概論Ⅳ			講義	30	1	●		
臨床はりきゅう学		臨床鍼灸学Ⅰ-1	講義	30	1	●		
		臨床鍼灸学Ⅰ-2	講義	30	1	●		
		臨床鍼灸学Ⅱ-1	講義	30	1	●		
		臨床鍼灸学Ⅱ-2	講義	30	1	●		
		臨床鍼灸学Ⅲ	講義	30	1	●		
		臨床鍼灸学Ⅳ	講義	30	1	●		
		臨床鍼灸学応用Ⅰ	健美鍼灸論基礎 健康スポーツ鍼灸論基礎 医療連携鍼灸論基礎	※	講義	30	1	
		臨床鍼灸学応用Ⅱ	健美鍼灸論 健康スポーツ障害論 医療連携鍼灸論	※	講義	30	1	●
		鍼灸理論Ⅱ	講義	30	1	●		
		鍼灸理論Ⅲ	講義	30	1	●		
臨床鍼灸演習Ⅰ		演習	30	1	●			
臨床鍼灸演習Ⅱ-1		演習	30	1	●			
臨床鍼灸演習Ⅱ-2		演習	30	1	●			
社会はりきゅう学		臨床コミュニケーション論	演習	30	1	●		
		鍼灸の歴史と社会Ⅱ	講義	30	1	●		
実習		はり実技Ⅰ	実習	30	1	●		
		はり実技Ⅱ	実習	30	1	●		
		きゅう実技Ⅰ	実習	30	1	●		
		きゅう実技Ⅱ	実習	30	1	●		
		取穴実技Ⅰ	実習	30	1	●		
		取穴実技Ⅱ	実習	30	1	●		
		東洋医学実習Ⅰ	実習	30	1	●		
		東洋医学実習Ⅱ	実習	30	1	●		
		臨床鍼灸学実習Ⅰ	実習	30	1	●		
		臨床鍼灸学実習Ⅱ	実習	30	1	●		
		臨床鍼灸学実習Ⅲ	実習	30	1	●		
		臨床鍼灸学実習Ⅳ	実習	30	1	●		
		臨床鍼灸学実習Ⅴ-1	実習	30	1	●		
		臨床鍼灸学実習Ⅴ-2	実習	30	1	●		
		臨床鍼灸学実習応用	健美鍼灸実習 健康スポーツ鍼灸実習 医療連携鍼灸実習	※	実習	30	1	●
		臨床実習	臨床実習Ⅰ	実習	45	1	●	
			臨床実習Ⅱ	実習	45	1	●	
臨床実習Ⅲ			実習	45	1	●		
臨床実習Ⅳ			実習	45	1	●		
総合領域		鍼灸の歴史と社会Ⅰ	講義	30	1	●		
		総合鍼灸学Ⅰ	講義	30	1			
		総合鍼灸学Ⅱ	講義	30	1			
		総合鍼灸学Ⅲ	講義	30	1			
		総合鍼灸学Ⅳ	講義	30	1			
		総合鍼灸学Ⅴ	講義	30	1			
	総合鍼灸学Ⅵ	講義	30	1				
	総合鍼灸学Ⅶ	講義	30	1				
	総合鍼灸学Ⅷ	講義	30	1				
	総合鍼灸学演習	健美鍼灸コース 健康スポーツ鍼灸コース 医療連携鍼灸コース 研究コース 臨床コース 学修コース	※	演習	30	1	●	
合 計				2,670	95	1,380単位時間		

※ 選択必修科目（1科目選択）

認定規則外 自由選択科目	救急処置実習	実習	30	1
	インターンシップ実習Ⅰ	実習	40	1
	インターンシップ実習Ⅱ	実習	40	1
	インターンシップ実習Ⅲ	実習	40	1
	インターンシップ実習Ⅳ	実習	40	1

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	健康指導法	単位数	2 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	岩内 和也	E-mail		実施時期	2 年 後期		

授業の目的

スポーツの意義と価値、体力・トレーニング理論、コーチングなど、スポーツ全般に関する認識を深めることを目的とする。

到達目標

スポーツの意義と価値、体力・トレーニング理論、コーチングなど、スポーツ全般に関する認識を深めるとともに、ライフステージに応じたスポーツの考え方、取り組み方を身につけ、健康社会の実現に寄与し、また個々人の健康課題の改善やスポーツライフスタイルの確立に貢献できる医療人となることを目標とする。

授業の内容

アスレチックトレーナーに必要となる、スポーツの意義と価値、体力・トレーニング理論、コーチング学などを学びます。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。
 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

成績評価

【評価について】
 授業時数の3分の2以上出席したものを評価対象とします。
 評価は期末試験（筆記試験）にて行います。

テキスト

参考文献・図書

オフィスアワーについて

曜日：
 時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	スポーツとは	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	スポーツの起源、スポーツの意義と価値を説明できる	
2	授業内容	体力とトレーニング理論	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	体力の分類とトレーニング理論、筋肉の特徴と働きを説明できる	
3	授業内容	スポーツ指導者とは	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	スポーツ指導者の心構え、スポーツ指導法を説明できる	
4	授業内容	コーチングとは	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	コーチングとは何か、コーチングの目的を説明できる	
5	授業内容	ジュニア期のスポーツ指導①	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	発育と発達、発育期の体格と体力、発達に応じたコーチングを説明できる	
6	授業内容	ジュニア期のスポーツ指導②	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	動きの発達…機序と特徴、心の発達…認知的発達、社会的発達とスポーツの関係を説明できる	
7	授業内容	思春期・青年期のスポーツ指導①	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	レクリエーションスポーツと競技スポーツ、思春期・青年期に必要な体力要素を説明できる	
8	授業内容	思春期・青年期のスポーツ指導②	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	思春期・青年期に必要なトレーニング、実施上の留意点を説明できる	
9	授業内容	中高齢者のスポーツ指導①	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	中高齢者のスポーツの現状、加齢にともなう身体の衰え、中高齢者に必要な体力要素を説明できる	
10	授業内容	中高齢者のスポーツ指導②	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	中高齢者に必要なトレーニング、医療との連携、実施上の留意点を説明できる	
11	授業内容	女性とスポーツ①	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	女性の身体的・体力的特徴、スポーツに関わって起こる女性特有の諸問題を説明できる	
12	授業内容	女性とスポーツ②	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	スポーツを実施する上での留意点、月経とコンディショニングを説明できる	
13	授業内容	障害者とスポーツ①	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	生涯・病気とは、障害とスポーツ、リハビリテーションとハビリテーションを説明できる	
14	授業内容	障害者とスポーツ②	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	障害者に可能なトレーニング、医療との連携、実施上の留意点、障害者スポーツの歴史を説明できる	
15	授業内容	まとめ	配布プリントで授業内容を確認する。
	到達目標	健康社会の実現、スポーツライフスタイルの確立、スポーツ文化の構築、スポーツをみんなのものにを説明できる	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	食と健康	単位数	2 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	桑原 彩 和辻 直	E-mail		実施時期	3 年 前期		

授業の目的	
人間の身体活動を支える栄養素に関する基礎的理解をはかると共に、生命活動と密接に関わる各種栄養素について考察し、さらに実践的な食事へ反映させることができるようになる。	
到達目標	
人間の身体活動を支える栄養素について理解することができる	
授業の内容	
人間の身体活動の基礎となる各種栄養素について解説する。生活に密着した食事内容や水分補給、サプリメントの知識等を扱うこととする。	
注意事項	
<p>※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。</p> <p>※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。</p>	
成績評価	
<p>【評価について】</p> <p>授業時数の3分の2以上出席したものを評価対象とします。</p> <p>評価は期末試験（筆記試験）にて行います。</p>	
テキスト	
プリント配布	
参考文献・図書	
<p>「栄養の基礎がわかる図解辞典」 成美堂出版</p> <p>「栄養科学NEXTシリーズスポーツ・運動栄養学（第3版）」加藤秀夫／中坊幸弘／中村亜紀編</p> <p>「スポーツ栄養学」 田中紀子／平野直美 編 （化学同人）</p>	
オフィスアワーについて	
曜日： 木曜日	
時間： 12 時 30 分～ 13 時 00 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	栄養学の基礎	講義修了後に配布プリントと教科書にて授業内容を確認する。
	到達目標	栄養学の基礎が説明できる。	
2	授業内容	栄養素の働き（糖質・脂質）	講義修了後に配布プリントと教科書にて授業内容を確認する。
	到達目標	糖質・脂質の働きが説明できる。	
3	授業内容	栄養素の働き（タンパク質）	講義修了後に配布プリントと教科書にて授業内容を確認する。
	到達目標	タンパク質の働きが説明できる。	
4	授業内容	栄養素の働き（ビタミン・ミネラル）	講義修了後に配布プリントと教科書にて授業内容を確認する。
	到達目標	ビタミン。ミネラルの働きが説明できる。	
5	授業内容	水分補給と熱中症	講義修了後に配布プリントと教科書にて授業内容を確認する。
	到達目標	水分の働き、熱中症の対策について説明できる。	
6	授業内容	日本人の食品摂取基準とバランスガイド	講義修了後に配布プリントと教科書にて授業内容を確認する。
	到達目標	バランスガイドの作成ができる。	
7	授業内容	ウェイトコントロールと行動変容	講義修了後に配布プリントと教科書にて授業内容を確認する。
	到達目標	適切なウェイトコントロールについて説明できる。	
8	授業内容	障害予防・サプリメントについて	講義修了後に配布プリントと教科書にて授業内容を確認する。
	到達目標	障害予防に必要な栄養素について説明できる。 正しいサプリメントの活用方法を説明できる。	
9	授業内容	試合時の食事について	講義修了後に配布プリントと教科書にて授業内容を確認する。
	到達目標	試合に向けた食事内容について説明できる。	
10	授業内容	食のリスクマネジメント	講義修了後に配布プリントと教科書にて授業内容を確認する。
	到達目標	リスクマネジメントのための食品衛生について理解する。	
11	授業内容	養生法と薬膳について	講義修了後に配布プリントにて授業内容を確認する。
	到達目標	養生法と薬膳の概要について説明できる。	
12	授業内容	薬膳における食材の性質	講義修了後に配布プリントにて授業内容を確認する。
	到達目標	食材の性質について説明できる。	
13	授業内容	薬膳における食材の五味	講義修了後に配布プリントにて授業内容を確認する。
	到達目標	食材の五味について説明できる。	
14	授業内容	薬膳における季節の食材	講義修了後に配布プリントにて授業内容を確認する。
	到達目標	季節に適した食材について説明できる。	
15	授業内容	薬膳における体質分類と食材	講義修了後に配布プリントにて授業内容を確認する。
	到達目標	体質分類に適した食材	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	心理学	単位数	2 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	岩原 昭彦	E-mail				実施時期	3 年 前期

授業の目的

脳の働きと行動の仕組みの基礎を学ぶことで、生物としての人間について知り、人間が人間たるゆえんについて考える。また、人間は社会性をもった存在であるがゆえに、その心のあり様には他者や環境からの影響を大きく受けている。人間の行動の特徴を心理社会的側面から理解し、心理的支援や対人関係の構築に関わる基礎的なスキルを獲得する。

到達目標

心の健康を増進するための方法について理解することを目指す。具体的には、①心の仕組みについて理解すること、②自己と他者について理解すること、③心の健康に関わる理論について説明できること、④ライフステージやフィールドに対応した心の健康を高めるための方法について説明できることを到達目標とする。

授業の内容

本講義では心の健康について、生物-心理-社会モデルから考える。前半は人間の心の仕組みと脳の健康について考えてみたい。後半では生理学的機能についても触れながら、心の健康について、心理社会的要因をベースに考えてみたい。人間の心の働きや心の健康問題を通して幸福とは何かについても考察する。

注意事項

授業時間数の2 / 3以上の出席がないと受験資格を認めません。

成績評価

ミニレポート課題と期末試験から総合的に評価します。

テキスト

テキストは使用しません。資料を配付します。

参考文献・図書

適宜に紹介します。

オフィスアワーについて

曜日： 木曜日

時間： 授業終了後

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	感覚と知覚 1－知覚のメカニズム	人間が人間たるゆえんは何であるのかについて進化論的かつ適応的な視点から考える
	到達目標	知覚情報処理過程の基礎について学ぶ	
2	授業内容	感覚と知覚 2－幻覚と錯覚	人間の認知機能が歪みやすいことと環境に適応することの関係性について考える
	到達目標	認知機能の主観性と歪みについて理解する	
3	授業内容	学習と記憶 1－学習・記憶のメカニズム	記憶力を高めるためにはどうすればよいのかについて考え、自分にあった学習法について知る
	到達目標	記憶のしくみについて学ぶ	
4	授業内容	学習と記憶 2－記憶障害・特異な記憶力	記憶を失うことが私達に与える影響について考え、自分という存在の実態を感じる
	到達目標	認知機能の障害について理解する	
5	授業内容	言語と思考 1－問題解決	人間はなぜ誤りを犯しやすいのかについて進化論的かつ適応的な視点から考える
	到達目標	思考のしくみと歪みについて学ぶ	
6	授業内容	言語と思考 2－推論	直感的に思考することの効用や否定的な思考を修正する方法について考える
	到達目標	思考の柔軟性や肯定的な思考のあり方を理解する	
7	授業内容	感情と社会性 1－社会的認知と感情	豊かな対人関係を構築するためにはどうすればいいのかについて考える
	到達目標	感情の生起メカニズムと対人関係について学ぶ	
8	授業内容	感情と社会性 2－社会性の障害	誤解がなぜ生じるのかについて考えるとともに他者に共感することの意味について考える
	到達目標	コミュニケーション障害と発達障害について理解する	
9	授業内容	生存と適応－生きるとは	人間が幸せな人生を送るためには何が必要なのかについて考える
	到達目標	人間が幸福に生きることの意味について理解する	
10	授業内容	ストレス 1－ストレスの生起メカニズム	なぜ同じ状況がある人にはストレスで別の人にはストレスではないのかについて考える
	到達目標	ストレスが生じる仕組みについて学ぶ	
11	授業内容	ストレス 2－ストレス対処	ストレスを対処するための方法を理解したうえで、自分に適したストレス対処法を考える
	到達目標	ストレス社会を生き抜くためのスキルについて理解する	
12	授業内容	ライフスタイルと健康－食生活と運動習慣	食習慣を変更したり、運動習慣を確立したりすることがなぜ難しいのかについて考える
	到達目標	生活習慣が形成される心理学的メカニズムについて学ぶ	
13	授業内容	健康増進行動 1－健康行動の変容	分かっているのに不健康な習慣を変えられないのはなぜかについて考える
	到達目標	健康的な行動に変容することの難しさについて学ぶ	
14	授業内容	健康増進行動 2－健康心理学的支援	健康的な生活習慣を確立するためにはどのような支援をする必要があるかについて考える
	到達目標	健康的な行動に変容することを支援する方法について学ぶ	
15	授業内容	ポジティブ・ヘルスーポジティブ心理学と健康	ポジティブ志向がなぜ健康を増進するのかを理解し、自分に適した実践方法を考える
	到達目標	ポジティブ心理学的な介入法について理解する	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能VI	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有・ 
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	田中 健吾	E-mail		実施時期	2 年 前期		

授業の目的							
鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。この後期では泌消化器の構造と機能を前期で学んだ知識を活かし、器官系として習得することを目的とします。							
到達目標							
1. 血液、循環器の機能を説明できる。 2. 動脈・静脈の分岐を説明できる。 3. リンパの循環と免疫システムを説明できる。							
授業の内容							
循環器の構造と機能について学習する。							
注意事項							
<p>※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。</p> <p>※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。</p> <p>※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。</p>							
成績評価							
<p>授業出席時間が授業時間数の 2/3 に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。</p> <p>欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。</p> <p>①出席・受講態度（無断途中退出等）②期末試験</p>							
テキスト							
人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版							
参考文献・図書							
<p>1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院</p> <p>2. 『解剖学講義』 南山堂</p> <p>3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂</p> <p>4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院</p> <p>5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社</p> <p>6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店</p>							
オフィスアワーについて							
<p>曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可</p> <p>時間： 時 分～ 時 分</p>							
授業時間外の学習について							
<p>授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。</p>							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	血液の組成と働き、血液型	
	到達目標	総論、血液の組成と機能を理解する。	
2	授業内容	線維素溶解、止血、血管壁の構造と吻合	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	血管の構造を理解する。	
3	授業内容	心臓の構造と働き①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	心臓の構造と機能を理解する。	
4	授業内容	心臓の構造と働き②、血圧、圧受容器、脈拍	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	心臓の構造と機能を理解する。	
5	授業内容	体循環、肺循環、上行大動脈、大動脈弓とその枝	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	体循環と肺循環を理解する。	
6	授業内容	胸大動脈	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	動脈の名称、分岐を理解する。	
7	授業内容	腹大動脈	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	動脈の名称、分岐を理解する。	
8	授業内容	上肢の動脈	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	動脈の名称、分岐を理解する。	
9	授業内容	下肢の動脈	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	動脈の名称、分岐を理解する。	
10	授業内容	上下大静脈、皮静脈	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	静脈の名称と分岐、役割を理解する。	
11	授業内容	門脈	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	門脈の役割、機能を理解する。	
12	授業内容	リンパ系および免疫①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	リンパ液の機能と免疫システムを理解する。	
13	授業内容	リンパ系および免疫②	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	リンパ液の機能と免疫システムを理解する。	
14	授業内容	まとめ	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	まとめ	
15	授業内容	まとめ②(評価含む)	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能Ⅶ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有・ 
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	田中 健吾	E-mail		実施時期	2 年 前期		

授業の目的

鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。この後期では泌消化器の構造と機能を前期で学んだ知識を活かし、器官系として習得することを目的とします。

到達目標

1. 消化器系および腹膜の構造、機能を説明できる。
2. 消化吸収の過程を説明できる。
3. 消化吸収の調節機構を説明できる。

授業の内容

消化器の構造と機能について学習する。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

授業出席時間が授業時間数の 2/3 に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。

欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。

- ①出席・受講態度（無断途中退出等）②中間テスト③期末試験

テキスト

人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版

参考文献・図書

1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院
2. 『解剖学講義』 南山堂
3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂
4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院
5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社
6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店

オフィスアワーについて

曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 消化器系（総論、口、咽頭）	
	到達目標	総論、口、咽頭の構造と機能を理解する。	
2	授業内容	消化器系（食道、胃）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	食道、胃の構造と機能を理解する。	
3	授業内容	消化器系（小腸、大腸）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	小腸、大腸の構造と機能を理解する。	
4	授業内容	消化器系（肝臓）①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	肝臓の構造と機能を理解する。	
5	授業内容	消化器系（肝臓）②	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	肝臓の構造と機能を理解する。	
6	授業内容	消化器系（胆嚢、膵臓）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	胆嚢、膵臓の構造と機能を理解する。	
7	授業内容	消化と吸収①（口腔内および胃内の消化）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	口腔内および胃内の消化のしくみを理解する。	
8	授業内容	消化と吸収②（小腸内の消化と吸収）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	小腸内の消化と吸収のしくみを理解する。	
9	授業内容	消化と吸収③（小腸内および大腸内の消化と吸収）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	小腸内および大腸内の消化と吸収のしくみを理解する。	
10	授業内容	消化と吸収④（大腸内の消化と吸収）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	大腸内の消化と吸収のしくみを理解する。	
11	授業内容	消化と吸収⑤（排便、消化管ホルモン）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	排便、消化管ホルモンのしくみを理解する。	
12	授業内容	肝臓の働き	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	肝臓の機能を理解する。	
13	授業内容	栄養と代謝①	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	栄養素の働きを理解する。	
14	授業内容	栄養と代謝②	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	栄養素の働きを理解する。	
15	授業内容	評価（まとめ）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能Ⅷ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験 の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	田中 健吾	E-mail		実施時期	2年 前期		

授業の目的

鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。この前期では呼吸器・内分泌系の構造や機能を1年生で学んだ知識を活かし、器官系として習得することを目的とします。

到達目標

1. 呼吸系の構造と機能について説明することができる。
2. 内分泌線の構造と機能について説明することができる。

授業の内容

呼吸器系（鼻～咽頭～喉頭～気管・気管支・肺）および内分泌系（ホルモン）について学習する。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

授業出席時間が授業時間数の2/3に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。

欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。

評価対象 ①出席・受講態度（無断途中退出等）②小テスト③期末試験

テキスト

人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版社

参考文献・図書

1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院
2. 『解剖学講義』 南山堂
3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂
4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院
5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社
6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店

オフィスアワーについて

曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	呼吸器総論・鼻腔・咽頭	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	鼻腔・咽頭の構造と機能を理解する。	
2	授業内容	喉頭・気管	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	喉頭・気管の構造と機能を理解する。	
3	授業内容	気管支・肺・胸膜	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	気管支・肺・胸膜の構造と機能を理解する。	
4	授業内容	呼吸運動・肺機能	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	呼吸運動・肺機能のしくみを理解する。	
5	授業内容	ガス交換・呼吸運動の調節	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	ガス交換・呼吸運動の調節のしくみを理解する。	
6	授業内容	ホルモンの一般的特徴	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	ホルモンの一般的特徴のしくみを理解する。	
7	授業内容	視床下部、下垂体	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	視床下部、下垂体の構造と機能を理解する。	
8	授業内容	視床下部、下垂体	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	視床下部、下垂体の構造と機能を理解する。	
9	授業内容	副腎	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	副腎の構造と機能を理解する。	
10	授業内容	甲状腺、副甲状腺	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	甲状腺、副甲状腺の構造と機能を理解する。	
11	授業内容	甲状腺、副甲状腺	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	甲状腺、副甲状腺の構造と機能を理解する。	
12	授業内容	性腺（精巣および卵巣）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	性腺（精巣および卵巣）の構造と機能を理解する。	
13	授業内容	性腺（精巣および卵巣）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	性腺（精巣および卵巣）の構造と機能を理解する。	
14	授業内容	その他のホルモン	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	その他のホルモンの構造と機能を理解する。	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能Ⅹ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験 の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	田中 健吾	E-mail		実施時期	2 年 後期		

授業の目的

鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。この前期では感覚器、伝導路の構造や機能を1年生で学んだ知識を活かし、器官系として習得することを目的とします。

到達目標

1. 皮膚感覚系について、構造と機能を統合的に説明できる。
2. 眼球および視覚系について、構造と機能を統合的に説明できる。
3. 外耳・中耳・内耳（聴覚・平衡覚系）について、構造と機能を統合的に説明できる
4. 嗅覚系について、構造と機能を統合的に説明できる。
5. 味覚系について、構造と機能を統合的に説明できる

授業の内容

感覚器の構造と機能、伝導路について学びます。

注意事項

- ※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
- ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
- ※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

授業出席時間が授業時間数の2/3に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。

欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。

- ①出席・受講態度（無断途中退出等）②中間テスト③期末試験

テキスト

人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版

参考文献・図書

1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院
2. 『解剖学講義』 南山堂
3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂
4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院
5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社
6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店

オフィスアワーについて

曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 感覚の概論	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	感覚の概論について理解する。	
2	授業内容	視覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	視覚器の構造と機能を理解する。	
3	授業内容	視覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	視覚器の構造と機能を理解する。	
4	授業内容	視覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	視覚器の構造と機能を理解する。	
5	授業内容	視覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	視覚器の構造と機能を理解する。	
6	授業内容	平衡聴覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	平衡聴覚器の構造と機能を理解する。	
7	授業内容	平衡聴覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	平衡聴覚器の構造と機能を理解する。	
8	授業内容	平衡聴覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	平衡聴覚器の構造と機能を理解する。	
9	授業内容	平衡聴覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	平衡聴覚器の構造と機能を理解する。	
10	授業内容	平衡聴覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	平衡聴覚器の構造と機能を理解する。	
11	授業内容	皮膚	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	皮膚の構造と機能を理解する。	
12	授業内容	皮膚	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	皮膚の構造と機能を理解する。	
13	授業内容	皮膚	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	皮膚の構造と機能を理解する。	
14	授業内容	嗅覚器、味覚器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	嗅覚器、味覚器の構造と機能を理解する。	
15	授業内容	評価（まとめ）	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能Ⅹ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験 の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	田中 健吾	E-mail		実施時期	2 年 後期		

授業の目的

鍼灸師として各種疾患や訴えている症状の病態を理解するためには、正常な人体の構造と機能についての知識が必要である。この前期では泌尿・生殖器の構造や機能を1年生で学んだ知識を活かし、器官系として習得することを目的とします。

到達目標

1. 泌尿器（腎臓・尿管・膀胱・尿道）の構造と機能を説明できる。
2. 生殖器（精巣・精巣上体・精管・卵巣・卵管・子宮）の構造と機能を説明できる。

授業の内容

泌尿器（腎臓・尿管・膀胱・尿道）および生殖器（精巣・精巣上体・精管・卵巣・卵管・子宮）について学習する。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

授業出席時間が授業時間数の2/3に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。

欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。

評価対象

- ①出席・受講態度（無断途中退出等）②中間テスト③期末試験

テキスト

人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版

参考文献・図書

1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院
2. 『解剖学講義』 南山堂
3. 『生理学テキスト第7版』 文光堂
4. 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院
5. 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社
6. 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店

オフィスアワーについて

曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 腎臓	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	腎臓の構造と機能を理解する。	
2	授業内容	腎臓	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	腎臓の構造と機能を理解する。	
3	授業内容	尿生成	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	尿生成のしくみについて理解する。	
4	授業内容	尿生成	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	尿生成のしくみについて理解する。	
5	授業内容	腎臓による体液調節	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	腎臓による体液調節のしくみについて理解する。	
6	授業内容	腎臓による体液調節	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	腎臓による体液調節のしくみについて理解する。	
7	授業内容	尿管・膀胱・尿道	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	の構造と機能を理解する。	
8	授業内容	蓄尿と排尿	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	蓄尿と排尿のしくみについて理解する。	
9	授業内容	男性生殖器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	男性生殖器の構造と機能を理解する。	
10	授業内容	男性生殖器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	男性生殖器の構造と機能を理解する。	
11	授業内容	女性生殖器（卵巣）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	女性生殖器（卵巣）の構造と機能を理解する。	
12	授業内容	女性生殖器（子宮）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	女性生殖器（子宮）の構造と機能を理解する。	
13	授業内容	女性生殖器（卵管、外生殖器）	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	女性生殖器（卵管、外生殖器）の構造と機能を理解する。	
14	授業内容	受精と発生	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	受精と発生のしくみについて理解する。	
15	授業内容	評価（まとめ）	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	人体の構造と機能XI	単位数	1単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有・無
		時間数	30時間				
実務経験内容							
担当者	田中 健吾	E-mail		実施時期	3年 前期		

授業の目的
国家試験の「解剖学・生理学」で出題される内容で特に出題頻度が高いものについての理解を深め、国家試験に対応できる能力を修得することを目的とする。さらに、解剖学・生理学の知識を臨床医学各論につなげることも目的とする。
到達目標
国家試験と同等程度のレベルの問題を解き、80%以上が正解となることを目標とする。
授業の内容
この授業では、解剖学・生理学の国家試験対策として、出題頻度が 高いものを中心に学修する。
注意事項
<p>※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。</p> <p>※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。</p> <p>※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。</p>
成績評価
<p>授業出席時間が授業時間数の 2/3 に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。</p> <p>欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。</p> <p>評価対象</p> <p>①出席・受講態度（無断途中退出等）②中間テスト③期末試験</p>
テキスト
<ul style="list-style-type: none"> ・鍼灸国家試験攻略テキスト 上巻 ・配布スライド PDF ・東洋療法学校協会編「解剖学」「生理学」
参考文献・図書
「からだが見える」 メディックメディア
オフィスアワーについて
<p>曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可</p> <p>時間： 時 分～ 時 分</p>
授業時間外の学習について
<p>授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。</p>

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	循環器①	配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	血液の組成と機能・止血と線維素溶解・血管の構造と機能について理解し、理解した内容を自ら説明することができる。	
2	授業内容	循環器②（血液と循環）	配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	心臓の構造と機能・刺激伝導系・血圧・循環の調整について理解し、理解した内容を自ら説明することができる。	
3	授業内容	呼吸器①（呼吸器の構造）	配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	呼吸器の構造について理解し、理解した内容を自ら説明することができる。	
4	授業内容	呼吸器②（呼吸器の機能）	配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	呼吸器の機能について理解し、理解した内容を自ら説明することができる。	
5	授業内容	消化器①（口腔から胃までの構造）	配布講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	消化器（口腔から胃）の構造について理解し、理解した内容を自ら説明することができる。	
6	授業内容	消化器②（十二指腸から大腸と肝・胆・膵臓の構造）	配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	消化器（十二指腸から大腸と肝・胆・膵臓）の構造について理解し、理解した内容を自ら説明することができる。	
7	授業内容	消化器③（消化器の機能）	配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	消化器の機能について理解し、理解した内容を自ら説明することができる。	
8	授業内容	中枢神経（構造）	配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	中枢神経の構造について理解し、理解した内容を自ら説明することができる。	
9	授業内容	中枢神経（機能）	配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	中枢神経の機能について理解し、理解した内容を自ら説明することができる。	
10	授業内容	内分泌（総論）	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	内分泌腺の構造と機能について理解し、理解した内容を自ら説明することができる。	
11	授業内容	内分泌腺（各論）	配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	内分泌腺の構造と機能について理解し、理解した内容を自ら説明することができる。	
12	授業内容	泌尿器（構造と機能）	配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	泌尿器の構造と機能について理解し、理解した内容を自ら説明することができる。	
13	授業内容	生殖器（構造と機能）	配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	泌尿器の構造と機能について理解し、理解した内容を自ら説明することができる。	
14	授業内容	感覚器（構造と機能）	配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	感覚器の構造と機能について理解し、理解した内容を自ら説明することができる。	
15	授業内容	理解度の確認（総合的評価）とフィードバック	
	到達目標	本講義で学んだことを理解し、内容を自ら説明することができる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	運動学	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ ⑧
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	中本 琴音	E-mail		実施時期	2 年 前期		

授業の目的

この科目はスポーツを行うために必要な筋肉や関節の動きや身体の動作を解剖学, 生理学, 力学などから捉えて理解することを目的とします。

到達目標

身体各部の動きを構造と機能を通じて理解し述べるができる。

授業の内容

身体各部について構造と機能を復習しつつ運動についての理解を深める。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

授業時数の 3 分の 2 以上出席したものを評価対象とします。

期末筆記試験での評価を行います。

テキスト

リハビリテーション医学 （東洋療法学校協会）

参考文献・図書

基礎運動学 （医歯薬出版社）

オフィスアワーについて

曜日：金曜日

時間：16 時 30 分～17 時 30 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 運動学とはどのような学問かについて学ぶ。	運動学の歴史や推移、現代の運動学や運動力学について復習をしておく。
	到達目標	運動学の概念を述べることができる。	
2	授業内容	関節と運動の力学、姿勢とその異常について学ぶ。	トルクやテコ、重心線、抗重力筋を復習をしておく。
	到達目標	身体のコ、重心・重心線を述べるができる。	
3	授業内容	運動路と感覚路、反射と随意運動について学ぶ。	伝導路について予習をしておく。
	到達目標	伝導路と各種反射を述べるができる。	
4	授業内容	脊柱・体幹の機能について学ぶ。	脊柱や胸郭に関わる構造を予習をしておく。
	到達目標	脊柱の運動の特徴、胸郭の動きを述べるができる。	
5	授業内容	肩甲帯・肩の機能について学ぶ。	肩に関わる構造を予習をしておく。肩甲骨上腕リズムを復習をしておく。
	到達目標	肩甲骨上腕リズムを述べるができる。	
6	授業内容	肘と前腕の機能について学ぶ。	肘に関わる構造を予習をしておく。
	到達目標	構造と筋、可動域、回内・回外を述べるができる。	
7	授業内容	手と手指の機能について学ぶ。	手に関わる構造を予習をしておく。 腱区画を復習をしておく。
	到達目標	構造と筋、腱区画、把持動作とアーチを述べるができる。	
8	授業内容	骨盤と股関節の機能について学ぶ。	骨盤と股関節に関わる構造を予習をしておく。 股関節の負荷と基準線を復習をしておく。
	到達目標	構造と筋、可動域、荷重線、殿部の基準線を述べるができる。	
9	授業内容	膝関節の機能について学ぶ。	膝に関わる構造を予習をしておく。 荷重線や筋区画を復習をしておく。
	到達目標	構造と筋、可動域、荷重線、筋区画を述べるができる。	
10	授業内容	足の機能について学ぶ。	足部に関わる構造を予習をしておく。
	到達目標	構造と筋、可動域、アーチを述べるができる。	
11	授業内容	正常歩行について学ぶ。	下肢に関わる構造を予習をしておく。 歩行周期を復習をしておく。
	到達目標	歩行の基礎と歩行周期を述べるができる。	
12	授業内容	異常歩行について学ぶ。	正常歩行を予習をしておく。
	到達目標	各疾患に特徴的な異常歩行を述べるができる。	
13	授業内容	表情筋・頭部について学ぶ。	頭顔面部に関わる構造を予習をしておく。
	到達目標	構造と筋、可動域、評価を述べるができる。	
14	授業内容	眼球運動について学ぶ。	眼球および外眼筋を予習をしておく。
	到達目標	構造と筋、特徴を述べるができる。	
15	授業内容	まとめ（評価含む） 本授業の内容について確認・復習をする。	
	到達目標	本授業の内容について知識を習得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	病理学概論 I	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	澤谷 友香理	E-mail			実施時期	2 年 前期	

授業の目的

1 年次において人体の正常構造や機能を系統的学んだ事をもとに病気の原因や病態などが考察でき、基礎・基本的な病理学的知識を習得することを目的にします。

到達目標

学んだ知識で疾患の成因や病態を述べることができる。

授業の内容

病理学の基礎、病因、循環障害、細胞傷害について学びます。

注意事項

- ※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
- ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
- ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

授業時数の 3 分の 2 以上出席したものを評価対象とします。
 期末筆記試験での評価を行います。

テキスト

東洋療法学校協会「病理学概論」医歯薬出版社

参考文献・図書

- 「イラスト病理学」文光堂
- 「わかりやすい病理学」南江堂

オフィスアワーについて

曜日：金曜日
 時間：16 時 30 分～17 時 30 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 病理学とはどのような学問かを学ぶ。	病理学を学ぶに当たり、人体の構造と機能を予習しておく。
	到達目標	病理学の定義や役割を述べることができる。	
2	授業内容	疾病についての基本的な考え方を学ぶ。	WHO の健康の定義を復習しておく。
	到達目標	疾病の概念、分類、症候と経過を述べることができる。	
3	授業内容	病因論の内因について学ぶ。	ライフステージや遺伝の基礎を予習しておく。
	到達目標	病因・内因の概念、素因、遺伝を述べることができる。	
4	授業内容	病因論の内因について学ぶ。	内分泌の概念、免疫の基礎を復習しておく。
	到達目標	内因のうち内分泌、免疫、心因性疾患を述べることができる	
5	授業内容	病因論の外因について学ぶ。	三大栄養素やビタミン、ミネラルについて予習しておく。
	到達目標	外因の概念、栄養素の過不足を述べることができる。	
6	授業内容	病因論の外因について学ぶ。	物理的病因の種類について予習をしておく。中毒や環境汚染について予習をしておく。
	到達目標	物理的病因、化学的病因を述べることができる。	
7	授業内容	病因論の外因について学ぶ。	病原体の種類について予習をしておく。
	到達目標	生物学的病因を述べることができる。	
8	授業内容	循環障害の基礎、充血、うっ血について学ぶ。	循環系、血液について予習をしておく。
	到達目標	定義、原因、機序、疾患を述べることができる。	
9	授業内容	循環障害の貧血、虚血について学ぶ。	循環系、血液について予習をしておく。
	到達目標	定義、原因、機序、疾患を述べることができる。	
10	授業内容	循環障害の出血、ショックについて学ぶ。	止血・線溶やそれに関わる因子の予習をしておく。
	到達目標	定義、種類、機序、疾患を述べることができる。	
11	授業内容	循環障害の血栓、塞栓について学ぶ。	止血・線溶やそれに関わる因子の復習をしておく。
	到達目標	定義、誘因、種類、転帰を述べることができる。	
12	授業内容	循環障害の梗塞、浮腫について学ぶ。	虚血、出血、循環系、血症膠質浸透圧について復習しておく。
	到達目標	定義、原因、種類、機序を述べることができる。	
13	授業内容	細胞傷害と修復の萎縮と変性について学ぶ。	退行性病変について予習しておく。
	到達目標	定義、分類を述べることができる。	
14	授業内容	細胞傷害と修復の壊死と死について学ぶ。	死について予習しておく。
	到達目標	定義、分類、壊死とアポトーシスの違いを述べることができる	
15	授業内容	まとめ（評価含む） 本授業の内容について確認・復習をする。	
	到達目標	本授業の内容について知識を習得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	病理学概論Ⅱ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	澤谷 友香理	E-mail			実施時期	2 年 後期	

授業の目的

1 年時において人体の正常構造や機能を系統的学んだ事をもとに病気の原因や病態などが考察でき、基礎・基本的な病理学的知識を習得することを目的にします。

到達目標

学んだ知識で疾患の成因や病態を述べるができる。

授業の内容

病理学の細胞傷害と修復、炎症、免疫異常、腫瘍、先天性異常について学びます。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

授業時数の 3 分の 2 以上出席したものを評価対象とします。

期末筆記試験での評価を行います。

テキスト

東洋療法学校協会「病理学概論」医歯薬出版社

参考文献・図書

「イラスト病理学」文光堂

「わかりやすい病理学」南江堂

オフィスアワーについて

曜日：金曜日

時間：16 時 30 分～17 時 30 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 肥大、増殖、再生、化生について学ぶ。	人体の主要組織についての予習 をしておく。
	到達目標	定義や種類、分類を述べるができる。	
2	授業内容	創傷治癒について学ぶ。	皮膚の構造と機能について予習 をしておく。
	到達目標	機序や肉芽組織、異物処理を述べるができる。	
3	授業内容	炎症の一般的な内容について学ぶ。	循環系と血球についての予習を しておく。
	到達目標	5大徴候、障害因子、プロセスを述べるができる。	
4	授業内容	炎症の分類について学ぶ。	感染症の全般について予習をし ておく。
	到達目標	種類や分類を述べるができる。	
5	授業内容	腫瘍の一般的な内容について学ぶ。	定義や構造、増殖様式などに ついて復習をしておく。
	到達目標	腫瘍の定義を述べるができる。	
6	授業内容	腫瘍の形態と構造や組織学的内容について学ぶ。	異型性、分化度について復習をし ておく。
	到達目標	腫瘍の特徴を述べるができる。	
7	授業内容	腫瘍の分類について学ぶ。	上皮性・非上皮性、良性・悪性そ れぞれの特徴や違いについて復 習をしておく。
	到達目標	発生母地による違い、悪性、良性を述べるができる。	
8	授業内容	腫瘍の発生機序や生体に及ぼす影響について学ぶ。	内因、外因、二段解説、TNM分類、 遺伝子、転移について復習をし ておく。
	到達目標	内因や外因、進行度を述べるができる。	
9	授業内容	免疫の基礎について学ぶ。	血球細胞の予習をしておく。 液性免疫と細胞性免疫について 復習をしておく。
	到達目標	免疫に携わる血球や免疫の概念を述べるができる。	
10	授業内容	アレルギーについて学ぶ。	それぞれのアレルギーの機序を 復習をしておく。
	到達目標	I～V型の特徴を述べるができる。	
11	授業内容	免疫不全、自己免疫疾患について学ぶ。	代表的な自己免疫疾患に関わる 抗体を復習をしておく。
	到達目標	種類や分類、抗体を述べるができる。	
12	授業内容	移植について学ぶ。	免疫の予習をしておく。
	到達目標	定義や種類、分類、拒絶反応を述べるができる。	
13	授業内容	先天性異常の代謝異常について学ぶ。	糖代謝異常、脂質代謝異常、蛋白 質代謝異常について復習をし ておく。
	到達目標	種類を述べるができる。	
14	授業内容	奇形、遺伝性疾患について学ぶ。	種類と特徴について復習をし ておく。
	到達目標	種類や特徴を述べるができる。	
15	授業内容	まとめ（評価含む） 本授業の内容について確認・復習をする。	
	到達目標	本授業の内容について知識を習得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	リハビリテーション 医学	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験 の有無	無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	富倉 捷也	E-mail			実施時期	2 年	前期

授業の目的

リハビリテーション・リハビリテーション医学を学び習得することにより、各種障害に対する概要を理解し、各種臨床に活かせる知識を修得することを目的とする。

到達目標

各種障害に対するリハビリテーションを理解することができる。

授業の内容

各種疾患や障害の内容に対する理解を深めるとともに、それらに対するリハビリテーションを学ぶ。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

授業時数の 3 分の 2 以上出席したものを評価対象とします。 期末筆記試験での評価を行います。

テキスト

リハビリテーション医学（東洋療法学校協会）

参考文献・図書

標準リハビリテーション医学（医学書院）

オフィスアワーについて

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション リハビリテーションとはどのような学問かを学ぶ。	定義とノーマライゼーションの復習をしておく。
	到達目標	定義、体系、対象、構造を述べることができる。	
2	授業内容	リハビリテーション医学の概要を学ぶ。	ICIDH、ICF、分野の復習をしておく。
	到達目標	障害の捉え方、分野、地域リハを述べるができる。	
3	授業内容	障害の評価を学ぶ。	各種それぞれの評価項目、内容の復習をしておく。
	到達目標	心身機能、活動、参加、合併症の評価を述べるができる。	
4	授業内容	医学的リハビリテーションを学ぶ	理学、作業、言語聴覚、義肢装具療法について定義や方法、特徴を復習しておく
	到達目標	リハビリテーション治療を述べるができる。	
5	授業内容	脳卒中のリハビリテーションを学ぶ。	脳血管障害の予習をしておく。各時期のリハビリテーションの復習しておく
	到達目標	評価、各時期のリハビリテーションを述べるができる。	
6	授業内容	脊髄損傷のリハビリテーションを学ぶ。	脊髄損傷の予習をしておく。高位別の残存筋や動作、合併症な復習しておく
	到達目標	各高位に対するリハビリテーションを述べるができる。	
7	授業内容	切断のリハビリテーションを学ぶ。	原因と義肢の特徴の復習をしておく。
	到達目標	原因と合併症、義肢を述べるができる。	
8	授業内容	小児のリハビリテーションを学ぶ。	脳性麻痺の予習をしておく。
	到達目標	脳性麻痺の定義、分類、を述べるができる。	
9	授業内容	骨関節疾患のリハビリテーションを学ぶ。	運動器疾患の予習をしておく。
	到達目標	評価、内容、指導を述べるができる。	
10	授業内容	末梢神経障害のリハビリテーションを学ぶ。	末梢神経障害の予習をしておく。
	到達目標	各種障害に対する装具を述べるができる。	
11	授業内容	関節リウマチのリハビリテーションを学ぶ。	関節リウマチの予習をしておく。
	到達目標	評価、内容、装具と自助具、指導を述べるができる。	
12	授業内容	肺疾患、心疾患のリハビリテーションを学ぶ。	COPD、心疾患の予習をしておく。
	到達目標	肺・心臓リハビリテーションを述べるができる。	
13	授業内容	パーキンソン病のリハビリテーションを学ぶ。	パーキンソン病の予習をしておく。
	到達目標	評価、内容、生活指導を述べるができる。	
14	授業内容	その他の神経疾患のリハビリテーションを学ぶ。	脊髄小脳変性症、筋ジストロフィー、ALS の予習をしておく。
	到達目標	脊髄小脳変性症、筋ジストロフィー、ALS に対するリハビリテーションの概要を述べるができる。	
15	授業内容	まとめ（評価含む） 本授業の内容について確認・復習をする	
	到達目標	本授業の内容について知識を習得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床医学 I	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	畑中 仁美 中島 康敦 杉本 直子	E-mail		実施時期	2 年 前期		

授業の目的

この科目は以前の臨床医学総論と臨床医学各論を合体させたものです。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などは臨床医学総論の内容となります。そこで、この科目は、疾患単位により概念、分類、検査、症状、治療などの理解を包括的に行うものであり、疾患を理解し、その他の鑑別を含む検査や代表的な症状をも学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。この I では整形外科疾患を修得します。

到達目標

整形外科疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。

授業の内容

整形外科領域の疾患を理解するとともに、それら各疾患に対する診察法や検査法をも修得し、診療の流れで病態把握、及び鍼灸の適否の判断ができるように学修する。

注意事項

- ※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
- ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
- ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

適宜項目終了ごとに確認テストを実施し、通常評価点とする。また、最終時間に確認テスト（期間内全域）を実施する。それぞれの確認テストおよび最終確認テストとの合計点を評価点とする。ただし、欠席及び授業態度等により最大 20 点の減点を加算する。

テキスト

臨床医学総論。臨床医学各論。 徴用療法学校協会編

配付資料

参考文献・図書

適宜知らせる。

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分


授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 整形外科とは。 各疾患の特徴、分類、検査、治療の全体を理解する。	整形外科についてどのような疾患について勉強するかを予習しておく。
	到達目標	整形外科領域の選ばれた疾患を理解し、説明できる。	
2	授業内容	医療面接、視診、打診、聴診、触診を理解する。	医療面接について予習しておく。
	到達目標	医療面接、視診、打診、聴診、触診を理解し、説明できる。	
3	授業内容	身体測定、生命徴候、神経系の検査、運動機能検査を理解する。	生命徴候について予習しておく。 身体測定について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	整外に関する臨床検査法、治療一般（理学療法、その他の物療など）を理解する。	臨床検査法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	関節疾患（肩関節周囲炎、変形性関節症）を理解する。	肩関節周囲炎、変形性関節症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	骨代謝疾患・骨腫瘍（骨粗鬆症、くる病、骨腫瘍）を理解する。	骨粗鬆症について予習しておく。 骨代謝について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	筋・腱疾患（腱鞘炎、筋肉炎・筋膜炎、腱板損傷）を理解する。	筋腱疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	形態異常Ⅰ（先天性股関節脱臼、斜頸、側弯症）を理解する。	先天性股関節脱臼について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	形態異常Ⅱ・脊椎疾患Ⅰ（外反母趾、内反足、椎間板ヘルニア）を理解する。	椎間板ヘルニアについて復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	脊椎疾患Ⅱ（後縦靭帯骨化症、脊椎分離すべり症、変形性脊椎症）を理解する。	本講義の脊椎疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	脊椎疾患Ⅲ（腰椎症、頸椎捻挫、むちうち症）を理解する。	本講義の脊椎疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	外傷（骨折、脱臼、捻挫、スポーツ外傷・障害）を理解する。	外傷について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	その他Ⅰ（胸郭出口症候群、頸腕症候群、ガングリオン）を理解する。	胸郭出口症候群、頸腕症候群、ガングリオンについて復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	その他Ⅱ（手根管症候群、麻酔法、救急処置）を理解する。	手根管症候群について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	総まとめ（評価含む）	
	到達目標	1～14項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床医学Ⅱ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有・ 
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	畑中 仁美 中島 康敦 杉本 直子	E-mail		実施時期	2年 前期		

授業の目的							
この科目は以前の臨床医学総論と臨床医学各論を合体させたものです。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などは臨床医学総論の内容となります。そこで、この科目は、疾患単位により概念、分類、検査、症状、治療などの理解を包括的に行うものであり、疾患を理解し、その他の鑑別を含む検査や代表的症状をも学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。このⅠでは循環器疾患・血液疾患を修得します。							
到達目標							
循環器疾患及び血液疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。							
授業の内容							
循環器及び血液の疾患を理解するとともに、それら各疾患に対する診察法や検査法をも修得し、診療の流れで病態把握、及び鍼灸の適否の判断ができるように学修する。							
注意事項							
<p>※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。</p> <p>※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。</p> <p>※受験資格：本授業の2/3以上の出席。</p>							
成績評価							
適宜項目終了ごとに確認テストを実施し、通常評価点とする。また、最終時間に確認テスト（期間内全域）を実施する。それぞれの確認テストおよび最終確認テストとの合計点を評価点とする。ただし、欠席及び授業態度等により最大20点の減点を加算する。							
テキスト							
臨床医学総論。臨床医学各論。 微用療法学校協会編							
配付資料							
参考文献・図書							
適宜、指示する。							
オフィスアワーについて							
曜日：							
時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画		授業時間外学習（予習・復習）	
1	授業内容	オリエンテーション 循環器・血液疾患とは。 各疾患の特徴、分類、検査、治療の全体を理解する。	循環器・血液疾患について復習しておく。
	到達目標	循環器・血液疾患領域の選ばれた疾患を理解し、説明することができる。	
2	授業内容	循環器・血液疾患に特有な視診、打診、聴診、触診を理解する。	特有の各診察手法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
3	授業内容	循環器・血液疾患に特有な身体測定、生命徴候、神経系の検査、運動機能検査を理解する。	特有な身体測定、生命徴候について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	循環器・血液疾患に関する臨床検査法、治療一般（理学療法、その他の物療など）を理解する。	循環器・血液疾患に関する臨床検査法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	心臓疾患Ⅰ（先天性心疾患、心臓弁膜症）を理解する。	先天性心疾患、心臓弁膜症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	心臓疾患Ⅱ（特発性心筋症、心筋炎）を理解する。	特発性心筋症、心筋炎について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	心臓疾患Ⅱ・冠動脈疾患Ⅰ（心不全）を理解する。	心不全について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	冠動脈疾患Ⅱ（狭心症、心筋梗塞）理解する。	狭心症、心筋梗塞について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	動静脈疾患Ⅰ（動脈硬化症、真性大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症）を理解する。	動脈硬化症、真性大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	動静脈疾患Ⅱ（バージャー病、大動脈炎症候群、静脈瘤、血栓性静脈炎）を理解する。	バージャー病、大動脈炎症候群、静脈瘤、血栓性静脈炎について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	赤血球疾患（鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、再生不良性貧血）を理解する。	鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、再生不良性貧血について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	白血球疾患（急性白血病、慢性白血症、成人T細胞性白血病）を理解する。	急性白血病、慢性白血症、成人T細胞性白血病について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	リンパ網内系疾患（悪性リンパ腫）を理解する。	悪性リンパ腫について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	出血性素因（紫斑病、血友病、播種性血管内凝固症候群）を理解する。	紫斑病、血友病、播種性血管内凝固症候群について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	総まとめ（評価含む）	
	到達目標	1～14項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床医学Ⅲ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	畑中 仁美 中島 康敦 杉本 直子	E-mail		実施時期	2年 前期		

授業の目的	
この科目は以前の臨床医学総論と臨床医学各論を合体させたものです。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などは臨床医学総論の内容となります。そこで、この科目は、疾患単位により概念、分類、検査、症状、治療などの理解を包括的に行うものであり、疾患を理解し、その他の鑑別を含む検査や代表的症状をも学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。このIでは感染症疾患・消化器疾患を修得します。	
到達目標	
感染症疾患及び消化器疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。	
授業の内容	
感染症及び消化器疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。	
注意事項	
<p>※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。</p> <p>※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。</p> <p>※受験資格：本授業の2/3以上の出席。</p>	
成績評価	
適宜項目終了ごとに確認テストを実施し、通常評価点とする。また、最終時間に確認テスト（期間内全域）を実施する。それぞれの確認テストおよび最終確認テストとの合計点を評価点とする。ただし、欠席及び授業態度等により最大20点の減点を加算する。	
テキスト	
臨床医学総論。臨床医学各論。 徴用療法学校協会編	
配付資料	
参考文献・図書	
適宜、指示する。	
オフィスアワーについて	
曜日：	
時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 感染症・消化器疾患とは。 各疾患の特徴、分類、検査、治療の全体を理解する。	感染症・消化器疾患について復習しておく。
	到達目標	感染症・消化器疾患領域の選ばれた疾患を理解し、説明することができる。	
2	授業内容	感染症・消化器疾患に特有な視診、打診、聴診、触診を理解する。	特有の各診察手法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
3	授業内容	感染性疾患Ⅰ（細菌感染症１）を理解する。	本講義の細菌感染症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	感染性疾患Ⅱ（細菌性感染症２）を理解する。	本講義の細菌感染症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	感染性疾患Ⅲ（ウイルス感染症１）を理解する。	ウイルス感染症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	感染性疾患Ⅳ（ウイルス感染症２）を理解する。	ウイルス感染症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	消化器疾患Ⅰ（口腔、食道、胃疾患）を理解する。	口腔、食道、胃疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	消化器疾患Ⅱ（胃疾患）を理解する。	本講義の胃疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	消化器疾患Ⅲ（腸疾患）を理解する。	腸疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	消化器疾患Ⅳ（肝臓疾患１）を理解する。	本講義の肝臓疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	消化器疾患Ⅴ（肝臓疾患２）を理解する。	本講義の肝臓疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	消化器疾患Ⅵ（肝臓疾患３）を理解する。	本講義の肝臓疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	消化器疾患Ⅶ（胆道疾患）を理解する。	胆道疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	消化器疾患Ⅷ（膵臓疾患）を理解する。	膵臓疾患の疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	総まとめ（評価含む）	
	到達目標	１～１４項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床医学Ⅳ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	畑中 仁美 中島 康敦 杉本 直子	E-mail		実施時期	2年 後期		

授業の目的

この科目は以前の臨床医学総論と臨床医学各論を合体させたものです。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などは臨床医学総論の内容となります。そこで、この科目は、疾患単位により概念、分類、検査、症状、治療などの理解を包括的に行うものであり、疾患を理解し、その他の鑑別を含む検査や代表的症状をも学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。このIでは神経疾患・呼吸器疾患を修得します。

到達目標

神経疾患及び呼吸器疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。

授業の内容

神経疾患及び呼吸器疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

適宜項目終了ごとに確認テストを実施し、通常評価点とする。また、最終時間に確認テスト（期間内全域）を実施する。それぞれの確認テストおよび最終確認テストとの合計点を評価点とする。ただし、欠席及び授業態度等により最大20点の減点を加算する。

テキスト

臨床医学総論。臨床医学各論。 徴用療法学校協会編

配付資料

参考文献・図書

適宜、指示する。

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 神経疾患・呼吸器疾患とは。 各疾患の特徴、分類、検査、治療の全体を理解する。	神経疾患・呼吸器疾患について復習しておく。
	到達目標	神経疾患・呼吸器疾患の大まかな特徴および疾患を理解し説明できる	
2	授業内容	神経疾患・呼吸器疾患に特有な視診、打診、聴診、触診を理解する。	特有の各診察手法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
3	授業内容	神経・筋疾患Ⅰ（脳血管疾患1）を理解する。	本講義の脳血管疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	神経・筋疾患Ⅱ（脳血管疾患2）を理解する。	本講義の脳血管疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	神経・筋疾患Ⅲ（感染性疾患・変性疾患を理解する。）	感染性疾患・変性疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	神経・筋疾患Ⅳ（認知症）を理解する。	認知症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	神経・筋疾患Ⅵ（筋疾患・運動ニューロン疾患）を理解する。	筋疾患・運動ニューロン疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	神経・筋疾患Ⅶ（末梢神経疾患）を理解する。	末梢神経疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	呼吸器・胸膜疾患Ⅰ（感染性肺疾患）を理解する。	感染性肺疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	呼吸器・胸膜疾患Ⅱ（閉塞性肺疾患1）を理解する。	本講義の閉塞性肺疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	呼吸器・胸膜疾患Ⅲ（閉塞性肺疾患2）を理解する。	本講義の閉塞性肺疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	呼吸器・胸膜疾患Ⅳ（びまん性肺疾患・腫瘍性疾患）を理解する。	びまん性肺疾患・腫瘍性疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	呼吸器・胸膜疾患Ⅴ（その他肺疾患1）を理解する。	本講義の疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	呼吸器・胸膜疾患Ⅵ（その他肺疾患2）を理解する。	本講義の疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	総まとめ（評価含む）	
	到達目標	1～14項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床医学Ⅴ	単位数	1単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有・ 
		時間数	30時間				
実務経験内容							
担当者	畑中 仁美 中島 康敦 杉本 直子	E-mail		実施時期	2年 後期		

授業の目的

この科目は以前の臨床医学総論と臨床医学各論を合体させたものです。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などは臨床医学総論の内容となります。そこで、この科目は、疾患単位により概念、分類、検査、症状、治療などの理解を包括的に行うものであり、疾患を理解し、その他の鑑別を含む検査や代表的症状をも学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。このIでは代謝栄養疾患・内分泌疾患・自己免疫疾患を修得します。

到達目標

代謝栄養疾患・内分泌疾患・自己免疫疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。

授業の内容

代謝栄養疾患・内分泌疾患・自己免疫疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。

注意事項

- ※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
- ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
- ※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

適宜項目終了ごとに確認テストを実施し、通常評価点とする。また、最終時間に確認テスト（期間内全域）を実施する。それぞれの確認テストおよび最終確認テストとの合計点を評価点とする。ただし、欠席及び授業態度等により最大20点の減点を加算する。

テキスト

臨床医学総論。臨床医学各論。 徴用療法学校協会編

配付資料

参考文献・図書

適宜、指示する。

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画		授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 代謝栄養疾患・内分泌疾患・自己免疫疾患とは。 各疾患の特徴、分類、検査、治療の全体を理解する。
	到達目標	代謝栄養疾患・内分泌疾患・自己免疫疾患の大まかな特徴および疾患を理解し説明できる
2	授業内容	代謝栄養疾患・内分泌疾患・自己免疫疾患に特有な視診、打診、聴診、触診を理解する。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。
3	授業内容	代謝・栄養疾患Ⅰ（糖代謝異常1）を理解する。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。
4	授業内容	代謝・栄養疾患Ⅱ（糖代謝異常2）を理解する。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。
5	授業内容	代謝・栄養疾患Ⅲ（脂質・尿酸代謝異常）を理解する。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。
6	授業内容	代謝・栄養疾患Ⅳ（その他の代謝異常）を理解する。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。
7	授業内容	内分泌疾患Ⅰ（下垂体疾患1）を理解する。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。
8	授業内容	内分泌疾患Ⅱ（下垂体疾患2）を理解する。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。
9	授業内容	内分泌疾患Ⅲ（甲状腺疾患1）を理解する。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。
10	授業内容	内分泌疾患Ⅳ（甲状腺疾患2）を理解する。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。
11	授業内容	内分泌疾患Ⅰ（副腎疾患）を理解する。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。
12	授業内容	自己免疫疾患Ⅰ（膠原病と類縁疾患1）を理解する。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。
13	授業内容	自己免疫疾患Ⅱ（膠原病と類縁疾患2）を理解する。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。
14	授業内容	自己免疫疾患Ⅲ（膠原病と類縁疾患3）を理解する。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。
15	授業内容	総まとめ（評価含む）
	到達目標	1～14項目に対して理解し、説明できる。

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床医学VI	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	畑中 仁美 中島 康敦 杉本 直子	E-mail		実施時期	2年 後期		

授業の目的

この科目は以前の臨床医学総論と臨床医学各論を合体させたものです。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などは臨床医学総論の内容となります。そこで、この科目は、疾患単位により概念、分類、検査、症状、治療などの理解を包括的に行うものであり、疾患を理解し、その他の鑑別を含む検査や代表的な症状をも学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。このIでは泌尿器疾患・眼科・精神疾患を修得します。

到達目標

泌尿器疾患・眼科・精神疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。

授業の内容

泌尿器疾患・眼科・精神疾患を理解するとともに、それら各疾患に対する診察法や検査法をも修得し、診療の流れで病態把握、及び鍼灸の適否の判断ができるように学修する。

注意事項

- ※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
- ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
- ※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

適宜項目終了ごとに確認テストを実施し、通常評価点とする。また、最終時間に確認テスト（期間内全域）を実施する。それぞれの確認テストおよび最終確認テストとの合計点を評価点とする。ただし、欠席及び授業態度等により最大20点の減点を加算する。

テキスト

臨床医学総論。臨床医学各論。 徴用療法学校協会編

配付資料

参考文献・図書

適宜知らせる。

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 泌尿器疾患・眼科・精神疾患とは 各疾患の特徴、分類、検査、治療の全体を理解する。	泌尿器疾患・眼科・精神疾患について復習しておく。
	到達目標	泌尿器疾患・眼科・精神疾患の選ばれた疾患を理解し、説明することができる。	
2	授業内容	泌尿器疾患・眼科・精神疾患に特有な視診、打診、聴診、触診を理解する。	特有の各診察手法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
3	授業内容	泌尿器疾患・眼科・精神疾患に特有な特殊検査、臨床検査法、治療一般（理学療法、その他の物療など）を理解する。	特有な特殊検査、臨床検査法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅰ（糸球体腎炎1）を理解する。	本講義の糸球体腎炎について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅱ（糸球体腎炎2）を理解する。	本講義の糸球体腎炎について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅲ（腎不全・感染症）を理解する。	腎不全・感染症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅳ（腫瘍性疾患・結石症）理解する。	腫瘍性疾患・結石症について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅴ（前立腺疾患）を理解する。	前立腺疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅰ（眼疾患1）を理解する。	本講義の眼疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅱ（眼疾患2）を理解する。	本講義の眼疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅲ（眼疾患3）を理解する。	本講義の眼疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	精神・心身医学的疾患Ⅰ（統合失調症・単極性、双極性障害）を理解する。	統合失調症・単極性、双極性障害について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	精神・心身医学的疾患Ⅱ（不安障害・摂食障害）を理解する。	不安障害・摂食障害について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	精神・心身医学的疾患Ⅲ（取障害・その他）を理解する。	取障害について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	総まとめ（評価含む）	
	到達目標	1～14項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床医学Ⅶ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	伊藤 千展	E-mail			実施時期	2 年 後期	

授業の目的 この科目は以前の臨床医学総論と臨床医学各論を合体させたものです。各疾患を理解する際に必要な概念、分類などは臨床医学各論であり、検査や代表的な症状・徴候などは臨床医学総論の内容となります。そこで、この科目は、疾患単位により概念、分類、検査、症状、治療などの理解を包括的に行うものであり、疾患を理解し、その他の鑑別を含む検査や代表的な症状をも学ぶ事により、より臨床に則した疾患の理解を深めることを目的とします。この I では婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患を修得します。							
到達目標 婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患を理解し、代表的な疾患に対して概念・分類・検査法・治療を示すことができる。							
授業の内容 婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患を理解するとともに、それら各疾患に対する診察法や検査法をも修得し、診療の流れで病態把握、及び鍼灸の適否の判断ができるように学修する。							
注意事項 ※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。							
成績評価 適宜項目終了ごとに確認テストを実施し、通常評価点とする。また、最終時間に確認テスト（期間内全域）を実施する。それぞれの確認テストおよび最終確認テストとの合計点を評価点とする。ただし、欠席及び授業態度等により最大 20 点の減点を加算する。							
テキスト 臨床医学総論。臨床医学各論。 微用療法学校協会編 配付資料							
参考文献・図書 適宜知らせる。							
オフィスアワーについて 曜日： 時間： 時 分～ 時 分							
授業時間外の学習について 授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患とは各疾患の特徴、分類、検査、治療の全体を理解する。	婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患について復習しておく。
	到達目標	婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患を理解し、説明することができる。	
2	授業内容	婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患に特有な視診、打診、聴診、触診を理解する。	特有の各診察手法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
3	授業内容	婦人科疾患・耳鼻科疾患・皮膚科疾患・小児科疾患に特有な特殊検査、臨床検査法、治療一般（理学療法、その他の物療など）を理解する。	特有な特殊検査、臨床検査法について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅰ（女性生殖器1）を理解する。	本講義の女性生殖器について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅱ（女性生殖器2）を理解する。	本講義の女性生殖器について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	泌尿生殖器系疾患Ⅲ（女性生殖器3）を理解する。	本講義の女性生殖器について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅰ（耳鼻咽喉疾患1）を理解する。	本講義の耳鼻咽喉疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅱ（耳鼻咽喉疾患2）を理解する。	本講義の耳鼻咽喉疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅲ（耳鼻咽喉疾患3）を理解する。	本講義の耳鼻咽喉疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅳ（皮膚疾患1）を理解する。	本講義の皮膚疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅴ（皮膚疾患2）を理解する。	本講義の皮膚疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	皮膚頭頸部疾患疾患Ⅵ（皮膚疾患3）を理解する。	本講義の皮膚疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	精神・心身医学的疾患Ⅰ（小児疾患1）を理解する。	本講義の小児疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	精神・心身医学的疾患Ⅱ（小児疾患2）を理解する。	本講義の小児疾患について復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	総まとめ（評価含む）	
	到達目標	1～14項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	社会保険制度と 職業倫理	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の 有無	無
		時間数	15 時間				
実務経験内容							
担当者	田中 健吾	E-mail			実施時期	3 年	前期

授業の目的

医療人として最低限知っておくべき社会保険制度を学ぶとともに はり師・きゅう師としての職業倫理を学び医療人としてのモラルや考え方を学びます。
さらに、現状の医療保険の問題を整理し、今後の展望も行います。

到達目標

はり師・きゅう師がはり・きゅう業を通じて、国民の信頼に応えていくためには、関係法令や通知等を厳守し、適正な業務遂行に努める必要があります。
そのための基礎的知識を身につけ、また、これを踏まえ、現状を鑑みること、各自が今後のはり・きゅう業務を構築できることを目的とします。

授業の内容

職業倫理を理解と患者と良好な関係を築くための基礎知識をつけ社会保険制度を知った上で、現状の問題点を明らかにし、今後の社会保険制度のあり方について考察します。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。
※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
※受験資格：本授業の2/3以上の出席が必須です。満たない場合、最終評価を受けられません。

成績評価

出席状況や日頃の学習態度と8コマ目に行う筆記によるレポート評価により行います。

テキスト

Google クラウドにて配布します。

参考文献・図書

特にありませんが、Web サイトの情報を参考にしてください。

オフィスアワーについて

特に設定しておりません。事前にメールにてアポイントをお願いいたします。

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義内容を元に予習復習（50分程度）を行なってください。復習時に理解できない部分は、そのままにせず、問題解決に努めてください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション・医療倫理と患者の権利	復習：資料などによる授業内容の再確認
	到達目標	医療倫理と患者の権利を説明できる	
2	授業内容	医療者の職業倫理	予習：配布資料に目を通す 復習：資料などによる授業内容の再確認
	到達目標	医療者の職業倫理を説明できる	
3	授業内容	社会保険制度 内外の歴史と定義	予習：配布資料に目を通す 復習：資料などによる授業内容の再確認
	到達目標	社会保険制度の内外の歴史と定義を説明できる	
4	授業内容	社会保険制度 種類（医療保険・介護保険）	予習：配布資料に目を通す 復習：資料などによる授業内容の再確認
	到達目標	医療保険・介護保険を説明できる	
5	授業内容	社会保障制度 種類（年金・児童手当・生活保護制度）	予習：配布資料に目を通す 復習：資料などによる授業内容の再確認
	到達目標	年金・児童手当・生活保護制度を説明できる	
6	授業内容	療養費制度とはり・きゅう業	予習：配布資料に目を通す 復習：資料などによる授業内容の再確認
	到達目標	療養費制度とはり・きゅう業を説明できる	
7	授業内容	現状と未来への展望	予習：Web サイト情報収集 復習：資料などによる授業内容の再確認
	到達目標	鍼灸を含めた社会保険制度と職業倫理に関する意見を持てる	
8	授業内容	評価レポート作成	予習：テーマに関する情報収集 復習：他者のレポートを読み自身の考えを再構築する
	到達目標	示されたテーマに対してレポート作成ができる	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	関係法規	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	坂部 昌明	E-mail		実施時期	3 年 前期		

授業の目的

この講義は、東洋療法試験研修財団が提示するはり師、きゅう師国家試験出題基準に準拠した内容を中心に構成されています。この講義の目的は次の3点です。

- ① 国家試験出題基準相当のはり師、きゅう師に必要な法令等知識を獲得すること。
- ② 療養費について説明することができ、適正に手続きができるようになること。
- ③ 国家試験には出題されないが、はり師、きゅう師として知っておくべき法令等知識を獲得すること。

到達目標

国家試験の関係法規領域の問題に解答することができ、療養費等の適正な手続きができるようになることが最低限の到達目標です。

授業の内容

基本は講義の内容をしっかりと聞いていただき、教科書等を用いて知識をつけていただきます。この講義の内容は医学系の講義では耳にしない用語・考え方が多いため、まずは記憶し、理解するように努めて下さい。

注意事項

- ※ 期末試験の受験資格は、この授業の2/3以上の出席があったとみなされた時点で発生します。
- ※ 講義は、たった一人の受講者の為に開かれるものではありません。他に、講義を受ける方がいることを認識し、ふさわしい態度で講義に臨んで下さい。

成績評価

- 出席日数が足りない者については、成績評価の対象となりません。
- 期末試験の点数を成績評価の対象とします。

テキスト

東洋療法学校協会編『関係法規』の最新版（医歯薬出版株式会社）

参考文献・図書

『療養費の支給基準』の最新版（社会保険研究所）

オフィスアワーについて

講義終了後、学内にいる間は質問等にお応えします。

授業時間外の学習について

特に予習を求めませんが、復習はしっかりと行ってください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	免許・業・要件	予習： 復習：講義資料の見直し
	到達目標	免許とは何か、免許取得の要件を概説できる。	
2	授業内容	申請・免許証	予習： 復習：講義資料の見直し
	到達目標	免許の申請方法、免許証について概説できる。	
3	授業内容	再免許	予習： 復習：講義資料の見直し
	到達目標	免許を失う時、再免許について概説できる。	
4	授業内容	業務	予習： 復習：講義資料の見直し
	到達目標	はり師、きゅう師の業務範囲を概説できる。	
5	授業内容	禁忌事項	予習： 復習：講義資料の見直し
	到達目標	はり師、きゅう師の施術上の禁忌事項を概説できる。	
6	授業内容	開業・開設	予習： 復習：講義資料の見直し
	到達目標	施術を始めるときの手続きについて概説できる。	
7	授業内容	罰則	予習： 復習：講義資料の見直し
	到達目標	罰則内容を把握している。	
8	授業内容	法律・法学とは何か	予習： 復習：講義資料の見直し
	到達目標	法律および法学について概説できる。	
9	授業内容	医療関係法規Ⅰ	予習： 復習：講義資料の見直し
	到達目標	医療施設および、医療関連職種について概説できる。	
10	授業内容	医療関係法規Ⅱ	予習： 復習：講義資料の見直し
	到達目標	衛生等に関する法規について概説できる。	
11	授業内容	社会福祉関係法規Ⅰ	予習： 復習：講義資料の見直し
	到達目標	高齢者医療、障害者福祉について概説できる。	
12	授業内容	社会福祉関係法規Ⅱ	予習： 復習：講義資料の見直し
	到達目標	保険制度について概説できる。	
13	授業内容	療養費Ⅰ	予習： 復習：講義資料の見直し
	到達目標	療養費の仕組みを概説できる。	
14	授業内容	療養費Ⅱ	予習： 復習：講義資料の見直し
	到達目標	受領委任の仕組みを概説できる。	
15	授業内容	まとめと振り返り	予習： 復習：試験内容の見直し
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	東洋医学概論Ⅳ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	㊦ ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	竹口 太陽	E-mail		実施時期	2 年 前期		

授業の目的

東洋医学概論では東洋医学の基本的な病態生理を学び、東洋医学臨床論ではその理論に基づく病態把握を理解しました。この科目では更に、中国医学に基づいた弁証論治を学び、東洋医学的鍼灸診療に応用することを学び、修得することを目的とします。

到達目標

生体物質、臓腑の生理と病理を理解し、弁証論治の手順に従って病証の把握から治療方法の選択まで導き出すことが出来る。

授業の内容

東洋医学概論の復習を中心に、弁証論治に必要な知識の整理と理解を深めていきます。
患者さんを意識して人を診れる鍼灸師を目指します。

注意事項

- ※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
- ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
- ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

- ・総授業時間数の 2/3 以上出席したものを評価対象とします。
- ・無断での途中退出についても**欠席扱い**とします。
- ・期末に筆記試験を行い、60%以上で単位が認定されます

テキスト

- ・東洋療法学校協会編「新版 東洋医学概論」

参考文献・図書

- ・鍼灸学「基礎編」日中共同編集／東洋学術出版

オフィスアワーについて

曜日：水曜日

時間：授業終了後

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 弁証論治とは 病因論	病因論の復習
	到達目標	弁証の立て方 病因論が理解できる	
2	授業内容	四診の復習	四診の復習
	到達目標	弁証に必要な情報収集ができる	
3	授業内容	八綱弁証の復習	八綱の復習
	到達目標	表裏・寒熱・虚実が理解できる	
4	授業内容	気血津液弁証の復習	気血津液の復習
	到達目標	気血津液の生理と病理が理解できる	
5	授業内容	四診・八綱・病因・気血津液のまとめ	今までの授業資料の復習
	到達目標	気血津液弁証までの道筋が理解できる	
6	授業内容	臓腑弁証	五臓六腑の生理を復習
	到達目標	臓腑の生理と病理が理解出来る	
7	授業内容	臓腑弁証	五臓六腑の生理を復習
	到達目標	臓腑の生理と病理が理解出来る	
8	授業内容	臓腑弁証	五臓六腑の生理を復習
	到達目標	臓腑の生理と病理が理解出来る	
9	授業内容	臓腑弁証	五臓六腑の生理を復習
	到達目標	臓腑の生理と病理が理解出来る	
10	授業内容	論治と治則	治則について復習する
	到達目標	治療方針について理解する	
11	授業内容	穴性・選穴	難行六十九難について復習する
	到達目標	選穴について理解する	
12	授業内容	弁証論治の進めかたと証の決定 手順を確認し、証と治療方法の決め方を学ぶ	弁証論治の手順を復習する
	到達目標	手順に従って導くことが出来る	
13	授業内容	弁証論治 症例における実践 1. 症例を用いて手順に従って弁証論治を実践する	弁証論治の手順を復習する
	到達目標	手順に従って導くことが出来る	
14	授業内容	弁証論治 症例における実践 2. 症例を用いて手順に従って弁証論治を実践する	弁証論治の手順を復習する
	到達目標	手順に従って導くことが出来る	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標	手順に従って導くことが出来る	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学Ⅰ-1	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	⑦・無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		鍼灸院開業					
担当者	奥野 浩史	E-mail			実施時期	2 年 前期	

授業の目的

鍼灸臨床で遭遇する可能性の高い運動器疾患を中心に、それぞれの疾患・症候の概念と鍼灸治療の適否の判断、診察法と治療方針、治療穴の選択までを学びます。今後の臨床実習Ⅱ、Ⅲ、Ⅳに向けて、基本的な診察法（医療面接・視診・触診・徒手検査）と鍼灸治療の方法を修得することを目的とします。また、この科目は東洋医学臨床論として、国家試験では臨床的な考え方や治療方法を問われる科目で問題数も最多となっています。その中心的な科目となりますので、対応する実習と合わせてしっかりと学んでください。

到達目標

- ① 疾患・症候の概要を理解する。
- ② 疾患の特異的な症状について述べることができる。
- ③ 疾患・症候の病態を把握するために必要な検査とそれぞれに対する適切な治療穴が選択できる。

授業の内容

鍼灸臨床で遭遇する可能性の高い疾患・症候の概要、診察法、治療方法についてスライドを中心に解説していきます。配布した資料に書き込みながら知識を定着させてください。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。
 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

成績評価

1. 受験資格について：総授業時間数の **2/3 以上の出席**が必要です。
2. 成績評価について：期末評価にて 60 点以上で合格とします。

テキスト

「新版 東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」東洋療法学校協会編、鍼灸臨床コアテキスト、配布資料。

参考文献・図書

臨床医学各論、臨床医学総論（医歯薬出版）、関連授業の資料など。

オフィスアワーについて

曜日：水曜日（午後・夜間）、金曜日（午前）※メールでの質問などは随時

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問してください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 頸肩腕痛：頸から上肢にかけての痛み、しびれをきたす疾患の概要と診察法、病態把握（西洋医学）	頸肩腕の痛みをきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	頸から上肢に痛みをきたす疾患とその診察法を理解する	
2	授業内容	頸肩腕痛：頸から上肢にかけての痛み、しびれをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（西洋医学）	頸肩腕の痛みをきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	頸から上肢に痛みをきたす疾患の診察法、治療法を理解する	
3	授業内容	頸肩腕痛：頸から上肢の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（東洋医学）	頸肩腕痛東洋医学的な考え方、東洋医学概論について予習・復習する
	到達目標	頸肩腕痛をきたす疾患の東洋医学的診察・治療を理解する	
4	授業内容	上肢痛：上肢の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（西洋医学）	上肢痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	上肢痛をきたす疾患の診察法、治療法を理解する	
5	授業内容	上肢痛：上肢の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（東洋医学）	上肢痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	上肢痛をきたす疾患の概要と診察法を理解する	
6	授業内容	肩関節痛：肩に痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（西洋医学）	肩関節痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	肩関節痛をきたす疾患の診察法、治療法を理解する	
7	授業内容	肩関節痛：肩に痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（東洋医学）	肩関節痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	肩関節痛をきたす疾患の東洋医学的診察・治療を理解する	
8	授業内容	関節痛：関節に痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（西洋・東洋医学）	関節痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	関節に痛みをきたす疾患の診察法、治療法を理解する	
9	授業内容	絞扼神経障害：絞扼神経障害の種類と原因疾患の概要と診察法、病態把握（西洋・東洋医学）	絞扼神経障害の疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	絞扼神経障害が起こる疾患の概要と診察法を理解する	
10	授業内容	腰下肢痛：腰下肢の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（西洋医学）	腰下肢痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	腰下肢痛に対する診察法、治療法について理解する	
11	授業内容	腰下肢痛：腰下肢の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（東洋医学）	腰下肢痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	腰下肢痛に対する東洋医学的診察・治療を理解する	
12	授業内容	腰痛：腰の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（東洋医学）	腰痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	腰痛に対する診察法、治療法について理解する	
13	授業内容	腰痛：腰の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握、治療法（東洋医学）	腰痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	腰痛に対する東洋医学的診察・治療を理解する	
14	授業内容	まとめ、国家試験問題による復習	1～13 コマ目の内容について復習する（国家試験問題を中心に）
	到達目標	病態の捉え方と一連の流れを修得する	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標	臨床で遭遇する主要な疾患に対応できる	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学 I -2	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	⑦・無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務（谷口）・鍼灸院開業（奥野）					
担当者	谷口 剛志 奥野 浩史	E-mail		実施時期	2年 後期		

授業の目的

鍼灸臨床で遭遇する可能性の高い運動器疾患を中心に、それぞれの疾患・症候の概念と鍼灸治療の適否の判断、診察法と治療方針、治療穴の選択までを学びます。今後の臨床実習Ⅱ、Ⅲ、Ⅳに向けて、基本的な診察法（医療面接・視診・触診・徒手検査）と鍼灸治療の方法を修得することを目的とします。また、この科目は東洋医学臨床論として、国家試験では臨床的な考え方や治療方法を問われる科目で問題数も最多となっています。その中心的な科目となりますので、対応する実習と合わせてしっかりと学んでください。

到達目標

- ① 疾患・症候の概要を理解する。
- ② 疾患の特異的な症状について述べることができる。
- ③ 疾患・症候の病態を把握するために必要な検査とそれぞれに対する適切な治療穴が選択できる。

授業の内容

鍼灸臨床で遭遇する可能性の高い疾患・症候の概要、診察法、治療方法についてスライドを中心に解説していきます。配布した資料に書き込みながら知識を定着させてください。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。
※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

成績評価

1. 受験資格について：総授業時間数の **2/3 以上の出席** が必要です。
2. 成績評価について：期末評価にて 60 点以上で合格とします。

テキスト

「新版 東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」東洋療法学校協会編、鍼灸臨床コアテキスト、配布資料。

参考文献・図書

臨床医学各論、臨床医学総論（医歯薬出版）、関連授業の資料など。

オフィスアワーについて

曜日：水曜日（午後・夜間）、金曜日（午前）※メールでの質問などは随時

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問してください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 下肢痛：下肢に痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握（西洋医学）	下肢の痛みをきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	下肢に痛みをきたす疾患とその診察法を理解する	
2	授業内容	下肢痛：下肢に痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握（東洋医学）、治療法（西洋・東洋）	下肢の痛みをきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	下肢に痛みをきたす疾患の診察法、治療法を理解する	
3	授業内容	膝痛：膝に痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握（西洋医学）	膝痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	膝痛をきたす疾患の概要と診察法を理解する	
4	授業内容	膝痛：膝に痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握（東洋医学）、治療法（西洋・東洋）	膝痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	膝痛をきたす疾患の診察法、治療法を理解する	
5	授業内容	歩行異常：歩行異常の種類と原因疾患の概要と診察法、病態把握（西洋医学）	歩行異常をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	歩行異常をきたす疾患の概要と診察法を理解する	
6	授業内容	スポーツ傷害に対する鍼灸治療の考え方と疾患のまとめ	スポーツ傷害の定義、分類やスポーツ鍼灸の考え方について予習・復習する
	到達目標	スポーツ傷害に対する鍼灸治療の考え方を理解する	
7	授業内容	頭痛：頭痛をきたす疾患の概要と診察法、病態把握（西洋医学）	頭痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	頭痛をきたす疾患の概要と診察法を理解する	
8	授業内容	頭痛：頭痛をきたす疾患の概要と診察法、病態把握（東洋医学）、治療法（西洋・東洋）	頭痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	頭痛をきたす疾患の診察法、治療法を理解する	
9	授業内容	顔面痛・顔面麻痺：顔に痛みと麻痺をきたす疾患の概要と診察法、病態把握（西洋・東洋医学）、治療法（西洋・東洋）	顔面痛・麻痺をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	顔に異常が起こる疾患の概要と診察法を理解する	
10	授業内容	胸痛：胸の痛みをきたす疾患の概要と診察法、病態把握（西洋・東洋医学）、治療法（西洋・東洋）	胸痛をきたす疾患と診察法について予習・復習する
	到達目標	胸痛をきたす疾患の診察法、治療法について理解する	
11	授業内容	運動器疾患・症候のまとめ、国家試験問題による復習①	前期の内容について復習する
	到達目標	疾患とそれに対する検査の確認、復習と鍼灸治療を習得する	
12	授業内容	運動器疾患・症候のまとめ、国家試験問題による復習②	1～5 コマ目の内容について復習する
	到達目標	疾患とそれに対する検査の方法、鍼灸治療を習得する	
13	授業内容	スポーツ鍼灸のまとめ、国家試験問題による復習③	スポーツ傷害の内容について復習する
	到達目標	疾患とそれに対する検査の方法、鍼灸治療を習得する	
14	授業内容	その他の疾患についてのまとめ、国家試験問題による復習④	7～10 コマ目の内容について復習する
	到達目標	病態の捉え方と一連の流れを修得する	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標	臨床で遭遇する主要な疾患に対応できる	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学Ⅱ-1	単位数	1単位	授業形態	講義	実務経験の有無	④・無
		時間数	30時間				
実務経験内容		鍼灸院開業					
担当者	伊藤 千展	E-mail		実施時期	2年 後期		

授業の目的

飽食の現代、様々な消化器を中心とする内科疾患や、空気の汚染やアレルギー物質による呼吸器系疾患、さらには自己免疫が異常に働いてしまう自己免疫疾患などが増加しています。この科目では、特に内科疾患を東洋医学の観念を含み、診察から治療までを学習し、その西洋・東洋医学的観点からの病態把握と治療法を修得することを目的とします。

到達目標

内科系（消化器・呼吸器領域）疾患に対する現代医学的・東洋医学的な疾患概念・診察・治療について学び、臨床現場で適切に対応できる。

授業の内容

1. 授業方法は、教科書・板書・プリントを用いて講義形式で行います。
 2. 各項目のまとめとして、国家試験過去問を解いて解説をします。
 3. 自学自習（予習・復習）には教科書・プリントを活用してください。
- なお、この科目は、教員の実務経験に基づいた内容で授業を行います。

注意事項

- ※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
- ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
- ※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

期末試験（100点満点）で評価します。単位認定は60点以上です。

テキスト

- 「東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」 東洋療法学校協会編
 「鍼灸診療コアテキスト」 明治東洋医学院専門学校編

参考文献・図書

- 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学 改訂版』 西村書店
 『内科診断学 第3版』 医学書院
 『病気がみえる（消化器）第5版』、『病気がみえる（呼吸器）第3版』 泰山堂書店

オフィスアワーについて

曜日：
 時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 消化器系の症候・疾患の概要	消化器系の症候・疾患の概要について復習して下さい。
	到達目標	消化器系の症候・疾患の概要について理解できる。	
2	授業内容	上腹部痛	上腹部痛について予習・復習して下さい。
	到達目標	上腹部痛の病態と治療について理解できる。	
3	授業内容	下腹部痛	下腹部痛について予習・復習して下さい。
	到達目標	下腹部痛の病態と治療について理解できる。	
4	授業内容	悪心・嘔吐	悪心・嘔吐について予習・復習して下さい。
	到達目標	悪心・嘔吐の病態と治療について理解できる。	
5	授業内容	便秘	便秘について予習・復習して下さい。
	到達目標	便秘の病態と治療について理解できる。	
6	授業内容	下痢	下痢について予習・復習して下さい。
	到達目標	下痢の病態と治療について理解できる。	
7	授業内容	呼吸器の症候・疾患の概要	呼吸器の症候・疾患の概要について復習して下さい。
	到達目標	呼吸器の症候・疾患の概要について理解できる。	
8	授業内容	咳嗽	咳嗽について予習・復習して下さい。
	到達目標	咳嗽の病態と治療について理解できる。	
9	授業内容	喘息	喘息について予習・復習して下さい。
	到達目標	喘息の病態と治療について理解できる。	
10	授業内容	喀痰	喀痰について予習・復習して下さい。
	到達目標	喀痰の病態と治療について理解できる。	
11	授業内容	呼吸困難(閉塞性肺疾患)	呼吸困難(閉塞性肺疾患)について予習・復習して下さい。
	到達目標	呼吸困難(閉塞性肺疾患)の病態と治療について理解できる。	
12	授業内容	呼吸困難(拘束性肺疾患)	呼吸困難(拘束性肺疾患)について予習・復習して下さい。
	到達目標	呼吸困難(拘束性肺疾患)の病態と治療について理解できる。	
13	授業内容	動悸・息切れ	動悸・息切れについて予習・復習して下さい。
	到達目標	動悸・息切れの病態と治療について理解できる。	
14	授業内容	胸痛	胸痛について予習・復習して下さい。
	到達目標	胸痛の病態と治療について理解できる。	
15	授業内容	まとめ(評価含む)	本授業で学んだことを復習しておいて下さい。
	到達目標	内科系の症候・疾患の病態と治療について理解できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学Ⅱ-2	単位数	1単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有
		時間数	30時間				
実務経験内容		鍼灸院開業					
担当者	伊藤 千展	E-mail		実施時期	3年 前期		

授業の目的

近年、代謝・内分泌疾患や精神疾患や高齢者や労働者の健康維持・増進に対する鍼灸治療の役割が重視されています。この科目では、代謝・内分泌疾患や精神疾患や高齢者や労働者の健康維持・増進を東洋医学の観念を含み、診察（はり・きゅうの適応の判断、病態生理学、生体観察を含む）から治療までを学習し、その西洋・東洋医学的観点からの病態把握と治療法を修得することを目的とします。

到達目標

代謝・内分泌疾患や精神疾患や高齢者や労働者の健康維持・増進に対する現代医学的・東洋医学的な疾患概念・診察・治療について学び、臨床現場で適切に対応できる。

授業の内容

1. 授業方法は、教科書・板書・プリントを用いて講義形式で行います。
2. 各項目のまとめとして、国家試験過去問を解いて解説をします。
3. 自学自習（予習・復習）には教科書・プリントを活用してください。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

期末試験（100点満点）で評価します。単位認定は60点以上です。

テキスト

「東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」 東洋療法学校協会編
 「鍼灸診療コアテキスト」 明治東洋医学院専門学校編

参考文献・図書

『内科診断学 第3版』 医学書院
 『病気がみえる（糖尿病・代謝・内分泌）』『病気がみえる（脳・神経）第4版』 医療情報科学研究所
 『鍼灸療法技術ガイドⅠ・Ⅱ』 文光堂

オフィスアワーについて

メールにて事前予約をお願いします。

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画		授業時間外学習
1	授業内容	代謝・内分泌疾患①(症候：なし、疾患：糖尿病, 糖尿病症状/合併症)
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 糖尿病の病態と発症機序が説明できる。 ✓ 糖尿病症状・合併症の病態と発症機序が説明できる。 ✓ 糖尿病症状・合併症に対する鍼灸治療, 適否, 注意点が説明できる。
2	授業内容	代謝・内分泌疾患②(症候：肥満・メタリックシンドローム, 疾患：脂質異常症)
	到達目標	肥満・メタリックシンドロームの病態と発症機序が説明できる。 肥満・メタリックシンドロームに対する鍼灸治療, 適否, 注意点が説明できる
3	授業内容	頭痛・神経痛 (疾患：一次/二次性頭痛, 頭部神経痛, 三叉神経痛, 帯状疱疹後神経痛)
	到達目標	頭痛・神経痛の病態と発症機序が説明できる。 頭痛・神経痛に対する鍼灸治療, 適否, 注意点が説明できる。
4	授業内容	末梢循環障害(症候：冷え、病態：パーズジャー病、閉塞性動脈硬化症)
	到達目標	冷えの病態と発症機序が説明できる。 冷えに対する鍼灸治療, 適否, 注意点が説明できる。
5	授業内容	精神疾患①(症候：なし、疾患：統合失調症) 精神疾患②(症候：抑うつ気分、疾患：うつ病)
	到達目標	統合失調症の病態と発症機序が説明できる。 統合失調症に対する鍼灸治療の適否が説明できる。 抑うつ気分の病態と発症機序が説明できる。 抑うつ気分に対する鍼灸治療, 適否, 注意点が説明できる。
6	授業内容	脳神経内科疾患(症候：振戦・片麻痺、疾患：パーキンソン病・脳血管障害)
	到達目標	振戦・片麻痺の病態と発症機序が説明できる。 振戦・片麻痺に対する鍼灸治療, 適否, 注意点が説明できる。
7	授業内容	歯科疾患(症候：顎関節痛、歯痛など)
	到達目標	顎関節痛の病態と発症機序が説明できる。 顎関節痛に対する鍼灸治療, 適否, 注意点が説明できる。
8	授業内容	自己免疫疾患(疾患：SLE, ヘルペット病, シェーグレン症候群, 強皮症)
	到達目標	自己免疫疾患の病態と発症機序が説明できる。 自己免疫疾患に対する鍼灸治療, 適否, 注意点が説明できる。
9	授業内容	ストレス・中枢感作症候群(症候：全身疼痛、疾患：線維筋痛症)
	到達目標	ストレス関連疾患・中枢感作症候群について説明できる。 線維筋痛症の病態と発症機序が説明できる。 線維筋痛症に対する鍼灸治療, 適否, 注意点が説明できる。
10	授業内容	高齢者に対する鍼灸治療(高齢者の健康管理)
	到達目標	高齢者の心身の特徴について説明できる。 高齢者の心身の病態と発症機序が説明できる。 高齢者の心身に対する鍼灸治療の適否, 注意点が説明できる。 高齢者(認知症、褥瘡、転倒予防)に対する鍼灸治療が説明できる。
11	授業内容	健康維持・増進に対する鍼灸治療(労働者の健康管理)
	到達目標	労働者の心身の特徴について説明できる。 労働者の心身の病態と発症機序が説明できる。 労働者の心身に対する鍼灸治療の適否, 注意点が説明できる。 労働者(慢性疲労)に対する鍼灸治療が説明できる。
12	授業内容	まとめ①
	到達目標	講義 1-3 に対する症候、病態把握、鍼灸治療が説明できる。
13	授業内容	まとめ②
	到達目標	講義 4-7 に対する症候、病態把握、鍼灸治療が説明できる。
14	授業内容	まとめ③
	到達目標	講義 8-11 に対する症候、病態把握、鍼灸治療が説明できる。
15	授業内容	到達度確認(評価含む)および復習
	到達目標	講義 1-11 に対する症候、病態把握、鍼灸治療が説明できる。

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学Ⅲ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験 の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		鍼灸院開業					
担当者	伊藤 千展	E-mail		実施時期	3年 前期		

授業の目的

年齢を重ねる事により様々な疾患が現れていきます。泌尿器系や眼科・耳鼻咽喉科領域、さらに皮膚科領域の疾患も例外ではありません。本科目では、特に泌尿生殖器・感覚器の構造と機能、病態生理学を再度学習したうえで、泌尿器・感覚器疾患を東洋医学の観念を含み、診察（はり・きゅうの適応の判断、生体観察を含む）から治療までを学習し、その西洋・東洋医学的観点からの病態把握と治療法を修得することを目的とします。

到達目標

泌尿器・生殖器系、眼科系、耳鼻咽喉科系、皮膚科系疾患に対する現代医学的・東洋医学的な疾患概念・診察・治療について学び、臨床現場で適切に対応できる知識の修得を目指します。

授業の内容

1. 授業方法は、教科書・板書・配布プリントを用いて講義形式(配信資料含む)で行います。
2. 各項目のまとめとして、国家試験過去問を解いて解説をします。
3. 自学自習（予習・復習）には教科書・プリントを活用してください。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
 ※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

期末試験で評価（100点満点）します。単位認定は60点以上です。

テキスト

「東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」 東洋療法学校協会編
 「鍼灸診療コアテキスト」 明治東洋医学院専門学校編

参考文献・図書

『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学 改訂版』 西村書店
 『内科診断学 第3版』 医学書院 図解鍼灸療法技術ガイドⅠ、Ⅱ 文光堂
 『病気がみえる（腎・泌尿器）第3版』、『病気がみえる（婦人科・乳腺外科）第3版』 メディックメディア

オフィスアワーについて

メールにて事前予約をお願いします。

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

授業計画	授業時間外学習（予習・復習）
------	----------------

【鍼灸学科授業シラバス】

1	授業内容	泌尿器(上部尿路)の構造と機能、症候(尿量異常)、急性・慢性糸球体腎炎、腎不全について理解する	泌尿器(上部尿路)の症候について予習/復習して下さい。
	到達目標	上部尿路疾患の病態と治療について説明できる。	
2	授業内容	泌尿器(下部尿路)の構造と機能、下部尿路症状(過活動膀胱、前立腺肥大症、神経因性膀胱、夜尿症)について理解する。	泌尿器(下部尿路)の症候について予習/復習して下さい。
	到達目標	泌尿器(下部尿路)の病態と治療について説明できる。下部尿路症状に対する鍼灸治療、適否が説明できる。	
3	授業内容	下部尿路症状(膀胱炎、前立腺炎、尿路結石)について理解する。	泌尿器(下部尿路)の症候について予習/復習して下さい。
	到達目標	下部尿路の炎症性疾患の病態と治療について説明できる。下部尿路炎症性疾患に対する鍼灸治療、適否が説明できる。	
4	授業内容	男性生殖器の構造と機能、男性性機能障害(ED、男性更年期障害)について理解する。	男性生殖器の症候について予習/復習して下さい。
	到達目標	男性性機能障害の病態と治療について説明できる。男性性機能障害に対する鍼灸治療、適否が説明できる。	
5	授業内容	女性生殖器の構造と機能、月経異常について理解する。	月経異常について予習/復習して下さい。
	到達目標	月経異常の病態について説明できる。月経異常に対する鍼灸治療、適否が説明できる。	
6	授業内容	女性生殖器疾患(月経困難症、更年期障害)について理解する。	女性生殖器の症候について予習/復習して下さい。
	到達目標	女性生殖器疾患の病態と治療について説明できる。女性生殖器疾患に対する鍼灸治療、適否が説明できる。	
7	授業内容	感覚器(聴覚・平衡覚)の構造と機能、症候(耳鳴・難聴・めまい)について理解する。	感覚器(聴覚・平衡覚)の症候について予習/復習して下さい。
	到達目標	耳鳴・難聴・めまいの病態と治療について説明できる。耳鳴・難聴・めまいに対する鍼灸治療、適否が説明できる。	
8	授業内容	症候(耳鳴、難聴、めまい)について理解する。	感覚器(聴覚・平衡覚)の症候について予習/復習して下さい。
	到達目標	耳鳴・難聴・めまいの病態と治療について説明できる。耳鳴・難聴・めまいに対する鍼灸治療、適否が説明できる。	
9	授業内容	感覚器(視覚)の構造と機能、症候(眼精疲労)について理解する。	感覚器(視覚)の症候について予習・復習して下さい。
	到達目標	眼精疲労の病態と治療について説明できる。眼精疲労に対する鍼灸治療、適否が説明できる。	
10	授業内容	感覚器(嗅覚)の構造と機能、症候(鼻汁・鼻閉)について理解する。	感覚器(嗅覚)の症候について予習・復習して下さい。
	到達目標	鼻汁・鼻閉の病態と治療について説明できる。鼻汁・鼻閉に対する鍼灸治療、適否が説明できる。	
11	授業内容	感覚器(皮膚)の構造と機能、症候(皮膚症状)について理解する。	感覚器(皮膚)の症候について予習・復習して下さい。
	到達目標	皮膚症状の病態と治療について説明できる。皮膚症状に対する鍼灸治療、適否が説明できる。	
12	授業内容	まとめ①	本授業で行ったことを予習・復習して下さい。
	到達目標	1-4に対する症候、病態把握、鍼灸治療が説明できる。	
13	授業内容	まとめ②	本授業で行ったことを予習・復習して下さい。
	到達目標	5-8に対する症候、病態把握、鍼灸治療が説明できる。	
14	授業内容	まとめ③	本授業で行ったことを予習・復習して下さい。
	到達目標	9-11に対する症候、病態把握、鍼灸治療が説明できる。	
15	授業内容	到達度確認(評価含む)および復習	本授業で学んだことを復習しておいて下さい。
	到達目標	1-11に対する症候、病態把握、鍼灸治療が説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学Ⅳ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	竹口 太陽 森川 由紀子 小田原 崇文	E-mail		実施時期	3 年 前期		
授業の目的							
1、2 年生で得た知識を活かし、現代・東洋医学両観点からの診察・病態把握・治療方針・治療穴の組み立てを行います。本科目では診察情報をもとに現代・東洋医学両観点からの病態把握ができるようになることを目的とします。							
到達目標							
さまざまな症候について、診療課程を理解し、適切な病態把握を行い、治療方針、治療穴を考えることができる。							
授業の内容							
本授業の内容は鍼灸の臨床現場で多く遭遇する症状に対応できるように考えられています。提示された症例をもとにそれぞれ必要な情報（診察・病態把握・治療）を記述していきます。							
注意事項							
<p>※1 鍼灸診療コアテキストは確認のために必要です。</p> <p>※2 遅刻・欠席には十分注意して下さい。無断での途中退室は欠席扱いとします。また、やむを得ず授業中に退室する場合は必ず教員の許可を取ってください。</p> <p>医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。</p> <p>教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。</p>							
成績評価							
<p>※ 受験資格は 2/3 以上の出席が必要です。</p> <p>筆記試験、授業態度で評価を行います。試験は 100 点満点の記述形式で実施し、60 点以上を合格とします。</p> <p>試験内容については、医療面接の項目、必要な徒手検査（除外鑑別の理解が出来るか）、与えられた情報から病態把握ができるか、適切な治療部位を選択できるか、などの内容となります。</p> <p>授業態度によっては最大 20 点の範囲で減点を行う場合があります。</p>							
テキスト							
鍼灸診療コアテキスト							
参考文献・図書							
「標準整形外科学 第 10 版」医学書院、「新病態生理できた内科学」医学教育出版社 など							
オフィスアワーについて							
時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	病態把握について	現代医学的病態把握の進め方、東洋医学的病態把握の方法を復習する。
	到達目標	診療や病態把握の流れを確認する	
2	授業内容	頸肩痛に対する鍼灸診療	疾患と、それに必要な確定（絞り込む）検査、除外・鑑別検査を復習する。
	到達目標	症例をもとに、得られた情報から適切に病態把握を導き、治療方針、治療穴を挙げることができる。	
3	授業内容	上肢の痛み、しびれに対する鍼灸診療	疾患と、それに必要な確定（絞り込む）検査、除外・鑑別検査を復習する。
	到達目標	症例をもとに、得られた情報から適切に病態把握を導き、治療方針、治療穴を挙げることができる。	
4	授業内容	肩の痛みに対する鍼灸診療	疾患と、それに必要な確定（絞り込む）検査、除外・鑑別検査を復習する。
	到達目標	症例をもとに、得られた情報から適切に病態把握を導き、治療方針、治療穴を挙げることができる。	
5	授業内容	腰痛に対する鍼灸診療	疾患と、それに必要な確定（絞り込む）検査、除外・鑑別検査を復習する。
	到達目標	症例をもとに、得られた情報から適切に病態把握を導き、治療方針、治療穴を挙げることができる。	
6	授業内容	腰下肢痛・下肢のしびれに対する鍼灸診療	疾患と、それに必要な確定（絞り込む）検査、除外・鑑別検査を復習する。
	到達目標	症例をもとに、得られた情報から適切に病態把握を導き、治療方針、治療穴を挙げることができる。	
7	授業内容	膝痛に対する鍼灸診療	疾患と、それに必要な確定（絞り込む）検査、除外・鑑別検査を復習する。
	到達目標	症例をもとに、得られた情報から適切に病態把握を導き、治療方針、治療穴を挙げることができる。	
8	授業内容	下肢痛に対する鍼灸診療	疾患と、それに必要な確定（絞り込む）検査、除外・鑑別検査を復習する。
	到達目標	症例をもとに、得られた情報から適切に病態把握を導き、治療方針、治療穴を挙げることができる。	
9	授業内容	腹痛（下痢・便秘など消化器症状）に対する鍼灸診療	疾患と、それに必要な確定（絞り込む）検査、除外・鑑別検査を復習する。
	到達目標	症例をもとに、得られた情報から適切に病態把握を導き、治療方針、治療穴を挙げることができる。	
10	授業内容	咳（喘鳴・呼吸困難）に対する鍼灸診療	疾患と、それに必要な確定（絞り込む）検査、除外・鑑別検査を復習する。
	到達目標	症例をもとに、得られた情報から適切に病態把握を導き、治療方針、治療穴を挙げることができる。	
11	授業内容	排尿障害に対する鍼灸診療	疾患と、それに必要な確定（絞り込む）検査、除外・鑑別検査を復習する。
	到達目標	症例をもとに、得られた情報から適切に病態把握を導き、治療方針、治療穴を挙げることができる。	
12	授業内容	めまい、耳鳴り・難聴に対する鍼灸診療	疾患と、それに必要な確定（絞り込む）検査、除外・鑑別検査を復習する。
	到達目標	症例をもとに、得られた情報から適切に病態把握を導き、治療方針、治療穴を挙げることができる。	
13	授業内容	頭痛に対する鍼灸診療	疾患と、それに必要な確定（絞り込む）検査、除外・鑑別検査を復習する。
	到達目標	症例をもとに、得られた情報から適切に病態把握を導き、治療方針、治療穴を挙げることができる。	
14	授業内容	運動麻痺に対する鍼灸診療	疾患と、それに必要な確定（絞り込む）検査、除外・鑑別検査を復習する。
	到達目標	症例をもとに、得られた情報から適切に病態把握を導き、治療方針、治療穴を挙げることができる。	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	本学習について復習する。
	到達目標	本学習について確認する。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学応用Ⅰ (健美鍼灸論基礎)	単位数	1単位	授業形態	講義	実務経験の有無	無
		時間数	30時間				
実務経験内容							
担当者	竹口 太陽	E-mail			実施時期	2年	後期

授業の目的

美容の基礎は心身の健康であり、健美鍼灸と名称させて頂く。

本科目では美容鍼灸の臨床で必要となる、美容鍼灸臨床の現状、アンチエイジングの世界、美容基礎知識、診療する際の注意事項（予約の対応から、問診、施術、治療後指導など）、美容鍼灸専用カルテ記載の一部、全身の気血を巡らすための全身治療、症状による施術方法、美容鍼灸を行う上でコラボレーション可能なアロマセラピー、エステティックの一部、ホスピタリティスキルのなかで美容の基礎知識について学修を行う。

到達目標

- ・健美鍼灸(美容鍼灸)の実際(研究なども含)について説明できる。
- ・美容皮膚科基礎について説明できる。
- ・化粧品・マナーセラピーについて概説できる。

授業の内容

美容鍼灸の現状、基礎知識を学修することによって健美鍼灸へ応用することを学ぶ。

注意事項

- ※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
- ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
- ※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

評価は期末の筆記試験によって行います。

テキスト

参考文献・図書

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 健美鍼灸の概念について説明できる。	
2	授業内容	美容領域の現状①	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 美容領域の現状について説明できる。	
3	授業内容	美容鍼灸の現状②	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ アンチエイジングについて説明できる。	
4	授業内容	美容鍼灸の現状①	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 美容鍼灸の現状について説明できる。	
5	授業内容	美容鍼灸の現状②	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 美容鍼灸の現状について説明できる。	
6	授業内容	顔面部の構造①	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 顔面部の構造について説明できる。	
7	授業内容	顔面部の構造②	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 顔面部の構造について説明できる。	
8	授業内容	美容皮膚科学①	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 美容皮膚科学について説明できる。	
9	授業内容	美容皮膚科学②	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 美容皮膚科学について説明できる。	
10	授業内容	美容皮膚科学③	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 美容皮膚科学について説明できる。	
11	授業内容	美容皮膚科学④	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 美容皮膚科学について説明できる。	
12	授業内容	化粧品科学①	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 化粧品科学について説明できる。	
13	授業内容	化粧品科学②	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ 化粧品科学について説明できる。	
14	授業内容	マナーセラピー	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・ マナーセラピーについて説明できる。	
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学応用 I (健康スポーツ鍼灸論基礎)	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	富倉 捷也	E-mail			実施時期	2 年	後期

授業の目的

臨床鍼灸学応用は、スポーツに特化した人体の構造と機能や運動機能学について学習していく。
人体を構成する細胞、組織と器官の構造と機能を理解し、“かたち”と“働き”について関連付けながら学習していく。

到達目標

- 1) ヒトのスポーツ・運動と筋肉系、呼吸器系、循環器系、ホルモン系（代謝系）との関係が説明できる。
- 2) 競技者の解剖学的、生理学的特徴が説明できる。

授業の内容

「ヒトの動き」および「運動の構造」の成り立ちを理解し、運動および動きの評価の基礎を学習することによって、実践的運動理論をスポーツ選手への実践・指導へ応用することを学ぶ。
運動に用いられる運動器のしくみとその働き（機能解剖）を理解し、そこから運動（動き）の一連および局面の構造をバイオメカニクスの観点での検討・学習をする。またこれは、種々の競技動作について検討・学習する

注意事項

- ※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。
- ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
- ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

本授業での 2/3 以上の出席を学期末試験の受験資格とします。成績は学期末試験で評価します。

テキスト

1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院
2. 復帰を目指すスポーツ整形外科 メジカルビュー 宗田大
3. 『生理学テキスト第 7 版』 文光堂
4. スポーツ鍼灸の実際 最新の理論と実践 医道の日本社 福林徹 宮本俊和

参考文献・図書

オフィスアワーについて

曜日： 時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可
時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（予習：30 分、復習：30 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	筋の構造と働き	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	筋の構造と働きについて説明することができる。	
2	授業内容	筋の収縮の仕組み、筋のエネルギー供給の仕組み、筋学総論	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	筋の収縮の仕組み、筋のエネルギー供給の仕組み、筋学総論について説明することができる。	
3	授業内容	筋の起始停止作用、筋の分類、筋の形状	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	筋の起始停止作用、筋の分類、筋の形状について説明することができる。	
4	授業内容	運動と循環器系	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	運動時における循環について説明することができる。	
5	授業内容	運動と呼吸	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	呼吸のメカニズムが説明することができる。	
6	授業内容	運動とホルモン	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	運動中の代謝調節およびホルモンについて説明することができる。	
7	授業内容	神経系の役割	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	神経系の構造と役割が説明できる。	
8	授業内容	上肢の筋に関与する骨、下肢の筋に関与する骨	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上肢、下肢の筋に関与する骨について説明することができる。	
9	授業内容	浅胸筋、浅背筋、上肢帯の筋	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	浅胸筋、浅背筋、上肢帯の筋について説明することができる。	
10	授業内容	上腕の屈筋、伸筋、前腕の屈筋、前腕の伸筋	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上腕の屈筋、伸筋、前腕の屈筋、前腕の伸筋について説明することができる。	
11	授業内容	下肢帯の筋	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	下肢帯の筋について説明することができる。	
12	授業内容	大腿の伸筋、大腿の内転筋	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	大腿の伸筋、大腿の内転筋について説明することができる。	
13	授業内容	大腿の屈筋、下腿の伸筋と腓骨筋、下腿の屈筋	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	大腿の屈筋、下腿の伸筋と腓骨筋、下腿の屈筋について説明することができる。	
14	授業内容	体幹の筋	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	体幹の筋について説明することができる。	
15	授業内容	まとめ(評価含む)	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学応用 I (医療連携鍼灸論基礎)	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験 の有無	無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	古田 大河	E-mail		実施時期	2 年 後期		

授業の目的

現代の日本社会における“はり師・きゅう師”の役割には、現代医学を補完する役割があり、そのためには医療連携が必要です。鍼灸医療を取り巻く様々な医療環境、エビデンスに基づく医療などの基礎知識の修得とともにはり・きゅう治療がどのように医療連携(補完医療)するのかを学び考えます。

到達目標

- ・はり・きゅう治療に必要な知識、医療・介護連携が説明できる。
- ・はり・きゅう師が行える補完療法について説明できる。

授業の内容

はり・きゅう治療は、現代西洋医学的治療と併用して補完医療として行われる場合が多い。本科目では補完医療として行うはり・きゅう治療に必要な知識、医療・介護連携、はり・きゅう師が行える補完療法について学修する。

注意事項

- ※医療人として相応しい人間性(知識・技能)の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
- ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
- ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

評価は期末の筆記試験によって行います。

テキスト

自作の資料

参考文献・図書

オフィスアワーについて

直接もしくはメールによりアポイントメントをとっていただくことによって、随時対応します。

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習(50分程度)を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標		
2	授業内容	補完代替療法・統合医療とは	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・補完代替療法・統合医療について説明できる。	
3	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：総論	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な知識・技術について説明できる。	
4	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：薬物療法・薬物療法の副作用について	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な薬物療法・薬物療法の副作用についてについて概説できる。	
5	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：画像診断について	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な画像診断についてについて概説できる。	
6	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：医師・看護師とは	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な医師・看護師についてについて概説できる。	
7	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：理学療法士・他医療職種とは	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な理学療法士・他医療職種についてについて概説できる。	
8	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：介護職とは	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な介護職についてについて概説できる。	
9	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：病院内でのはり・きゅう治療	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な病院内でのはり・きゅう治療についてについて概説できる。	
10	授業内容	医療・介護連携に必要な知識・技術：地域医療・在宅医療・災害現場でのはり・きゅう治療	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な地域医療・在宅医療・災害現場でのはり・きゅう治療についてについて概説できる。	
11	授業内容	はり師・きゅう師が活用できる補完代替療法：登録販売	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要な登録販売についてについて概説できる。	
12	授業内容	はり師・きゅう師が活用できる補完代替療法：アロマセラピー	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要なアロマセラピーについてについて概説できる。	
13	授業内容	はり師・きゅう師が活用できる補完代替療法：ヨガ	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要なヨガについてについて概説できる。	
14	授業内容	はり師・きゅう師が活用できる補完代替療法：マインドフルネス	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	・医療・介護連携に必要なマインドフルネスについてについて概	
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学応用Ⅱ (健美鍼灸論)	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験 の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所鍼灸科勤務					
担当者	森川 由紀子	E-mail		実施時期	3 年 前期		

授業の目的

美容の基礎は心身の健康であり、健美鍼灸と名称させて頂く。
 本科目では 2 年生後期で実施した臨床鍼灸学応用Ⅰ（健美鍼灸論基礎）をもとに、健美鍼灸の土台となる東洋医学的な考えの基礎、穴性、そしてコミュニケーション・指導に必要な化粧品、トリートメントの基礎などに触れ、臨床に必要な安全性ならびにカルテ記載、承諾、説明、評価、診察の注意点などを、ホスピタリティの一部を学ぶ。個々の健美の考えを確認し、臨床における対応力の基礎になる知識を学修する。※授業の進行により授業計画の記載内容が変更する場合があります。

到達目標

- ・ 健美鍼灸(美容鍼灸)の実際を理解し、様々な視点からサポートできることを考える。
- ・ 美容皮膚科基礎を基盤としクライアントの方への対応について学ぶ。
- ・ クライアントの対応の基礎を学び 3 年生の実践につなげる。

授業の内容

健美鍼灸の概要、クライアントの方への対応を学修することにより、健美鍼灸への実践につなげる。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

評価は期末の筆記試験によって行います。

テキスト

健美鍼灸論基礎Ⅰテキスト
 健美鍼灸論基礎Ⅱテキスト（配布プリント）

参考文献・図書

美容の医学 美容皮膚科学事典 監修 朝田 康夫
 美容皮膚科学 改訂 2 版 日本美容皮膚科学会監修 南山堂

オフィスアワーについて

曜日： 授業終了後
 時間：

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、ご質問ください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション	講義プリントにて予習および復習を行う
	到達目標	・健美鍼灸論基礎Ⅰのまとめ・今後の進行について理解する。	
2	授業内容	化粧品検定の紹介	講義プリントにて予習および復習を行う
	到達目標	・化粧品基礎について学び、検定を受験してみる。	
3	授業内容	トリートメント基礎について	講義プリントにて予習および復習を行う
	到達目標	・トリートメント基礎について説明できる。	
4	授業内容	東洋医学基礎（概要）	講義プリントにて予習および復習を行う
	到達目標	・東洋医学な基礎の考えについて触れ、説明に役立てる。	
5	授業内容	東洋医学基礎（穴性）	講義プリントにて予習および復習を行う
	到達目標	・穴性基礎を学び、説明に役立てる。	
6	授業内容	主な症状による施術方法	講義プリントにて予習および復習を行う
	到達目標	・美容皮膚科学を基礎に症状についての対応に役立てる。	
7	授業内容	安全性、打ち方、ホスピタリティスキル	講義プリントにて予習および復習を行う
	到達目標	・安全性およびホスピタリティを理解する。	
8	授業内容	ディスカッション（症例）	講義プリントにて予習および復習を行う
	到達目標	・症例についてディスカッションし実践につなげる。	
9	授業内容	カルテ（説明、承諾書など）	講義プリントにて予習および復習を行う
	到達目標	・症例についてディスカッションし実践につなげる。	
10	授業内容	評価方法、写真評価、自己カルテの作成	講義プリントにて予習および復習を行う
	到達目標	・評価方法などを学び、自己カルテを作成する。	
11	授業内容	シミュレーション（症例）	講義プリントにて予習および復習を行う
	到達目標	・症例をもとにシミュレーションを行い、実践につなげる。	
12	授業内容	シミュレーション（症例）	講義プリントにて予習および復習を行う
	到達目標	・症例をもとにシミュレーションを行い、実践につなげる。	
13	授業内容	実践イメージをつくる、健美鍼灸の目指すところ	講義プリントにて予習および復習を行う
	到達目標	・自分なりの心身の健美について考え・説明できる。	
14	授業内容	健美鍼灸のまとめ、まとめの概要	講義プリントにて予習および復習を行う
	到達目標	・これまで学んだことを確認、また今後の課題の確認	
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学応用Ⅱ (健康スポーツ障害論)	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	⑦・無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		鍼灸院開業					
担当者	安東 由仁	E-mail		実施時期	3 年 前期		

授業の目的							
スポーツを効果的かつ安全に行うためにスポーツによって起こる骨や関節、筋や腱、靭帯などの障害や傷害について学習する。							
到達目標							
スポーツ現場で発生頻度の高い急性外傷に対してその発生機序、対処法、予防法を学び、スポーツ傷害および障害からの競技復帰、競技力の向上への活用方法を習得する。							
授業の内容							
各部位ごとにスポーツ障害や傷害を学習する。							
注意事項							
<p>※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。</p> <p>※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。</p> <p>※実技室使用における注意事項を厳守しない場合は減点とする。</p> <p>受験資格は授業時間数の 4 / 5 以上の出席とする。</p>							
成績評価							
<p>1. 受験資格について総授業時間数の 4 / 5 以上が必要です。</p> <p>2. 成績評価について筆記試験にて 60 点以上で合格とします。</p>							
テキスト							
参考文献・図書							
<p>1. 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院</p> <p>2. 復帰を目指すスポーツ整形外科 メジカルビュー 宗田大</p> <p>3. 『生理学テキスト第 7 版』 文光堂</p> <p>4. スポーツ鍼灸の実際 最新の理論と実践 医道の日本社 福林徹 宮本俊和</p> <p>5. 鍼灸マッサージ師のためのスポーツ東洋療法 医道の日本社</p>							
オフィスアワーについて							
<p>曜日：時間が空いていれば随時可能（但し、月・水・金）、e-mail でも対応可</p> <p>時間： 時 分～ 時 分</p>							
授業時間外の学習について							
<p>授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。</p>							

授業計画	授業時間外学習（予習・復習）
------	----------------

【鍼灸学科授業シラバス】

1	授業内容	スポーツを支える東洋療法	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	スポーツを支える東洋療法	
2	授業内容	メディカルチェックと初期対応	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	メディカルチェックと初期対応	
3	授業内容	頭部のスポーツ障害と傷害	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	頭部のスポーツ障害と傷害	
4	授業内容	頸部・顔面のスポーツ障害と傷害	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	頸部・顔面のスポーツ障害と傷害	
5	授業内容	肩・肘・手関節のスポーツ障害と傷害Ⅰ	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	肩・肘・手関節のスポーツ障害と傷害Ⅰ	
6	授業内容	肩・肘・手関節のスポーツ障害と傷害Ⅱ	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	肩・肘・手関節のスポーツ障害と傷害Ⅱ	
7	授業内容	手関節骨折、手指骨折（突き指）、TFCC 損傷	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	手関節骨折、手指骨折（突き指）、TFCC 損傷	
8	授業内容	体幹のスポーツ障害と傷害	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	体幹のスポーツ障害と傷害	
9	授業内容	股関節のスポーツ障害と傷害 骨盤裂離骨折、大腿部肉離れ	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	股関節のスポーツ障害と傷害 骨盤裂離骨折、大腿部肉離れ	
10	授業内容	鼠径部痛症候群	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	鼠径部痛症候群	
11	授業内容	膝関節のスポーツ障害と傷害Ⅰ 前十字靭帯損傷、後十字靭帯損傷、内側側副靭帯損傷、	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	膝関節のスポーツ障害と傷害Ⅰ 前十字靭帯損傷、後十字靭帯損傷、内側側副靭帯損傷、	
12	授業内容	膝関節のスポーツ障害と傷害Ⅱ 半月板損傷、外側側副靭帯損傷、膝蓋骨脱臼	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	膝関節のスポーツ障害と傷害Ⅱ 半月板損傷、外側側副靭帯損傷、膝蓋骨脱臼	
13	授業内容	下腿・足関節のスポーツ障害と傷害 足関節捻挫 アキレス腱断裂 その他足部	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	下腿・足関節のスポーツ障害と傷害 足関節捻挫 アキレス腱断裂 その他足部	
14	授業内容	女性とスポーツ	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	女性とスポーツ	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学応用Ⅱ (医療連携鍼灸論)	単位数	1単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有
		時間数	30時間				
実務経験内容		鍼灸院開業					
担当者	古田 大河	E-mail		実施時期	3年 前期		

授業の目的

現代の日本社会における“はり師・きゅう師”の役割には、現代医学を補完する役割があり、そのためには医療連携は必要です。鍼灸医療を取り巻く様々な医療環境、エビデンスに基づく医療などの基礎知識の修得とともにはり・きゅう治療がどのように医療連携(補完医療)するのかを学び考えます。
本授業は、症例を通じて病態把握、症状の発症機序、弁証からはり・きゅう師、多職種の役割・治療を理解する。

到達目標

- ・ 症例から病態およびその根拠が説明できる。
- ・ 病態および発症機序から多職種の役割、治療目的が説明できる。
- ・ 病態および発症機序、弁証から鍼灸治療の目的、治療方法が説明できる。

授業の内容

- ① 症例および課題を授業前に提示、その内容について事前に予習を行う。
- ② 病態および発症機序から多職種の役割、治療目的について授業を行う。
- ③ 病態および発症機序、弁証から鍼灸治療の目的、治療方法について授業を行う。

注意事項

※医療人として相応しい人間性(知識・技能)の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
※教室は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、居心地の良い教室空間の構築を期待します。
※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

評価は、①授業内での発表内容、②期末のレポートによって行います。

テキスト

自作の資料

参考文献・図書

- ① 2年生までに学修した授業資料、② 国家試験攻略テキスト、③ 病気がみえるシリーズ など

オフィスアワーについて

曜日：不定期

時間：事前にメールにてご連絡ください。f_fukuda@meiji-u.ac.jp

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習(50分程度)を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	慢性閉塞性肺疾患 (COPD) ①	COPD の症例から課題 (病態、その根拠) について予習する。
	到達目標	・ COPD の症例から病態およびその根拠が説明できる。 ・ COPD の病態および発症機序から多職種 of 役割、治療目的が説明できる。	
2	授業内容	慢性閉塞性肺疾患 (COPD) ②	COPD の症例から課題 (弁証・鍼灸治療) について予習する。
	到達目標	・ COPD の病態および発症機序、弁証から鍼灸治療の目的、治療方法が説明できる。	
3	授業内容	便通異常①	便通異常の症例から課題 (病態、その根拠) について予習する。
	到達目標	・ 便通異常の症例から病態およびその根拠が説明できる。 ・ 便通異常の病態および発症機序から多職種 of 役割、治療目的が説明できる。	
4	授業内容	便通異常②	便通異常の症例から課題 (弁証・鍼灸治療) について予習する。
	到達目標	・ 便通異常の病態および発症機序、弁証から鍼灸治療の目的、治療方法が説明できる。	
5	授業内容	糖尿病・肥満①	糖尿病・肥満の症例から課題 (病態、その根拠) について予習する。
	到達目標	・ 糖尿病の症例から病態およびその根拠が説明できる。 ・ 糖尿病の病態および発症機序から多職種 of 役割、治療目的が説明できる。	
6	授業内容	糖尿病・肥満②	糖尿病・肥満の症例から課題 (弁証・鍼灸治療) について予習する。
	到達目標	・ 糖尿病の病態および発症機序、弁証から鍼灸治療の目的、治療方法が説明できる。	
7	授業内容	糖尿病・合併症 (末梢神経障害) ③	糖尿病・合併症の症例から課題 (病態、その根拠) について予習する。
	到達目標	・ 糖尿病の 3 大合併症の病態およびその根拠が説明できる。 ・ 糖尿病の 3 大合併症の病態および発症機序から多職種 of 役割、治療目的が説明できる。	
8	授業内容	糖尿病・合併症 (末梢神経障害) ④	糖尿病・合併症の症例から課題 (弁証・鍼灸治療) について予習する。
	到達目標	・ 糖尿病の 3 大合併症の病態および発症機序、弁証から鍼灸治療の目的、治療方法が説明できる。	
9	授業内容	緩和医療・終末期①	終末期の症例から課題 (病態、その根拠) について予習する。
	到達目標	・ 終末期の症例から病態およびその根拠が説明できる。 ・ 終末期の病態および発症機序から多職種 of 役割、治療目的が説明できる。	
10	授業内容	緩和医療・終末期②	終末期の症例から課題 (弁証・鍼灸治療) について予習する。
	到達目標	・ 終末期の病態および発症機序、弁証から鍼灸治療の目的、治療方法が説明できる。	
11	授業内容	慢性疼痛：線維筋痛症①	線維筋痛症の症例から課題 (病態、その根拠) について予習する。
	到達目標	・ 線維筋痛症の病態およびその根拠が説明できる。 ・ 線維筋痛症の 3 大合併症の病態および発症機序から多職種 of 役割、治療目的が説明できる。	
12	授業内容	慢性疼痛：線維筋痛症②	線維筋痛症の症例から課題 (弁証・鍼灸治療) について予習する。
	到達目標	・ 線維筋痛症の 3 大合併症の病態および発症機序、弁証から鍼灸治療の目的、治療方法が説明できる。	
13	授業内容	ストレス疾患：うつ病①	うつ病の症例から課題 (病態、その根拠) について予習する。
	到達目標	・ うつ病の病態およびその根拠が説明できる。 ・ うつ病の病態および発症機序から多職種 of 役割、治療目的が説明できる。	
14	授業内容	ストレス疾患：うつ病②	うつ病の症例から課題 (弁証・鍼灸治療) について予習する。
	到達目標	・ うつ病の病態および発症機序、弁証から鍼灸治療の目的、治療方法が説明できる。	
15	授業内容	まとめ	
	到達目標	本授業におけるレポートを作成する。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	鍼灸理論Ⅱ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有 無	㊦・無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	杉本 直子	E-mail		実施時期	3 年 前期		

授業の目的	
1) 患者さんあるいはメディカルスタッフに鍼灸の効果やその作用機序を説明できる。 2) 鍼灸の効果やそのメカニズムを基に鍼灸治療の方針や方法を立案することができる。 3) 学会、講習会での発表や論文を理解することができる。 4) 国家試験に合格できる。	
到達目標	
治効理論を理解した上で、治療方針・計画に組み込むことができること。 国家試験のはり理論・きゅう理論を解く力を身につけること。	
授業の内容	
・鍼灸治効の基礎（生理学から見た鍼灸） ・鍼灸医療安全ガイドライン 鍼灸理論を理解するには、生理学の知識が必要です。生理学、解剖学の復習をしながら、鍼灸の作用・効果を学びます。	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。 また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※授業の進行スピードは速いので、欠席した場合、必ず次の授業までに休んだ時の内容をチェックするようにしてください。	
成績評価	
学期末、15 コマ目に筆記試験を実施し、60 点以上で合格となります。 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。	
テキスト	
東洋療法学校協会編 「はりきゅう理論」 鍼灸安全性委員会編 「鍼灸医療安全ガイドライン」	
参考文献・図書	
「鍼灸臨床の科学」医歯薬出版、2000 年 「鍼灸臨床最新科学 メカニズムとエビデンス」医歯薬出版、2014 年 「痛みと鎮痛の基礎知識 上・下」技術評論社、2010 年	
オフィスアワーについて（代表者）	
時間が空いていれば随時可能、e-mail でも対応可	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 痛みと痛みの受容	配布資料と教科書の該当箇所を復習する
	到達目標	さまざまな疼痛の概念を理解する。 高閾値機械受容器、ポリモーダル受容器の反応特性を理解する。	
2	授業内容	求心線維、伝導路	配布資料と教科書の該当箇所を復習する
	到達目標	痛みの悪循環のメカニズムを理解する。 痛みの伝導路を理解する。	
3	授業内容	痛みの感覚 関連痛、内臓痛	配布資料と教科書の該当箇所を復習する
	到達目標	感覚の認識を行う部位、熱痛が生じる温度、受容器を理解する。関連痛のメカニズムとして収束説を説明することができる。	
4	授業内容	温度感覚、触圧感覚	配布資料と教科書の該当箇所を復習する
	到達目標	無関帯の概念、温度感覚の受容器、形態、神経線維、伝導路を理解する。触圧覚の受容器、神経線維、伝導路の経路を述べるができる。	
5	授業内容	深部感覚、体性運動反射	配布資料と教科書の該当箇所を復習する
	到達目標	深部感覚の概念を理解する。体性運動反射、伸張反射・拮抗抑制、自原抑制、屈曲反射・交叉性伸展反射について理解する。	
6	授業内容	自律神経反射	配布資料と教科書の該当箇所を復習する
	到達目標	内臓内臓反射、内臓体性反射、体性内臓反射の反射路と反射の例を挙げることができる。軸索反射のメカニズムについて理解する。	
7	授業内容	鍼刺激とポリモーダル受容器	配布資料と教科書の該当箇所を復習する
	到達目標	ポリモーダル受容器の特性を理解する。 圧痛点の出現するメカニズムを説明することができる。	
8	授業内容	内因性痛覚抑制系と鍼鎮痛 1	配布資料と教科書の該当箇所を復習する
	到達目標	内因性痛覚抑制系の特徴、長所短所を述べるができる。 内因性オピオイドの概念、種類、構造、作用を述べることができる。	
9	授業内容	内因性痛覚抑制系と鍼鎮痛 2	配布資料と教科書の該当箇所を復習する
	到達目標	下行性抑制の特徴と鍼鎮痛との関連について説明することができる。	
10	授業内容	内因性痛覚抑制系と鍼鎮痛 3	配布資料と教科書の該当箇所を復習する
	到達目標	ゲートコントロール説の概念、TENS について理解する。	
11	授業内容	施鍼施灸の局所反応、治療的作用	配布資料と教科書の該当箇所を復習する
	到達目標	鍼灸の刺激の受容器・神経線維・伝導路を理解する。鍼灸共通の治療的作用、灸のみの治療的作用の名称と作用の概念を理解する。	
12	授業内容	鍼灸医療安全ガイドライン	配布資料と教科書の該当箇所を復習する
	到達目標	消毒の方法・薬剤、医療機器の分類、滅菌、クリーンニードルテクニック、感染性廃棄物について理解する。	
13	授業内容	鍼灸医療安全ガイドライン	配布資料と教科書の該当箇所を復習する
	到達目標	WHO のガイドラインでの禁忌、注意する病態を述べるができる。主だった経穴の安全深度を挙げることができる。	
14	授業内容	鍼灸理論 I の内容の総復習	本学習の内容について確認・復習する。
	到達目標	本学習の内容について確認をする。	
15	授業内容	期末試験	本学習の内容について再度確認、復習する。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	鍼灸理論Ⅲ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有 無	④・無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	杉本 直子	E-mail		実施時期	3 年 後期		

授業の目的

鍼刺激やきゅう刺激において、過去より様々な研究が行われ、そのメカニズムや作用機序が述べられています。それらの研究内容を理解し、それぞれの鍼灸の効果や作用機序を学習し、修得していくことを目的とします。

到達目標

- 1) 患者さんあるいはメディカルスタッフに鍼灸の効果やその作用機序が説明できる。
- 2) 鍼灸の効果やそのメカニズムを基に鍼灸治療の方針や方法を立案することができる。
- 3) 学会、講習会での発表や論文を理解することができる。
- 4) 国家試験に合格できる。

授業の内容

- (1) 鍼灸療法的一般治効理論（鍼灸刺激の各器官系への影響）
- (2) 関連学説（鍼灸の機序、効果を説明するのに有用な医学の学説）

研究成果や学説を理解することにより、鍼灸についての理解を深めてください。

なお、この科目は、教員の実務経験に基づいた内容で授業を行います。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

成績評価

学期末の期末試験を実施し、60 点以上で合格とします。

※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

テキスト

東洋療法学校協会編 はりきゅう理論

参考文献・図書

「鍼灸臨床の科学」医歯薬出版、2000 年

「鍼灸臨床最新科学 メカニズムとエビデンス」医歯薬出版、2014 年

「鍼灸最前線」医道の日本社、1998 年

オフィスアワーについて（代表者）

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			予習・復習
1	授業内容	自律神経	自律神経の効果器について復習しておく。
	到達目標	交感神経・副交感神経の単独支配の効果器、拮抗支配ではない効果器を述べる ことができる。 瞳孔、唾液腺、皮膚血管、心臓機能、消化管運動、汗腺などに対する自律神経の作用を述べる ことができる。自律神経の伝達物質と受容体を述べる ことができる。 α 受容体と β 受容体それぞれが刺激された反応を区別する ことができる。	
2	授業内容	血管・心拍数に対する鍼灸刺激の影響	血管・心拍数の変化について予習しておく。
	到達目標	皮膚血管の拡張・収縮についての受容体・自律神経の作用を述べる ことができる。 骨格筋の血管の拡張・収縮について、 α 、 β 、ムスカリン受容体それぞれの作用と違いを述べる ことができる。心拍数に対する鍼と灸の作用を述べる ことができる。	
3	授業内容	軸索反射と鍼灸刺激	軸索反射について予習しておく。
	到達目標	モルモットの腓腹筋への刺鍼による実験について学習し、腓腹筋の筋血流改善に 関係する神経・伝達物質を述べる ことができる。 軸索反射におけるC線維、コリン作動性神経の2種類について段階を踏んで説明 することができる。	
4	授業内容	体性自律反射と鍼灸刺激	体性自律反射について予習しておく。
	到達目標	モルモットの背部刺鍼による腓腹筋の血流改善の実験について学習し、関係する 神経・反射の経路・伝達物質、中枢を説明する ことができる。麻酔ラットの足三里への刺鍼による血圧に対する影響とピンチ刺激との 違いを説明 することができる。	
5	授業内容	胃・膀胱に対する鍼灸刺激	胃・膀胱の反射について予習しておく。
	到達目標	麻酔ラットの腹部刺鍼、後肢刺鍼それぞれについて、胃運動への影響、関与する 神経、反射の経路、中枢、効果器での受容体について述べる ことができる。膀胱運動に影響する刺鍼部位と働きを述べる ことができる。血圧・胃運動・膀胱運動に対する自律神経反射が、それぞれ脊髄分節性 であるのか、上脊髄性であるのかを述べる ことができる。	
6	授業内容	鍼灸と炎症反応	炎症反応について予習しておく。
	到達目標	施鍼・施灸局所でみられる炎症による現象と機序を述べる ことができる。炎症部位への白血球の浸潤のメカニズムを説明する ことができる。炎症の際に放出されるケミカルメディエーターについてどこから放出 されるか述べる ことができる。	
7	授業内容	生体防御 免疫	免疫について予習しておく。
	到達目標	自然免疫、獲得免疫について、それぞれで働く細胞とその役割を述べる ことができる。 鍼灸刺激による免疫システムへの影響について述べる ことができる。	
8	授業内容	灸刺激と生体防御	熱刺激に対する生体作用について予習しておく。
	到達目標	透熱灸の施灸局所の反応と血液への影響を述べる ことができる。焦灼灸の温熱作用以外の作用、その原因となる成分を述べる ことができる。打膿灸の際に起きる現象を説明できる。隔物灸の温熱以外の作用を 述べる ことができる。	
9	授業内容	循環・血流に対する鍼灸の影響	環・血流に対する鍼灸の影響について復習しておく。
	到達目標	軸索反射・自律神経反射による血流改善の機序を述べる ことができる。	
10	授業内容	経絡と経穴	経絡、経穴について予習しておく。
	到達目標	経穴の組織学的特徴を述べる ことができる。経絡現象の例を述べる ことができる。 電気抵抗低下現象と、それを応用した診断法について述べる ことができる。圧痛点・トリガーポイントについて説明する ことができ、経穴との関連性について述べる ことができる。	
11	授業内容	サイバネティクスとホメオスタシス	ホメオスタシスについて復習しておく。
	到達目標	内部環境、ホメオスタシス、サイバネティクスそれぞれの提唱者と学説の内容と、 各学説間の関連性を述べる ことができる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

12	授業内容	ストレス学説	ストレスについて予習しておく。
	到達目標	ストレス学説・汎適応症候群の提唱者、ストレスとストレッサーの概念を述べるができる。 ストレスの3つの様相を述べるができる。ストレスの3つの時期と2つの相を述べるができる。交絡抵抗と交絡感作の概念と、どの時期にあたるかを説明することができる。ストレスの内分泌系や自律神経の反応を説明することができる。ストレス蛋白について説明することができる。	
13	授業内容	レイリー現象と圧自律神経反射	本講義で学習した内容を復習しておく。
	到達目標	過剰刺激症候群、圧自律神経反射の提唱者を述べるができる。レイリー現象の4大特性を述べるができる。圧自律神経反射について、圧迫側・非圧迫側の反応を述べるができる。	
14	授業内容	13 コマの内容の復習	
	到達目標		
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸演習 I	単位数	1 単位	授業形態	演習	実務経験の有無	④ ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		鍼灸院開業					
担当者	田口 敬太	E-mail		実施時期	3 年 前期		

授業の目的

東洋医学概論では東洋医学の基本的な病態生理を学び、東洋医学臨床論ではその理論に基づく病態把握を理解しました。この科目では更に、中国医学に基づいた弁証論治を学び、東洋医学的鍼灸診療に応用することを学び、修得することを目的とします。

到達目標

生体物質、臓腑の生理と病理を理解し、弁証論治の手順に従って病証の把握から治療方法の選択まで導き出すことが出来る。

授業の内容

東洋医学概論の復習を中心に、弁証論治に必要な知識の整理と理解を深めていきます。
患者さんを意識して人を診れる鍼灸師を目指します。

注意事項

- ※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
- ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
- ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

- ・総授業時間数の 2/3 以上出席したものを評価対象とします。
- ・無断での途中退出についても**欠席扱い**とします。
- ・期末に筆記試験を行い、60%以上で単位が認定されます

テキスト

- ・東洋療法学校協会編「新版 東洋医学概論」

参考文献・図書

- ・鍼灸学「基礎編」日中共同編集／東洋学術出版

オフィスアワーについて

曜日：水曜日

時間：授業終了後

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 東洋医学の考え方	病因論の復習
	到達目標	弁証の立て方 病因論が理解できる	
2	授業内容	症例	四診の復習
	到達目標	弁証に必要な情報収集ができる	
3	授業内容	症例	八綱の復習
	到達目標	表裏・寒熱・虚実が理解できる	
4	授業内容	気血津液弁証の復習	気血津液の復習
	到達目標	気血津液の生理と病理が理解できる	
5	授業内容	四診・八綱・病因・気血津液のまとめ	今までの授業資料の復習
	到達目標	気血津液弁証までの道筋が理解できる	
6	授業内容	臓腑弁証	五臓六腑の生理を復習
	到達目標	臓腑の生理と病理が理解出来る	
7	授業内容	臓腑弁証	五臓六腑の生理を復習
	到達目標	臓腑の生理と病理が理解出来る	
8	授業内容	症例	五臓六腑の生理を復習
	到達目標	臓腑の生理と病理が理解出来る	
9	授業内容	症例	五臓六腑の生理を復習
	到達目標	臓腑の生理と病理が理解出来る	
10	授業内容	論治と治則	治則について復習する
	到達目標	治療方針について理解する	
11	授業内容	穴性・選穴	難行六十九難について復習する
	到達目標	選穴について理解する	
12	授業内容	弁証論治の進めかたと証の決定 手順を確認し、証と治療方法の決め方を学ぶ	弁証論治の手順を復習する
	到達目標	手順に従って導くことが出来る	
13	授業内容	弁証論治 症例における実践 1. 症例を用いて手順に従って弁証論治を実践する	弁証論治の手順を復習する
	到達目標	手順に従って導くことが出来る	
14	授業内容	弁証論治 症例における実践 2. 症例を用いて手順に従って弁証論治を実践する	弁証論治の手順を復習する
	到達目標	手順に従って導くことが出来る	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標	手順に従って導くことが出来る	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸演習Ⅱ-1	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	谷口 剛志 中島 康敦	E-mail			実施時期	3 年 前期	

授業の目的	代表的な疾患の各症状・症候から病態を考え病態に対する鍼灸治療の目的、治療をまとめて理解する。
到達目標	代表的な疾患に対してこれまでに学んだことを総合的に示すことができる。
授業の内容	運動器系疾患について問題演習等を通じて、これまでに学んだ内容を解剖学的、生理学的、病理学的、臨床医学的、東洋医学的な立場から総合的に理解する。
注意事項	<p>※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。</p> <p>また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。</p> <p>※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。</p> <p>※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。</p>
成績評価	受験資格は授業時間数 2/3 以上の出席とする。評価は学期末試験にて行う。
テキスト	人体の構造と機能、病理学、臨床医学総論、臨床医学各論、東洋医学概論、東洋医学臨床論
参考文献・図書	適宜知らせる。
オフィスアワーについて	教員の授業時間・治療時間以外であれば対応します。メールでも対応します。
授業時間外の学習について	<p>授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。</p> <p>復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。</p>

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	解剖学、病理学、臨床医学、東洋医学の復習	左記内容について復習を行う。
	到達目標	本科目に必要な項目を理解することができる。	
2	授業内容	頸部に生じる疾患を理解する。	頸部の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
3	授業内容	肩に生じる疾患を理解する。	肩の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	肘に生じる疾患を理解する。	肘の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	上肢に生じる疾患を理解する。	上肢の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	腰部に生じる疾患を理解する。	腰下肢の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	股関節に生じる疾患を理解する。	股関節の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	膝に生じる疾患を理解する。	膝の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	足部に生じる疾患を理解する。	足部の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	脊柱に生じる疾患を理解する。	脊柱、脊髄の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	骨代謝性の疾患を理解する。	骨代謝について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	骨腫瘍を理解する。	腫瘍について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	まとめ	これまで学んだ内容を復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	まとめ	これまで学んだ内容を復習しておく。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	これまで学んだ内容を復習しておく。
	到達目標	1～14項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸演習Ⅱ-2	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治国際医療大学附属鍼灸センター勤務					
担当者	福田 文彦	E-mail		実施時期	3 年 後期		

授業の目的

代表的な疾患の各症状・症候から病態を考え病態に対する鍼灸治療の目的、治療をまとめて理解する。

到達目標

代表的な疾患に対してこれまでに学んだことを総合的に示すことができる。

授業の内容

消化器・呼吸器・循環器・代謝内分泌系疾患について問題演習等を通じて、これまでに学んだ内容を解剖学的、生理学的、病理学的、臨床医学的、東洋医学的な立場から総合的に理解する。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。
 また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

受験資格は授業時間数 2/3 以上の出席とする。評価は学期末試験にて行う。

テキスト

人体の構造と機能、病理学、臨床医学総論、臨床医学各論、東洋医学概論、東洋医学臨床論

参考文献・図書

適宜知らせる。

オフィスアワーについて

教員の授業時間・治療時間以外であれば対応します。メールでも対応します。

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。
 復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	解剖学、病理学、臨床医学、東洋医学の復習	左記内容について復習を行う。
	到達目標	本科目に必要な項目を理解することができる。	
2	授業内容	上部消化管に生じる疾患を理解する。	上部消化管の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
3	授業内容	上部消化管に生じる疾患を理解する。	上部消化管の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
4	授業内容	下部消化管に生じる疾患を理解する。	下部消化管の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
5	授業内容	下部消化管に生じる疾患を理解する。	下部消化管の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
6	授業内容	呼吸器に生じる疾患を理解する。	呼吸器の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
7	授業内容	呼吸器に生じる疾患を理解する。	呼吸器の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
8	授業内容	循環器に生じる疾患を理解する。	循環器の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
9	授業内容	循環器に生じる疾患を理解する。	循環器の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
10	授業内容	代謝内分泌に生じる疾患を理解する。	代謝内分泌の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
11	授業内容	代謝内分泌の疾患を理解する。	代謝内分泌の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
12	授業内容	泌尿器の疾患を理解する。	泌尿器の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
13	授業内容	産婦人科の疾患を理解する。	産婦人科の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
14	授業内容	感覚器の疾患を理解する。	感覚器の構造と機能について予習を行う。
	到達目標	上記内容を理解し、説明できる。	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	これまで学んだ内容を復習しておく。
	到達目標	1～14項目に対して理解し、説明できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床コミュニケーション論	単位数	1 単位	授業形態	演習	実務経験の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治国際医療大学附属鍼灸センター勤務					
担当者	福田 文彦	E-mail		実施時期	2年 前期		

授業の目的

この科目は鍼灸診療を行うために必要なコミュニケーションについて学び、医療面接・クライアント対応などを学び演習形式で行われます。診療においてはクライアント対応に必要となるマナー、カルテの記入方法、さらに医療機関などとの連携の文書交換方法などを学び修得することを目的とします。

到達目標

医療面接を行う上で必要な医療コミュニケーションの目的やその役割を理解し、そのスキルを習得していきます。

授業の内容

- ・医療コミュニケーションの目的や役割を深く理解し、そのスキルの習得を行うため、授業内ではロールプレイやグループ討論などを実施します。
- ・具体的には、総論から始まり、コミュニケーションのスキル、カルテの理解（書き方）、医療コミュニケーションのロールプレイなどを考えていきます。

なお、この科目は、教員の実務経験に基づいた内容で授業を行います。

注意事項

- ※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
- ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
- ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

授業での提出物、中間チェック、授業態度、15 コマ目に行うカルテ作成を合わせて 60%以上

テキスト

指定のテキストはありません。各授業内で配布される資料を用いてください。

参考文献・図書

- 『鍼灸臨床における医療面接』 丹澤章八著 医道の日本社
- 『医療面接とコミュニケーションのとり方』 福島統 メディカルビュー
- 『はじめての医療面接』 斎藤清二著 医学書院
- 『患者と医師のコミュニケーション』 石川ひろの 篠原出版新社
- 『メディカルインタビュー』 飯島克巳訳 メディカルサイエンスインターナショナル

オフィスアワーについて

曜日：水曜日

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション コミュニケーションについて、医療面接とは	コミュニケーション・医療面接の復習を行う。
	到達目標	コミュニケーション・医療面接を理解する。	
2	授業内容	コミュニケーションを考える	コミュニケーションの復習を行う。
	到達目標	言語的・非言語的コミュニケーションを理解する	
3	授業内容	NBM	NBM とは何かを復習しておく
	到達目標	NBM を理解する	
4	授業内容	医療コミュニケーションスキル 1	コミュニケーションスキルについて復習を行う。
	到達目標	医療コミュニケーションスキルについて理解する。	
5	授業内容	医療コミュニケーションスキル 2	コミュニケーションスキルについて復習を行う。
	到達目標	医療コミュニケーションスキルについて理解する。	
6	授業内容	カルテの書き方 1	カルテの書き方の復習を行う。
	到達目標	カルテの記載方法が理解できる。	
7	授業内容	カルテの書き方 2	カルテの書き方の復習を行う。
	到達目標	カルテの記載ができる。	
8	授業内容	カルテの書き方 3	カルテの書き方の復習を行う。
	到達目標	カルテの記載ができる。	
9	授業内容	カルテの書き方 4 ・ 患者紹介 ・ 返信の仕方	カルテの書き方 ・ 患者紹介 ・ 返信の復習を行う。
	到達目標	カルテの記載 ・ 患者紹介 ・ 返信の仕方ができる。	
10	授業内容	中間確認（コミュニケーションスキル、カルテについて）	ロールプレイで学んだことの復習を行う。
	到達目標	コミュニケーションスキル、カルテについて確認ができる。	
11	授業内容	ロールプレイ 1	ロールプレイで学んだことの復習を行う。
	到達目標	ロールプレイを実践し、不足している点などを理解する。	
12	授業内容	ロールプレイ 2	ロールプレイで学んだことの復習を行う。
	到達目標	ロールプレイを実践し、不足している点などを理解する。	
13	授業内容	ロールプレイ 3	ロールプレイで学んだことの復習を行う。
	到達目標	ロールプレイを実践し、不足している点などを理解する。	
14	授業内容	ロールプレイ 4	ロールプレイで学んだことの復習を行う。
	到達目標	ロールプレイを実践し、不足している点などを理解する。	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	コミュニケーションについて総復習を行い、今後の実習に役立てる。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	鍼灸の歴史と社会Ⅱ	単位数	1単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有
		時間数	30時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	田中 健吾	E-mail		実施時期	3年 後期		

授業の目的

国家試験科目について、問題演習により理解を深め、試験問題に対応できる能力を完璧化することを目的とします。特に「医療概論」「関係法規」「公衆衛生」を中心に演習を行います。

到達目標

国家試験において8割以上正解し、国家試験に合格すること。

授業の内容

- (1) 国家試験で出題される知識の確認
- (2) 演習試験で出題された問題の確認
- (3) 国家試験過去問題の演習
- (4) 模擬試験問題の演習

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

1. 授業時間数の2/3以上の出席がないと受験資格が無くなります。
2. 評価はレポートで行います。

テキスト

配布資料

参考文献・図書

オフィスアワーについて

直接もしくはメールによりアポイントメントをとっていただくことによって、随時対応します。

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	問題演習①	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
2	授業内容	問題演習②	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
3	授業内容	問題演習③	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
4	授業内容	問題演習④	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
5	授業内容	問題演習⑤	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
6	授業内容	問題演習⑥	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
7	授業内容	問題演習⑦	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
8	授業内容	問題演習⑧	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
9	授業内容	問題演習⑨	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
10	授業内容	問題演習⑩	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
11	授業内容	問題演習⑪	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
12	授業内容	問題演習⑫	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
13	授業内容	問題演習⑬	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
14	授業内容	問題演習⑭	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
15	授業内容	問題演習⑮	
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	東洋医学実習 I	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治国際医療大学附属鍼灸センター勤務（和辻）・鍼灸院開業（熊野）					
担当者	和辻 直 熊野 利明	E-mail		実施時期	2 年 前期		

授業の目的

1 年時で習得した東洋医学基礎理論に基づき、東洋医学的診察を理解し、実践する。また、診察で得た情報から病態把握へつなげる能力を修得することを目的とします。

到達目標

四診法を習得し、的確な弁証を行えること、鍼灸の手技技術を向上させると共に補寫の概念を理解し、目的の治療を行えるようにします。

授業の内容

本実習では四診（望・聞・問・切）を学習していきます。

1. 望：顔面診、舌診など視診を行います。
2. 聞：五声、五臭など聞診を行います
3. 問：東洋医学的問診項目を用いた問診を行います。
4. 切：脈診、腹診、愈募穴診など切診を行います。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

評価は期末の実技試験によって行いますが、授業中の態度および課題も評価します。

受験資格について総授業時間数の 4 / 5 以上が必要です。

テキスト

東洋医学概論 東洋療法学校協会 医道の日本

参考文献・図書

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画		授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション、東洋医学診察方法（手順）四診について
	到達目標	東洋医学診察方法（手順）四診について理解できる。
2	授業内容	問診+舌診+腹診トレーニング①
	到達目標	問診、舌診の分類と腹診（漢方腹診）の基礎を理解できる。
3	授業内容	問診+舌診+腹診トレーニング②
	到達目標	問診、舌診の分類と腹診（漢方腹診）を理解できる。
4	授業内容	問診+舌診+腹診トレーニング③
	到達目標	問診、舌診の分類と腹診（漢方腹診）を理解できる。
5	授業内容	問診+背診+切穴トレーニング①
	到達目標	問診、背診と切穴（原穴診など）を理解できる。
6	授業内容	問診+背診+切穴トレーニング②
	到達目標	問診、背診と切穴（原穴診など）を理解できる。
7	授業内容	脈診+腹診+背診トレーニング①
	到達目標	脈診の基礎、腹診（漢方腹診）+背診を理解できる。
8	授業内容	脈診+腹診+背診トレーニング②
	到達目標	脈診の基礎、腹診（漢方腹診）+背診を理解できる。
9	授業内容	脈診+腹診+背診トレーニング③
	到達目標	脈診の基礎、腹診（募穴診）+背診を理解できる。
10	授業内容	脈診+腹診+背診トレーニング④
	到達目標	脈診の基礎、腹診（募穴診）+背診を理解できる。
11	授業内容	脈診+腹診+背診トレーニング⑤
	到達目標	脈診の基礎、腹診（募穴診）+背診を理解できる。
12	授業内容	五要穴・五俞穴・五行穴①、舌診と脈診①
	到達目標	五要穴・五俞穴・五行穴を理解できる。
13	授業内容	五要穴・五俞穴・五行穴②、舌診と脈診②
	到達目標	五要穴・五俞穴・五行穴を理解できる。
14	授業内容	まとめ 本学習の内容について確認する。
	到達目標	本学習の内容について確認をする。
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について確認する。
	到達目標	本学習の内容について修得している。

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	東洋医学実習Ⅱ	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験の有無	④・無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治国際医療大学附属鍼灸センター勤務（和辻）・鍼灸院開業（熊野）					
担当者	和辻 直 熊野 利明	E-mail		実施時期	2 年 後期		

授業の目的							
1・2 年時で習得した東洋医学基礎理論に基づき、東洋医学的診察を理解し、実践する。また、診察で得た情報から東洋医学的病態把握・治療へつなげる能力を修得することを目的とします。							
到達目標							
四診法・八綱弁証を習得し、的確な弁証（臓腑弁証・経脈弁証・気血津液弁証）を行えること、補瀉の概念を理解し、論治（治療法）を行う。							
授業の内容							
本実習で四診から治療法（臓腑弁証・経脈弁証・気血津液弁証）を学習していきます。 1. 臓腑弁証 2. 経脈弁証 3. 気血津液弁証 4. 脈診、腹診、愈募穴診などを行います。							
注意事項							
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。 ※受験資格：本授業の 4/5 以上の出席。							
成績評価							
評価は期末の実技試験によって行いますが、授業中の態度および課題も評価します。 受験資格について総授業時間数の 4/5 以上が必要です。							
テキスト							
『鍼灸診療コアテキスト』 明治東洋医学院編集 東洋医学概論 東洋療法学校協会 医道の日本							
参考文献・図書							
オフィスアワーについて							
曜日： 時間：時 分～時 分							
授業時間外の学習について							
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50 分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	東洋医学診察方法(手順)八綱弁証	八綱弁証(表裏・寒熱・虚実・陰陽)を復習する。
	到達目標	八綱弁証について理解できる。	
2	授業内容	八綱弁証1(表裏・寒熱・虚実・陰陽)	八綱弁証(表裏・寒熱・虚実・陰)
	到達目標	八綱弁証について理解できる。	
3	授業内容	八綱弁証2(表裏・寒熱・虚実・陰陽)	八綱弁証(表裏・寒熱・虚実・陰)
	到達目標	八綱弁証について理解できる。	
4	授業内容	気血津液弁証1(気の虚実)	気血津液弁証を復習する。
	到達目標	気血津液弁証について理解できる。	
5	授業内容	気血津液弁証2(血の虚実)	気血津液弁証を復習する。
	到達目標	気血津液弁証について理解できる。	
6	授業内容	気血津液弁証3(津液の虚実)	気血津液弁証を復習する。
	到達目標	気血津液弁証について理解できる。	
7	授業内容	気血津液弁証4(陰陽の虚実)	気血津液弁証を復習する。
	到達目標	気血津液弁証について理解できる。	
8	授業内容	気血津液弁証5(まとめ)	気血津液弁証を復習する。
	到達目標	気血津液弁証について理解できる。	
9	授業内容	経絡弁証1(手の三陰)	経絡弁証を復習する。
	到達目標	経絡弁証について理解できる。	
10	授業内容	経絡弁証2(手の三陽)	経絡弁証を復習する。
	到達目標	経絡弁証について理解できる。	
11	授業内容	経絡弁証3(足の三陰)	経絡弁証を復習する。
	到達目標	経絡弁証について理解できる。	
12	授業内容	経絡弁証4(足の三陽)	経絡弁証を復習する。
	到達目標	経絡弁証について理解できる。	
13	授業内容	経絡弁証5(まとめ)	経絡弁証を復習する。
	到達目標	経絡弁証について理解できる。	
14	授業内容	まとめ 本学習の内容について確認をする。	本学習の内容について確認・復習をする。
	到達目標	本学習の内容について確認をする。	
15	授業内容	まとめ(評価、解説を含む) 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認・復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学実習Ⅰ	単位数	1単位	授業形態	実習	実務経験の有無	有
		時間数	30時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	中本 琴音 宮城 凌央	E-mail		実施時期	2年 前期		

授業の目的

臨床医学論と東洋医学臨床論で学んだ疾患・症候に対する診察法を行います。臨床実習Ⅳに向け、臨床で多く遭遇する疾患に対する基本的な医療情報の収集、触診、検査などの技術を修得することを目的とします。整形外科疾患などに対する鍼灸治療の技術を身に付けます。

到達目標

- ①患者に必要な徒手検査が選択でき、安全に実施できる。
- ②整形外科疾患に対する鍼灸治療が安全に実施できる。

授業の内容

頸部・上肢などの各種検査のメカニズム、各種検査実技、検査所見の理解および記載方法などを学習していきます。本授業では、検査実技を確実に習得するため、反復することに重点を置きます。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

成績評価

1. 受験資格について総授業時間数の4/5以上が必要です。
2. 成績評価について実技試験にて60点以上で合格とします。

テキスト

『New 鍼灸診療コアテキスト』 明治東洋医学院編集

参考文献・図書

臨床医学各論、臨床医学総論（医歯薬出版）、臨床医学論、東洋医学臨床論の授業資料など

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション、問診・視診・徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
2	授業内容	頸部の診察①徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
3	授業内容	頸部の診察②徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
4	授業内容	頸部の診察③徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
5	授業内容	頸部の診察④徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
6	授業内容	肩部の診察①徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
7	授業内容	肩部の診察②徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
8	授業内容	肩部の診察③徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
9	授業内容	肩部の診察④徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
10	授業内容	上肢の診察①徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
11	授業内容	上肢の診察②徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
12	授業内容	上肢の診察③徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
13	授業内容	上肢神経所見①徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
14	授業内容	上肢神経所見②・まとめ	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学実習Ⅱ	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	中本 琴音 宮城 凌央	E-mail		実施時期	2 年 前期		

授業の目的	
臨床医学論と東洋医学臨床論で学んだ疾患・症候に対する診察法を行います。臨床実習Ⅳに向け、臨床で多く遭遇する疾患に対する基本的な医療情報の収集、触診、検査などの技術を修得することを目的とします。整形外科疾患などに対する鍼灸治療の技術を身に付けます。	
到達目標	
①患者に必要な徒手検査が選択でき、安全に実施できる。 ②整形外科疾患に対する鍼灸治療が安全に実施できる。	
授業の内容	
腰下肢・膝の各種検査のメカニズム、各種検査実技、検査所見の理解および記載方法などを学習していきます。本授業では、検査実技を確実に習得するため、反復することに重点を置きます。	
注意事項	
※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、 無断での途中退出や早退は「欠席」となります。 注意してください。 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。	
成績評価	
1. 受験資格について総授業時間数の 4 / 5 以上が必要です。 2. 成績評価について実技試験にて 60 点以上で合格とします。	
テキスト	
『New 鍼灸診療コアテキスト 』 明治東洋医学院編集	
参考文献・図書	
臨床医学各論、臨床医学総論（医歯薬出版）、臨床医学論、東洋医学臨床論の授業資料など	
オフィスアワーについて	
曜日： 時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。	
授業計画	授業時間外学習（予習・復習）

【鍼灸学科授業シラバス】

1	授業内容	オリエンテーション、	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
2	授業内容	診察手順について：問診・視診・徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
3	授業内容	腰下肢の診察①徒手検査	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
4	授業内容	腰下肢の診察②徒手検査	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
5	授業内容	腰鑑別の診察③徒手検査	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
6	授業内容	腰鑑別の診察④徒手検査	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
7	授業内容	下肢神経所見⑤徒手検査	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
8	授業内容	腰部の治療①筋膜性腰痛など	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
9	授業内容	腰部の治療②椎間関節性腰痛など	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
10	授業内容	膝Ⅰの診察①	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
11	授業内容	膝Ⅰの診察②	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
12	授業内容	膝Ⅱの診察①	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
13	授業内容	膝Ⅱの診察①	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
14	授業内容	下肢痛の診察～治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学実習Ⅲ	単位数	1単位	授業形態	実習	実務経験の有無	有
		時間数	30時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	畑中 仁美 中島 康敦 森川 由紀子	E-mail		実施時期	2年 後期		

授業の目的

臨床医学論と東洋医学臨床論で学んだ疾患・症候に対する診察法を行います。臨床実習Ⅳに向け、臨床で多く遭遇する疾患に対する基本的な医療情報の収集、触診、検査などの技術を修得することを目的とします。
中枢神経系の疾患などに対する鍼灸治療の技術を身に付けます。

到達目標

- ①患者に必要な徒手検査が選択でき、安全に実施できる。
- ②中枢神経系疾患に対する鍼灸治療が安全に実施できる。

授業の内容

中枢神経などの各種検査のメカニズム、各種検査実技、検査所見の理解および記載方法などを学習していきます。本授業では、検査実技を確実に習得するため、反復することに重点を置きます。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

1. 受験資格について総授業時間数の4/5以上が必要です。
2. 成績評価について実技試験にて60点以上で合格とします。

テキスト

『New 鍼灸診療コアテキスト』 明治東洋医学院編集

参考文献・図書

臨床医学各論、臨床医学総論（医歯薬出版）、臨床医学論、東洋医学臨床論の授業資料など

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション、問診・視診・徒手検査・治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
2	授業内容	血圧測定①	検査手技を復習する。
	到達目標	血圧の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
3	授業内容	血圧測定②	検査手技を復習する。
	到達目標	血圧の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
4	授業内容	腹部の診察：視診、聴診、打診、触診	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
5	授業内容	胸部の診察：視診、聴診、打診、触診	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
6	授業内容	中枢神経系の検査	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
7	授業内容	腹痛に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
8	授業内容	咳、痰に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
9	授業内容	運動麻痺に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
10	授業内容	めまい、耳鳴り難聴に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
11	授業内容	頭痛に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
12	授業内容	医療面接から病態把握、鍼灸治療①	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
13	授業内容	医療面接から病態把握、鍼灸治療②	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
14	授業内容	医療面接から病態把握、鍼灸治療③・まとめ	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学実習Ⅳ	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	畑中 仁美 中島 康敦 森川 由紀子	E-mail		実施時期	2 年 後期		

授業の目的

臨床医学論と東洋医学臨床論で学んだ疾患・症候に対する診察法を行います。臨床実習Ⅳに向け、臨床で多く遭遇する疾患に対する基本的な医療情報の収集、触診、検査などの技術を修得することを目的とします。中枢神経系の疾患などに対する鍼灸治療の技術を身に付けます。

到達目標

- ①患者に必要な徒手検査が選択でき、安全に実施できる。
- ②中枢神経系疾患に対する鍼灸治療が安全に実施できる。

授業の内容

中枢神経などの各種検査のメカニズム、各種検査実技、検査所見の理解および記載方法などを学習していきます。本授業では、検査実技を確実に習得するため、反復することに重点を置きます。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。
 ※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

1. 受験資格について総授業時間数の 4/5 以上が必要です。
2. 成績評価について実技試験にて 60 点以上で合格とします。

テキスト

『New 鍼灸診療コアテキスト』 明治東洋医学院編集

参考文献・図書

臨床医学各論、臨床医学総論（医歯薬出版）、臨床医学論、東洋医学臨床論の授業資料など

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。質問はメールでも対応します。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション、診察手順（腹部の診察ほか）	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
2	授業内容	診察手順（胸部の診察ほか）	検査手技を復習する。
	到達目標	血圧の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
3	授業内容	診察手順（中枢神経系の診察ほか）	検査手技を復習する。
	到達目標	血圧の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
4	授業内容	頭痛に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
5	授業内容	排尿障害に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
6	授業内容	脳血管障害後遺症に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
7	授業内容	めまいに対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
8	授業内容	耳鳴り・難聴に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
9	授業内容	気管支喘息（咳と痰）に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
10	授業内容	胃痛に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
11	授業内容	下痢・便秘に対する鍼灸治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
12	授業内容	パーキンソン病に対する治療	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
13	授業内容	まとめ①	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
14	授業内容	まとめ②	検査手技を復習する。
	到達目標	検査の意義を理解し、正しい検査手技を修得する	
15	授業内容	まとめ（評価、解説を含む） 本学習の内容について再度確認する。	本学習の内容について確認および復習をする。
	到達目標	本学習の内容について修得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学実習Ⅴ-1	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験の有無	㊦・無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	竹口 太陽 谷口 剛志 小田原 崇文	E-mail		実施時期	3年 前期		

授業の目的							
<p>鍼灸臨床で遭遇する可能性の高い運動器疾患について、西洋医学・東洋医学の両面から問診、身体診察、病態把握、治療までの流れを修得することを目的とします。</p> <p>また、卒業認定実技試験の内容とも関連するため、基礎的な部分は確実に身につけることを目指します。</p>							
到達目標							
<p>取り上げる運動器疾患について、西洋医学的な必要な診察、病態の確認、適切な治療ができること、並びに東洋医学的な四診（望・聞・問・切）、病証の確認、適切な治療ができることを到達目標とします。</p>							
授業の内容							
<p>毎回、診察記録用紙に問診でのキーワード、必要な検査名、西洋医学的病態把握と東洋医学的病証を記載し、提出していただきます。特に、徒手検査、脈診・舌診・経穴の触診についてはしっかり復習して授業に臨んでください。</p>							
注意事項							
<p>※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。</p> <p>※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。</p> <p>※実技室使用における注意事項を厳守しない場合は減点とする。</p>							
成績評価							
<p>受験資格について総授業時間数の4/5以上が必要です。</p> <p>成績評価については期末試験にて60点以上で合格とします。</p> <p>※提出物の提出がない場合は20点を限度に減点します。</p>							
テキスト							
<p>新版 東洋医学臨床論（はりきゆう編） 南江堂 臨床医学各論 医道の日本社 臨床医学授業資料、東洋医学実習授業資料、コアテキスト など</p>							
参考文献・図書							
<p>オフィスアワーについて</p> <p>曜日：水曜日 時間：16時 30分～ 19時 30分</p>							
授業時間外の学習について							
<p>授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。</p>							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション ロールプレイングによる授業内容の確認	必要な診察項目の復習
	到達目標	問診～治療までの流れを理解できる	
2	授業内容	頸肩腕痛の東洋医学的診察、病態把握、治療	脈・舌所見～病証の予習・復習
	到達目標	キーワード、必要な検査、病態把握、治療部位を理解できる	
3	授業内容	上肢痛の西洋医学的診察、病態把握、治療	検査の選択、手技、疾患の特徴の予習・復習
	到達目標	キーワード、脈・舌所見、病証、治療方法が理解できる	
4	授業内容	上肢痛の東洋医学的診察、病証の確認、治療	脈・舌所見～病証の予習・復習
	到達目標	キーワード、必要な検査、病態把握、治療部位を理解できる	
5	授業内容	肩痛の西洋医学的診察、病態把握、治療	検査の選択、手技、疾患の特徴の予習・復習
	到達目標	キーワード、脈・舌所見、病証、治療方法が理解できる	
6	授業内容	肩痛の東洋医学的診察、病証の確認、治療	脈・舌所見～病証の予習・復習
	到達目標	キーワード、必要な検査、病態把握、治療部位を理解できる	
7	授業内容	腰痛の西洋医学的診察、病態把握、治療	検査の選択、手技、疾患の特徴の予習・復習
	到達目標	キーワード、脈・舌所見、病証、治療方法が理解できる	
8	授業内容	腰痛の東洋医学的診察、病証の確認、治療	脈・舌所見～病証の予習・復習
	到達目標	キーワード、必要な検査、病態把握、治療部位を理解できる	
9	授業内容	腰・下肢痛の西洋医学的診察、病態把握、治療	検査の選択、手技、疾患の特徴の予習・復習
	到達目標	キーワード、脈・舌所見、病証、治療方法が理解できる	
10	授業内容	腰・下肢痛の東洋医学的診察、病証の確認、治療	脈・舌所見～病証の予習・復習
	到達目標	キーワード、必要な検査、病態把握、治療部位を理解できる	
11	授業内容	膝痛の西洋医学的診察、病態把握、治療	検査の選択、手技、疾患の特徴の予習・復習
	到達目標	キーワード、脈・舌所見、病証、治療方法が理解できる	
12	授業内容	膝痛の東洋医学的診察、病証の確認、治療	脈・舌所見～病証の予習・復習
	到達目標	キーワード、必要な検査、病態把握、治療部位を理解できる	
13	授業内容	総復習 1	検査の選択、手技、疾患の特徴の予習・復習 脈・舌所見～病証の予習・復習
	到達目標	キーワード、脈・舌所見、病証、治療方法が理解できる	
14	授業内容	総復習 2	検査の選択、手技、疾患の特徴の予習・復習 脈・舌所見～病証の予習・復習
	到達目標	診察から治療までの流れを実施することができる	
15	授業内容	まとめ	検査の選択、手技、疾患の特徴の予習・復習 脈・舌所見～病証の予習・復習
	到達目標	診察から治療までの流れを実施することができる	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学実習V-2	単位数	1単位	授業形態	実習	実務経験の有無	㊦・無
		時間数	30時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	竹口 太陽 森川 由紀子 小田原 崇文	E-mail		実施時期	3年 後期		
授業の目的							
<p>本授業は、1～3年次の総まとめの科目です。</p> <p>『医療面接をもとに、検査(鑑別・除外)、視診、触診情報から病態を把握し適切な治療が行える』</p> <p>これまでに修得した知識を活かし、現代・東洋医学両観点からの診察・病態把握・治療方針の組み立てを行います。本科目では現代・東洋医学両観点からの鍼灸診療(医療面接・診察・治療)ができるようになることを目的とします。</p>							
到達目標							
現代・東洋医学両観点からの診察・病態把握・治療方針の組み立てを実施することができるようになる							
授業の内容							
<p>本授業の内容は鍼灸の臨床現場で多く遭遇する症状に対応できるように考えられています。授業の方法は実習形式となり、鍼灸臨床学で実施した疾患に必要な診察法、また病態把握に基づいた治療を行います。</p> <p>毎回の授業の進行方法…ペアもしくは3人一組に分かれ各疾患に対しての一連の診療(医療面接・検査・病態把握・治療)35分×2クール、後半約の残り時間で症例の解説が実施されます。</p> <p>なお、この科目は、教員の実務経験に基づいた内容で授業を行います。</p>							
注意事項							
<p>※1 鍼灸診療コアテキストを準備しておくこと。</p> <p>※2 遅刻・欠席には十分注意して下さい。無断での途中退室は欠席扱いとします。また、やむを得ず授業中に退室する場合は必ず教員の許可を取ってください。</p> <p>※3 今年度、実施される総合実技試験の出題範囲となりますので授業資料は大切に保存してください。</p>							
成績評価							
<p>4/5以上の出席が必要です。欠席時間についてはくれぐれも注意してください。</p> <p>総合実技試験で評価を行います。なお、総合実技試験で実施される医療面接、現代医学的検査、東洋医学的検査、治療それぞれ60%以上で単位認定とします。</p>							
テキスト							
<p>鍼灸診療コアテキスト、</p> <p>「臨床医学各論 第2版」東洋療法学校協会編、「東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」東洋療法学校協会編</p>							
参考文献・図書							
<p>「標準整形外科学 第10版」医学書院 「新病態生理できた内科学」医学教育出版社</p>							
オフィスアワーについて							
随時							
授業時間外の学習について							
<p>授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習(50分程度)を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。</p>							

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 基礎実技（はり・きゅう）の練習	基礎実技（はり・きゅう）について復習しておく。
	到達目標	基礎実技（はり・きゅう）を行うことができる。	
2	授業内容	頸肩部痛について	頸肩部痛の治療について復習しておく。
	到達目標	頸肩部痛についての治療を行うことができる。	
3	授業内容	肩痛について	肩痛の治療について復習しておく。
	到達目標	肩痛についての治療を行うことができる。	
4	授業内容	上肢の痛み・痺れについて	上肢の痛み・痺れの治療について復習しておく。
	到達目標	上肢の痛み・痺れについての治療を行うことができる。	
5	授業内容	腰痛について	腰痛の治療について復習しておく。
	到達目標	腰痛についての治療を行うことができる。	
6	授業内容	腰下肢痛み・痺れについて	腰下肢痛み・痺れの治療について復習しておく。
	到達目標	腰下肢痛み・痺れについての治療を行うことができる。	
7	授業内容	膝痛について	膝痛の治療について復習しておく。
	到達目標	膝痛についての治療を行うことができる。	
8	授業内容	頻尿について	頻尿の治療について復習しておく。
	到達目標	頻尿についての治療を行うことができる。	
9	授業内容	腹痛について	腹痛の治療について復習しておく。
	到達目標	腹痛についての治療を行うことができる。	
10	授業内容	咳（喘鳴・呼吸困難）について	咳（喘鳴・呼吸困難）の治療について復習しておく。
	到達目標	咳（喘鳴・呼吸困難）についての治療を行うことができる。	
11	授業内容	耳鳴・難聴について	耳鳴・難聴の治療について復習しておく。
	到達目標	耳鳴・難聴についての治療を行うことができる。	
12	授業内容	めまいについて	めまいの治療について復習しておく。
	到達目標	めまいについての治療を行うことができる。	
13	授業内容	頭痛について	頭痛の治療について復習しておく。
	到達目標	頭痛についての治療を行うことができる。	
14	授業内容	運動麻痺について	運動麻痺の治療について復習しておく。
	到達目標	運動麻痺についての治療を行うことができる。	
15	授業内容	まとめ	本科目で復習した内容の治療について復習しておく。
	到達目標	本科目で復習した内容の行うことができる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸実習応用 (健美鍼灸実習)	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験の 有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	森川 由紀子	E-mail		実施時期	3 年 後期		

授業の目的

臨床鍼灸学応用Ⅰ・Ⅱで美容鍼灸領域の講義がなされました。この科目はその内容に則した実技を実践し、技術の修得を目的とします。鍼灸師として美容・アンチエイジングを希望される患者様、お客様に対し、臨床で実践していくためのノウハウを学ぶことを目標とします。美容・アンチエイジングを目的とした方々に対する、接遇、問診、検査、治療、指導、その他鍼灸臨床とコラボレーション可能な療法を含め実習を行います。

到達目標

鍼灸師として美容・アンチエイジングを希望される患者様、お客様に対し、安全に施術が行え、安心して施術を受けて頂けるよう、また一定の効果を引き出せるよう、一定の技術の修得を目標とします。

授業の内容

美容鍼灸を臨床で行っていく上で必要な知識と診療の一連の流れを修得して頂く内容となっています。美容鍼灸を臨床で実践するための、美容基礎知識、また診療する際の注意事項（予約の対応から、問診、施術、治療後指導など）、美容鍼灸専用カルテ記載の一部、全身の気血を巡らすための全身治療、症状による施術方法、美容鍼灸を行う上でコラボレーション可能なアロマセラピー、エステティックの一部、ホスピタリティスキルについて学習、実習を行います。なお、この科目は、教員の実務経験に基づいた内容で授業を行います。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
 ※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

成績は、実技で実施した診察および主に常用穴に対する鍼灸治療の技術および口頭試問により確認を行い評価します。また、授業中の態度も評価します。

テキスト

配布プリント『美容鍼灸テキストノート』

参考文献・図書

美容の医学 美容皮膚科学事典 監修 朝田 康夫
 美容皮膚科学 改訂2版 日本美容皮膚科学会監修 南山堂

オフィスアワーについて

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1 2	授業内容	オリエンテーション 美容鍼灸の現状（全体の概要・復習）・刺鍼の練習（押入法）	自分の身体に押入刺鍼の練習を行う。
	到達目標	美容鍼灸の現状を知り、安全に押入刺鍼の練習ができる。	
3 4	授業内容	美容知識 1（美容理論復習）・刺鍼練習、頭顔面部刺鍼練習	頭部の手技の練習を行う。
	到達目標	美容の基礎知識の理解、刺鍼練習おとび頭部の手技ができる。	
5 6	授業内容	美容知識 2（東洋医学理論）・頭顔面頸部刺鍼練習	頭部の手技の練習と共に、頭顔面頸部の刺鍼の流れを復習する。
	到達目標	東洋医学理論を学び、頭顔面頸部の刺鍼練習が安全にできる。	
7 8	授業内容	美容知識 3（症状 1）・全身施術（基礎穴）の全体の流れ	症状について復習をするとともに、全身施術の流れについて復習する。
	到達目標	症状について理解する。全身施術の流れについて理解する。	
9 10	授業内容	美容知識 4（症状 2）・症状別刺鍼練習（しみ、しわ）	症状についての復習を行う。 カルテの使用の仕方を予習する。
	到達目標	症状に対しての施術が行える。	
11 12	授業内容	美容知識 5（体質分類）・全身施術練習（カルテ使用）	実際の流れに対する復習を行う。
	到達目標	体質分類について知り、カルテを使用した実際の流れを行うことができる。	
13 14	授業内容	まとめ、全身施術練習（カルテ使用）	実際の流れに対する復習を行う。
	到達目標	カルテを使用した実際の流れを行うことができる。	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	できなかったところの復習をおこなう。
	到達目標	全体的な施術の流れが安全に・スムーズに行うことができる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸実習応用 (健康スポーツ鍼灸実習)	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務（谷口）・鍼灸院開業（安東）					
担当者	谷口 剛志 安東 由仁	E-mail		実施時期	3 年 前期		

授業の目的

鍼灸師として大切なことは、業として行う“はり”“や”きゅう“をまずは自らが体感し、体感したことを技術として表現して結果を出すことです。

スポーツの現場ではより結果が求められます。

①鍼灸治療の適否が判断できる力（診察力）、②症状に合わせたオーダーメイドの治療ができる力（治療力）、③個人の特性に合わせた生活・運動指導ができる力（指導力）が必要です。また、怪我が起こってから対応するだけでなく、いかに怪我をさせないか？という予防の視点もこれからの重要なテーマになってきます。これらを修得して、鍼灸師としてスポーツに貢献することを目的とします。

到達目標

あらゆるスポーツ選手やスポーツ傷害に鍼灸を用いるための診察法、治療技術、指導力を修得する。

授業の内容

本授業では、選手の声を実習の Case として取り上げ、それぞれのテーマに対してどのようにアプローチをしていくのか？をみんなで考えながら授業を進めていきます。また、予防の視点に立ったアプローチ方法も紹介します。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※実技室使用における注意事項を厳守しない場合は減点とする。

受験資格は授業時間数の 4 / 5 以上の出席とする。

成績評価

1. 受験資格について総授業時間数の 4 / 5 以上 が必要です。
2. 成績評価について実技試験にて 60 点以上で合格とします。

テキスト

参考文献・図書

スポーツ鍼灸の実際 最新の理論と実践 医道の日本社 福林徹 宮本俊和
復帰を目指すスポーツ整形外科 メジカルビュー 宗田大

オフィスアワーについて

曜日：時間が空いていれば随時可能（但し、月・水・金）、e-mail でも対応可

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション Conditioning 姿勢・動作からの考察、治療	スポーツ鍼灸の考え方を復習する
	到達目標	Conditioningについて確認し、姿勢・動作の評価を理解する	
2	授業内容	姿勢・動作からの評価を実践し、治療法を考える	診察法と治療法を考察する
	到達目標	姿勢・動作から評価することができ、治療法を考えられる	
3	授業内容	Case1 腰部のだるさ、腰下肢の疼痛・しびれを訴える場合 評価、鍼灸治療と運動指導	診察法と治療法を予習・復習する
	到達目標	腰部の疾患に対する診察法と治療法を修得する	
4	授業内容	腰痛を訴える選手に対する診察と治療、運動指導について考える	診察法と治療法を復習する
	到達目標	腰部の疾患に対する診察法と治療・運動指導を考えられる	
5	授業内容	Case2 鼠径部の違和感、疼痛を訴える場合 評価、鍼灸治療と運動指導	治療の目的と手技を復習する
	到達目標	鼠径部の痛みに対する考え方を理解する	
6	授業内容	鼠径部の違和感、疼痛を訴える選手の診察と治療について考えることができる	治療の目的と手技を復習する
	到達目標	鼠径部の痛みに対する診察と治療を考えることができる	
7	授業内容	Case3 大腿部の疼痛を訴える場合	治療の目的と手技を復習する
	到達目標	大腿部痛に対する診察法と治療、運動指導を修得する	
8	授業内容	Case4 膝関節の腫脹、可動域制限、疼痛を訴える場合 評価、鍼灸治療と運動指導	治療の目的と手技を復習する
	到達目標	膝痛に対する診察法と治療、運動指導を修得する	
9	授業内容	Case5 膝関節の違和感、疼痛を訴える場合 評価、鍼灸治療と運動指導	治療の目的と手技を復習する
	到達目標	膝痛に対する診察法と治療、運動指導を修得する	
10	授業内容	Case5 下腿部内側に痛みを訴える場合 評価、鍼灸治療と運動指導	治療の目的と手技を復習する
	到達目標	下腿内側痛に対する診察法と治療、運動指導を修得する	
11	授業内容	Case6 足関節の腫脹、疼痛、可動域制限を訴える場合 評価、鍼灸治療と運動指導	治療の目的と手技を復習する
	到達目標	足関節痛に対する診察法と治療、運動指導を修得する	
12	授業内容	Case7 肩関節の疼痛を訴える場合 評価、鍼灸治療と運動指導	治療の目的と手技を復習する
	到達目標	肩関節痛に対する診察法と治療、運動指導を修得する	
13	授業内容	スポーツ選手に対する東洋医学的診察と治療①	治療の目的と手技を復習する
	到達目標	東洋医学的診察と治療を習得する	
14	授業内容	スポーツ選手に対する東洋医学的診察と治療②	治療の目的と手技を復習する
	到達目標	それぞれの疾患に対する特異的診察と治療を復習する	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標	臨床的に鍼灸を用いる基本手技を修得する	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床鍼灸学応用実習 (医療連携鍼灸論)	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験の有無	有
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	角谷 英治	E-mail		実施時期	3年 後期		

授業の目的

現代の日本社会における“はり師・きゅう師”の役割には、現代医学を補完する役割があり、そのためには医療連携は必要です。鍼灸医療を取り巻く様々な医療環境、エビデンスに基づく医療などの基礎知識の修得とともにはり・きゅう治療がどのように医療連携(補完医療)するのかを学び考えます。
本授業は、医療連携が必要な疾患に対するエビデンスに基づく鍼灸治療の実技を修得する。

到達目標

- ・ 医療連携が必要な疾患に対する鍼灸治療目的が説明できる。
- ・ 医療連携が必要な疾患に対する鍼灸治療の作用機序が説明できる。
- ・ 医療連携が必要な疾患に対するエビデンスに基づく鍼灸治療の実技できる。

授業の内容

- ①医療連携が必要な疾患に対する鍼灸治療目的、作用機序、治療方法の説明を行う。
- ②医療連携が必要な疾患に対する鍼灸治療の実技を行う。

注意事項

※医療人として相応しい人間性(知識・技能)の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。
※教室は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、居心地の良い教室空間の構築を期待します。
※受験資格：本授業 3/4 以上の出席。

成績評価

評価は、①授業時間中の実技、②実技試験により行う

テキスト

自作の資料

参考文献・図書

- ①2年生までに学修した授業資料、②国家試験攻略テキスト、③病気がみえるシリーズ など

オフィスアワーについて

曜日：不定期
時間：事前にメールにてご連絡ください。

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習(50分程度)を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	食欲不振	食欲不振の治療目的、方法、安全性について予習する。
	到達目標	食欲不振に対するエビデンスに基づく鍼灸治療が実践できる。	
2	授業内容	便秘異常	便秘異常の治療目的、方法、安全性について予習する。
	到達目標	便秘異常に対するエビデンスに基づく鍼灸治療が実践できる。	
3	授業内容	悪心・嘔吐	悪心・嘔吐の治療目的、方法、安全性について予習する。
	到達目標	悪心・嘔吐に対するエビデンスに基づく鍼灸治療が実践できる。	
4	授業内容	呼吸困難・慢性閉塞性肺疾患(COPD)	呼吸困難・慢性閉塞性肺疾患(COPD)の治療目的、方法、安全性について予習する。
	到達目標	COPDに対するエビデンスに基づく鍼灸治療が実践できる。	
5	授業内容	肥満／糖尿病	肥満／糖尿病の治療目的、方法、安全性について予習する。
	到達目標	肥満／糖尿病に対するエビデンスに基づく鍼灸治療が実践できる。	
6	授業内容	腰部脊柱管狭窄症	腰部脊柱管狭窄症の治療目的、方法、安全性について予習する。
	到達目標	腰部脊柱管狭窄症に対するエビデンスに基づく鍼灸治療が実践できる。	
7	授業内容	末梢神経障害	末梢神経障害の治療目的、方法、安全性について予習する。
	到達目標	末梢神経障害に対するエビデンスに基づく鍼灸治療が実践できる。	
8	授業内容	顔面神経麻痺	顔面神経麻痺の治療目的、方法、安全性について予習する。
	到達目標	排尿障害に対するエビデンスに基づく鍼灸治療が実践できる。	
9	授業内容	末梢循環障害／ASO	末梢循環障害／ASO の治療目的、方法、安全性について予習する。
	到達目標	末梢循環障害／ASO に対するエビデンスに基づく鍼灸治療が実践できる。	
10	授業内容	排尿障害	排尿障害の治療目的、方法、安全性について予習する。
	到達目標	排尿障害に対するエビデンスに基づく鍼灸治療が実践できる。	
11	授業内容	認知症	認知症の治療目的、方法、安全性について予習する。
	到達目標	認知症に対するエビデンスに基づく鍼灸治療が実践できる。	
12	授業内容	パーキンソン病	パーキンソン病の治療目的、方法、安全性について予習する。
	到達目標	パーキンソン病に対するエビデンスに基づく鍼灸治療が実践できる。	
13	授業内容	うつ病	うつ病の治療目的、方法、安全性について予習する。
	到達目標	うつ病に対するエビデンスに基づく鍼灸治療が実践できる。	
14	授業内容	線維筋痛症	線維筋痛症の治療目的、方法、安全性について予習する。
	到達目標	線維筋痛症に対するエビデンスに基づく鍼灸治療が実践できる。	
15	授業内容	まとめ・評価	
	到達目標	実技の総復習	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床実習Ⅱ	単位数	1単位	授業形態	実習	実務経験の有無	㊟・無
		時間数	45時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所鍼灸科勤務					
担当者	谷口 剛志	E-mail		実施時期	2年		

授業の目的

臨床実習Ⅱは、鍼灸治療の実際を見て学びます。患者を迎え入れる準備、心構え、患者とのコミュニケーションと医療情報の聴取、様々な検査から病態把握、治療法まで、一連の流れの中でどのように考えてどのように行動しているか、見て考えることを目的としています。

臨床実習Ⅰで考えた目標をより明確にし、今後の学習意欲を高めます。

到達目標

実習を通して、以下の5点を到達目標とします。

1. 鍼灸師の医療コミュニケーション、接遇について考えることができる。
2. 患者の疾患、愁訴に対する検査の意義について考えることができる。
3. 病態把握の考え方について理解し、自分なりに考えることができる。
4. 治療方針と治療方法の選択について理解し、自分なりに考えることができる。
5. 実習を振り返り、今後の課題を明確にすること出来る。

授業の内容

鍼灸治療の現場に出て、その実際を見学する。実習先の指導者に従い、実習を行う。

注意事項

1. 現場では患者の前に出て見学を行います。
医療人として、実習生として相応しい態度、身だしなみで実習に臨んでください。
2. 患者、指導者への挨拶は積極的に行い、気遣いを心がけてください。
3. 実習先では指導者に従って積極的に実習を行ってください。
4. 実習先で得た個人情報には守秘義務があります。絶対に漏らさないでください。

成績評価

実習先での現場の評価と提出されたレポート等により評価します。

評価の内容・基準は事前に公開します。

実習時間外の学習について

実習の内容について、必ずその日のうちに振り返り、レポートの作成など、記憶にとどめるように努力すること。その際に、翌日の行動目標についても確認して実りある実習としてください。

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床実習Ⅲ	単位数	1単位	授業形態	実習	実務経験の有無	㊦・無
		時間数	45時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所鍼灸科勤務					
担当者	谷口 剛志	E-mail		実施時期	2年		

授業の目的

臨床実習Ⅲでは、鍼灸治療の現場で診療補助を行います。臨床実習Ⅱで学んだ、患者を迎え入れる準備、心構え、患者とのコミュニケーションと医療情報の聴取、検査まで、一連の流れを自ら実施し、その病態を考える力をつけることを目的としています。ここで課題を明確にし、それを授業の中で達成できるように努力してください。3年生で実施する、自ら治療まで実践する臨床実習Ⅳにつながる実習となります。

到達目標

- 実習を通して、以下の5点を到達目標とします。
1. 鍼灸師の医療コミュニケーション、接遇について考えて実践することが出来る。
 2. 患者の疾患、愁訴に対する検査を選択し、適切に実施することが出来る。
 3. 病態把握について自分なりに考えることが出来る。
 4. 治療方針と治療方法の選択について自分なりに考えることが出来る。
 5. 実習を振り返り、今後の課題を明確にすること出来る。

授業の内容

鍼灸治療の現場に出て、診療を補助し、病態と治療について考える力をつけます。
実習先の指導者に従い、実習を行います。

注意事項

1. 現場では実際の患者に対して医療面接や検査を行います。
医療人として、実習生として相応しい態度、身だしなみで実習に臨んでください。
2. 患者、指導者への挨拶は積極的に行い、気遣いを心がけてください。
3. 実習先では指導者に従って積極的に実習を行ってください。
4. 実習先で得た個人情報には守秘義務があります。絶対に漏らさないでください。

成績評価

実習先での現場の評価と提出されたレポート等により評価します。
評価の内容・基準は事前に公開します。

実習時間外の学習について

実習の内容について、必ずその日のうちに振り返り、レポートの作成など、記憶にとどめるように努力すること。その際に、翌日の行動目標についても確認して実りある実習としてください。

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	臨床実習Ⅳ	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験 の有無	有・無
		時間数	45 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	谷口 剛志	E-mail		実施時期	3 年		

授業の目的

臨床実習Ⅳでは、鍼灸治療を現場で自ら実践します。患者を迎え入れる準備、心構え、患者とのコミュニケーションと医療情報の聴取、検査、病態把握、治療方針の決定と鍼灸治療まで、一連の流れを自ら実践し、臨床能力を高めること目的としています。毎回課題を明確にし、次の実習で達成できるように努力してください。これまで学んだ知識と技術を実践できる、集大成となる実習です。

到達目標

実習を通して、以下の 8 点を到達目標とします。

1. 患者の苦痛を理解し、思いやりを持った態度で接するとともに、患者とのコミュニケーションをはかることができる。
2. 問診項目を理解し、適切な医療面接を通して現代・東洋医学的病態把握に必要な医療情報の聴取を行うことができる。
3. 医療面接を通じて得られた医療情報より、主訴に対して現代・東洋医学的病態把握に必要な理学検査、東洋医学的診察(俞・募・五行穴診、経脈の擦診)を適切に行うことができる。
4. 医療面接、検査、東洋医学的診察から得られた情報を基に適切な現代・東洋医学的病態把握を行うことができる。
5. 現代・東洋医学的病態把握に基づいて適切な治療方針を立て、適切な治療部位・経穴を選択することができる。
6. 治療方針に基づいて適切に鍼灸治療が実施できる。
7. 診療した患者の診療内容を適切にカルテに記載できる。
8. 実習ならびにレポート作成を通じて鍼灸師になるために不足している知識、技術、態度を知り、今後の学習への意欲、及び人格が形成できる。

授業の内容

鍼灸治療の現場に出て、診療を実践し、現場で臨機応変に対応できる臨床力を養います。

実習先の指導者に従い、実習を行います。

コロナ蔓延で奥志摩実習が実施できない場合は、附属治療所にて奥志摩実習に相当する実習を行います。

注意事項

1. 現場では実際の患者に対して医療面接、検査から治療までを行います。
医療人として、実習生として相応しい態度、身だしなみで実習に臨んでください。
2. 患者、指導者への挨拶は積極的に行い、気遣いを心がけてください。
3. 実習先では指導者に従って積極的に実習を行ってください。
4. 実習先で得た個人情報には守秘義務があります。絶対に漏らさないでください。
5. そのほか、実施要領に記載された項目を確認してください。

成績評価

実習先での現場の評価と提出されたポートフォリオ、レポート等により評価します。

評価の内容・基準は事前に公開します。

実習時間外の学習について

実習の内容について、必ずその日のうちに振り返り、レポートの作成など、記憶にとどめるように努力すること。その際に、翌日の行動目標についても確認して実りある実習としてください。

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	総合鍼灸学Ⅰ	単位数	1単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有・無
		時間数	30時間				
実務経験内容							
担当者	小田原 隆文 田中 健吾	E-mail		実施時期	3年 後期		

授業の目的

国家試験の「解剖学」「経絡経穴」の科目について、問題演習により理解を深め、試験問題に対応できる能力の向上を目的とします。

到達目標

国家試験における解剖学、経絡経穴の内容を理解する。

授業の内容

国家試験対策授業

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

授業出席時間が授業時間数の2/3に満たない場合には期末試験の受験資格がなくなる。

欠席の超過分の補講は一切行わないので注意すること。

評価対象

①出席・受講態度（無断途中退出等）②期末試験

テキスト

医学演習テキスト上下巻

参考文献・図書

- 『プロメテウス解剖学アトラス』 医学書院
- 『解剖学講義』 南山堂
- 『生理学テキスト第7版』 文光堂
- 『イラストでまなぶ生理学第2版』 医学書院
- 『人体の正常構造と機能』 日本医事新報社
- 『健康と病気のしくみがわかる 解剖生理学』 西村書店
- 『経絡経穴学概論』 医歯薬出版

オフィスアワーについて

曜日：時間が空いていれば随時可能、e-mailでも対応可

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	問題演習① 細胞・組織	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上記の内容を説明でき、問題を解くことができる	
2	授業内容	問題演習② 骨	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上記の内容を説明でき、問題を解くことができる	
3	授業内容	問題演習③ 筋	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上記の内容を説明でき、問題を解くことができる	
4	授業内容	問題演習④ 循環	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上記の内容を説明でき、問題を解くことができる	
5	授業内容	問題演習⑤ 中枢神経、末梢神経	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上記の内容を説明でき、問題を解くことができる	
6	授業内容	問題演習⑥ 感覚器、呼吸器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上記の内容を説明でき、問題を解くことができる	
7	授業内容	問題演習⑦ 消化器、内分泌器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上記の内容を説明でき、問題を解くことができる	
8	授業内容	問題演習⑧ 泌尿器・生殖器	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上記の内容を説明でき、問題を解くことができる	
9	授業内容	問題演習⑨ 流注・接続部	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上記の内容を説明でき、問題を解くことができる	
10	授業内容	問題演習⑩ 骨度法	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上記の内容を説明でき、問題を解くことができる	
11	授業内容	問題演習⑪ 要穴	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上記の内容を説明でき、問題を解くことができる	
12	授業内容	問題演習⑫ 要穴	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上記の内容を説明でき、問題を解くことができる	
13	授業内容	問題演習⑬ 取穴法	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	上記の内容を説明でき、問題を解くことができる	
14	授業内容	問題演習⑭ 奇経八脈・奇穴	授業内で配布された講義プリントおよび復習プリントを用いて行う
	到達目標	本学習の内容を説明でき、問題を解くことができる	
15	授業内容	問題演習⑮評価（まとめ含む）	
	到達目標	本学習の内容について修得している	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	総合鍼灸学Ⅱ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	中本 琴音	E-mail			実施時期	3年 前期	

授業の目的

国家試験の「臨床医学各論」「臨床医学総論」の科目について、問題演習により理解を深め、試験問題に対応できる知識を完璧化することを目的とします。

到達目標

国家試験で出題頻度の高い分野を中心に学習し、臨床医学各論、総論で **70%以上得点**することを目標とする。

授業の内容

授業は過去の国家試験等を用いて問題演習形式で行い、問題を解いた後に解答を導くのに必要な基礎知識を含めて解説を行う。なお、授業を受けるにあたって当該範囲の内容について**必ず予習**をして授業に臨むこと。また、授業後は必ず復習を行い知識の整理と定着を行うこと。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

評価は期末試験で評価し、60%以上の得点で合格とする。

テキスト

- ・『鍼灸医学演習テキスト』 明治東洋医学院編集
- ・『臨床医学各論』 東洋療法学校協会編
- ・2年次に履修した臨床医学論の授業配布プリント

参考文献・図書

オフィスアワーについて

曜日： 金曜日

時間： 13時00分～14時00分、16時00分～17時00分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度を目安）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション・問題演習 【臨床医学総論問題演習①】	本日授業を行った範囲の復習 第2回の範囲の予習
	到達目標	【臨床医学総論問題演習①】に関する重要事項を理解する。	
2	授業内容	問題演習 【臨床医学総論問題演習②】	本日授業を行った範囲の復習 第3回の範囲の予習
	到達目標	【臨床医学総論問題演習②】に関する重要事項を理解する。	
3	授業内容	問題演習 【臨床医学総論問題演習③】	本日授業を行った範囲の復習 第4回の範囲の予習
	到達目標	【臨床医学総論問題演習④】に関する重要事項を理解する。	
4	授業内容	問題演習 【臨床医学総論問題演習⑤】	本日授業を行った範囲の復習 第5回の範囲の予習
	到達目標	【臨床医学総論問題演習⑤】に関する重要事項を理解する。	
5	授業内容	問題演習 【感染症】・【神経・筋疾患】	本日授業を行った範囲の復習 第6回の範囲の予習
	到達目標	【感染症】・【神経・筋疾患】に関する重要事項を理解する。	
6	授業内容	問題演習 【神経・筋疾患】・【呼吸器・胸壁疾患】	本日授業を行った範囲の復習 第7回の範囲の予習
	到達目標	【神経・筋疾患】・【呼吸器・胸壁疾患】に関する重要事項を理解する。	
7	授業内容	問題演習 【循環器疾患】	本日授業を行った範囲の復習 第8回の範囲の予習
	到達目標	【循環器疾患】に関する重要事項を理解する。	
8	授業内容	問題演習 【消化器疾患】	本日授業を行った範囲の復習 第9回の範囲の予習
	到達目標	【消化器疾患】に関する重要事項を理解する。	
9	授業内容	問題演習 【泌尿生殖器疾患】・【血液・造血器疾患】	本日授業を行った範囲の復習 第10回の範囲の予習
	到達目標	【泌尿生殖器疾患】・【血液・造血器疾患】に関する重要事項を理解する。	
10	授業内容	問題演習 【代謝・栄養疾患】・【内分泌疾患】	本日授業を行った範囲の復習 第11回の範囲の予習
	到達目標	【代謝・栄養疾患】・【内分泌疾患】に関する重要事項を理解する。	
11	授業内容	問題演習 【自己免疫疾患】	本日授業を行った範囲の復習 第12回の範囲の予習
	到達目標	【自己免疫疾患】に関する重要事項を理解する。	
12	授業内容	問題演習 【運動器疾患①】	本日授業を行った範囲の復習 第13回の範囲の予習
	到達目標	【運動器疾患①】に関する重要事項を理解する。	
13	授業内容	問題演習 【運動器疾患②】	本日授業を行った範囲の復習 第14回の範囲の予習
	到達目標	【運動器疾患②】に関する重要事項を理解する。	
14	授業内容	問題演習 【皮膚・頭頸部疾患】・【精神・心身医学的疾患】	本日授業を行った範囲の復習 第15回の範囲の予習
	到達目標	【皮膚・頭頸部疾患】・【精神・心身医学的疾患】に関する重要事項を理解する。	
15	授業内容	まとめ（評価を含む）	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	総合鍼灸学Ⅲ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ ⑧
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	田口 敬太	E-mail		実施時期	3 年 前期		

授業の目的

国家試験の「東洋医学概論」「東洋医学臨床論（東洋）」の科目について、問題演習により理解を深め、試験問題に対応できる能力を完璧化することを目的とします。

到達目標

国家試験と同等程度のレベルの問題を解き、70%以上が正解となるよう理解を深める。

授業の内容

この授業では、東洋医学概論と東洋医学臨床論（東洋）の国家試験対策として、重要事項の解説を行った後、問題を解き、その問題解説を行っていきます。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の 2/3 以上の出席。

成績評価

- ・総授業時間数の 2/3 以上出席したものを評価対象とします。
- ・無断での途中退出についても**欠席扱い**とします。
- ・期末に筆記試験を行い、60%以上で単位が認定されます。

テキスト

- ・配布プリント
- ・鍼灸医学演習テキスト（上・下）
- ・東洋療法学校協会編「新版 東洋医学概論」「東洋医学臨床論」

参考文献・図書

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 東洋医学概論 1. 東洋医学の基礎～気・血・津液の生理	事前に配布する問題を解く（予習）
	到達目標	問題解決について理解できる	不明な点を確認する（復習）
2	授業内容	東洋医学概論 2. 六臓、六腑、奇恒の腑	事前に配布する問題を解く（予習）
	到達目標	問題解決について理解できる	不明な点を確認する（復習）
3	授業内容	東洋医学概論 3. 臓腑経絡論、病因論	事前に配布する問題を解く（予習）
	到達目標	問題解決について理解できる	不明な点を確認する（復習）
4	授業内容	東洋医学概論 4. 病理と病症	事前に配布する問題を解く（予習）
	到達目標	問題解決について理解できる	不明な点を確認する（復習）
5	授業内容	東洋医学概論 5. 病理と病証	事前に配布する問題を解く（予習）
	到達目標	問題解決について理解できる	不明な点を確認する（復習）
6	授業内容	東洋医学概論 6. 診察法と治療法	事前に配布する問題を解く（予習）
	到達目標	問題解決について理解できる	不明な点を確認する（復習）
7	授業内容	東洋医学臨床論 1. 診察と記録、施術の基礎	事前に配布する問題を解く（予習）
	到達目標	問題解決について理解できる	不明な点を確認する（復習）
8	授業内容	東洋医学臨床論 2. 症候に対するアプローチ①	事前に配布する問題を解く（予習）
	到達目標	問題解決について理解できる	不明な点を確認する（復習）
9	授業内容	東洋医学臨床論 3. 症候に対するアプローチ②	事前に配布する問題を解く（予習）
	到達目標	問題解決について理解できる	不明な点を確認する（復習）
10	授業内容	東洋医学臨床論 4. 症候に対するアプローチ③ 疾患に対するアプローチ①	事前に配布する問題を解く（予習）
	到達目標	問題解決について理解できる	不明な点を確認する（復習）
11	授業内容	東洋医学臨床論 5. 疾患に対するアプローチ②	事前に配布する問題を解く（予習）
	到達目標	問題解決について理解できる	不明な点を確認する（復習）
12	授業内容	東洋医学臨床論 6. 疾患に対するアプローチ③	事前に配布する問題を解く（予習）
	到達目標	問題解決について理解できる	不明な点を確認する（復習）
13	授業内容	東洋医学臨床論 7. 疾患に対するアプローチ④	事前に配布する問題を解く（予習）
	到達目標	問題解決について理解できる	不明な点を確認する（復習）
14	授業内容	東洋医学臨床論 8. 高齢者、スポーツ領域	事前に配布する問題を解く（予習）
	到達目標	問題解決について理解できる	不明な点を確認する（復習）
15	授業内容	東洋医学系 その他の問題 まとめ（評価含む）	
	到達目標	問題解決について理解できる	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	総合鍼灸学Ⅳ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	谷口 剛志	E-mail		実施時期	3 年 後期		

授業の目的	
国家試験科目について、問題演習により理解を深め、試験問題に対応できる能力を完璧化することを目的とします。	
到達目標	
国家試験において8割以上正解し、国家試験に合格すること。	
授業の内容	
<p>(1) 国家試験で出題される知識の確認</p> <p>(2) 演習試験で出題された問題の確認</p> <p>(3) 国家試験過去問題の演習</p> <p>(4) 模擬試験問題の演習</p>	
注意事項	
<p>※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。</p> <p>※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。</p> <p>※受験資格：本授業の2/3以上の出席。</p>	
成績評価	
<p>学期末の期末試験を実施し、60点以上で合格とします。</p> <p>※受験資格：本授業の2/3以上の出席。</p>	
テキスト	
参考文献・図書	
オフィスアワーについて	
曜日：	
時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
<p>授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。</p>	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習 (予習・復習)
1	授業内容	問題演習①	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
2	授業内容	問題演習②	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
3	授業内容	問題演習③	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
4	授業内容	問題演習④	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
5	授業内容	問題演習⑤	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
6	授業内容	問題演習⑥	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
7	授業内容	問題演習⑦	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
8	授業内容	問題演習⑧	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
9	授業内容	問題演習⑨	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
10	授業内容	問題演習⑩	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
11	授業内容	問題演習⑪	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
12	授業内容	問題演習⑫	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
13	授業内容	問題演習⑬	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
14	授業内容	問題演習⑭	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
15	授業内容	問題演習⑮	
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	総合鍼灸学Ⅴ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有 ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	中本 琴音	E-mail		実施時期	3 年 後期		

授業の目的

国家試験の「東洋医学臨床論（現代）」の科目について、問題演習により理解を深め、試験問題に対応できる能力を完璧化することを目的とします。

到達目標

国家試験の「東洋医学臨床論（現代）」で問われている現代医学的な病態および治療について、知識の整理を図るとともに、試験問題に対応できる能力を養う。

授業の内容

1. 授業方法は、鍼灸医学演習テキスト・板書・プリントを用いて講義形式で行います。
2. 国家試験過去問・出題が予想される問題を解いて解説をします。
3. 自学自習（予習・復習）には演習テキスト・プリントを活用してください。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

期末試験（100点満点）で評価します。単位認定は60点以上です。

テキスト

「鍼灸医学演習テキスト 上・下巻」 明治東洋医学院

参考文献・図書

「徹底攻略！ 国家試験過去問題集 はり師きゅう師用」医道の日本社

オフィスアワーについて

曜日：

時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	東洋医学臨床論（現代）問題演習①	事前に提示された問題を解き、問題の解答・解説を復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	
2	授業内容	東洋医学臨床論（現代）問題演習②	事前に提示された問題を解き、問題の解答・解説を復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	
3	授業内容	東洋医学臨床論（現代）問題演習③	事前に提示された問題を解き、問題の解答・解説を復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	
4	授業内容	東洋医学臨床論（現代）問題演習④	事前に提示された問題を解き、問題の解答・解説を復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	
5	授業内容	東洋医学臨床論（現代）問題演習⑤	事前に提示された問題を解き、問題の解答・解説を復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	
6	授業内容	東洋医学臨床論（現代）問題演習⑥	事前に提示された問題を解き、問題の解答・解説を復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	
7	授業内容	東洋医学臨床論（現代）問題演習⑦	事前に提示された問題を解き、問題の解答・解説を復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	
8	授業内容	東洋医学臨床論（現代）問題演習⑧	事前に提示された問題を解き、問題の解答・解説を復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	
9	授業内容	東洋医学臨床論（現代）問題演習⑨	事前に提示された問題を解き、問題の解答・解説を復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	
10	授業内容	東洋医学臨床論（現代）問題演習⑩	事前に提示された問題を解き、問題の解答・解説を復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	
11	授業内容	東洋医学臨床論（現代）問題演習⑪	事前に提示された問題を解き、問題の解答・解説を復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	
12	授業内容	東洋医学臨床論（現代）問題演習⑫	事前に提示された問題を解き、問題の解答・解説を復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	
13	授業内容	東洋医学臨床論（現代）問題演習⑬	事前に提示された問題を解き、問題の解答・解説を復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	
14	授業内容	東洋医学臨床論（現代）問題演習⑭	事前に提示された問題を解き、問題の解答・解説を復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	提示された問題を解き、復習して下さい。
	到達目標	提示された問題を理解し、正しく解答できる。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	総合鍼灸学Ⅵ	単位数	1単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有・ 
		時間数	30時間				
実務経験内容							
担当者	田中 健吾 半田 由美子 中本 琴音 宮城 凌央	E-mail		実施時期	3年 時間外		

授業の目的

国家試験の「医療概論」「病理学」「衛生学」「公衆衛生学」「リハビリテーション医学」の科目について、問題演習により理解を深め、試験問題に対応できる能力を完璧化することを目的とします。

到達目標

上記した科目について国家試験上記した科目について国家試験上記した科目について国家試験上記した科目について国家試験に必要な知識を習得することができる。

授業の内容

この授業では上記した科目について、配布される資料に基づき、解説を行います。

注意事項

※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、**無断での途中退出や早退は「欠席」となります。**注意してください。

※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。

※受験資格：本授業の2/3以上の出席。

成績評価

授業時数の3分の2以上出席したものを評価対象とします。

期末筆記試験での評価を行います。

テキスト

医学演習テキスト 上巻・下巻

参考文献・図書

オフィスアワーについて

曜日：金曜日

時間：16時30分～17時30分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 医療概論（全般）	学んだことを復習しておく。
	到達目標	内容について知識を習得している。	
2	授業内容	関係法規（全般）	学んだことを復習しておく。
	到達目標	内容について知識を習得している。	
3	授業内容	衛生・公衆衛生 概念、健康の保持増進と予防、ライフスタイルと健康	学んだことを復習しておく。
	到達目標	内容について知識を習得している。	
4	授業内容	衛生・公衆衛生 健康と環境、産業保険、精神保健、母子保健	学んだことを復習しておく。
	到達目標	内容について知識を習得している。	
5	授業内容	衛生・公衆衛生 成人・高齢者保健、感染症対策、消毒法	学んだことを復習しておく。
	到達目標	内容について知識を習得している。	
6	授業内容	衛生・公衆衛生 疫学、保健統計、国際保健	学んだことを復習しておく。
	到達目標	内容について知識を習得している。	
7	授業内容	病理学概論 病理学の基礎、病因	学んだことを復習しておく。
	到達目標	内容について知識を習得している。	
8	授業内容	病理学概論 細胞傷害と修復	学んだことを復習しておく。
	到達目標	内容について知識を習得している。	
9	授業内容	病理学概論 循環障害、炎症	学んだことを復習しておく。
	到達目標	内容について知識を習得している。	
10	授業内容	病理学概論 免疫異常、腫瘍	学んだことを復習しておく。
	到達目標	内容について知識を習得している。	
11	授業内容	リハビリテーション医学 リハビリテーションの概要、障害の評価	学んだことを復習しておく。
	到達目標	内容について知識を習得している。	
12	授業内容	リハビリテーション医学 治療、運動学、脳卒中のリハビリテーション	学んだことを復習しておく。
	到達目標	内容について知識を習得している。	
13	授業内容	リハビリテーション医学 脊髄損傷・切断・小児のリハビリテーション	学んだことを復習しておく。
	到達目標	内容について知識を習得している。	
14	授業内容	リハビリテーション医学 呼吸器・循環器・運動器疾患・神経疾患のリハビリテーション	学んだことを復習しておく。
	到達目標	内容について知識を習得している。	
15	授業内容	まとめ（評価含む） 本授業の内容について確認・復習をする。	
	到達目標	本授業の内容について知識を習得している。	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	総合鍼灸学Ⅶ	単位数	1単位	授業形態	講義	実務経験の有無	有・ <input type="checkbox"/>
		時間数	30時間				
実務経験内容							
担当者	田中 健吾 杉本 直子	E-mail		実施時期	3年 時間外		

授業の目的	
国家試験の「はりきゅう理論」「生理学」の科目について、問題演習により理解を深め、試験問題に対応できる能力を完璧化することを目的とします。	
到達目標	
国家試験のはり理論（10問）、きゅう理論（10問）、生理学において8割以上正解し、国家試験に合格すること。	
授業の内容	
<ul style="list-style-type: none"> (1) はり理論、きゅう理論、生理学の知識の確認 (2) 演習試験問題で出題された問題の確認 (3) 国家試験過去問題の演習 (4) はりきゅう理論、生理学関連科目の確認 	
注意事項	
<p>※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。</p> <p>※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。</p> <p>※受験資格：本授業の2/3以上の出席。</p>	
成績評価	
<ul style="list-style-type: none"> 1) 第15回に実施する期末試験で評価します。 2) 期末試験は全て4択問題を出題します。 3) 2/3以上出席しないと、評価認定をおこないません。 4) 授業態度を評価に加えます。 	
テキスト	
東洋療法学校協会編 「はりきゅう理論」 鍼灸医学演習テキスト 下巻	
参考文献・図書	
医道の日本社 国家試験問題集 はり師きゅう師用	
オフィスアワーについて	
曜日：	
時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 鍼・灸の基礎知識	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	毫鍼・古代九鍼、灸の材料、国試の過去問および練習問題の実践と解説	
2	授業内容	基本的刺鍼方法、灸術の種類	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	刺鍼の術式、基本 17 手技、有痕灸・無痕灸など、国試の過去問および練習問題の実践と解説	
3	授業内容	基本的刺鍼方法、灸術の種類、特殊鍼法、鍼灸の臨床応用	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	基本 17 手技、小児鍼、皮内鍼、円皮鍼、灸頭鍼、鍼通電、刺激量、感受性、適応と禁忌など、国試の過去問および練習問題の実践と解説	
4	授業内容	鍼灸の臨床応用、リスク管理	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	刺激量、感受性、適応と禁忌、医療過誤と副作用、感染症対策など、国試の過去問および練習問題の実践と解説	
5	授業内容	鍼灸治効の基礎	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	鍼刺激・灸刺激の受容と伝導、感覚の中枢内殿道路、鍼灸刺激と反射、鍼鎮痛、血流改善など、国試の過去問および練習問題の実践と解説	
6	授業内容	鍼灸治効の基礎	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	鍼刺激・灸刺激の受容と伝導、感覚の中枢内殿道路、鍼灸刺激と反射、鍼鎮痛、血流改善など、国試の過去問および練習問題の実践と解説	
7	授業内容	鍼灸治効の基礎	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	鍼刺激・灸刺激の受容と伝導、感覚の中枢内殿道路、鍼灸刺激と反射、鍼鎮痛、血流改善など、国試の過去問および練習問題の実践と解説	
8	授業内容	鎮痛のまとめ	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	オピオイド系鎮痛、ゲートコントロール理論、DNIC など、国試の過去問および練習問題の実践と解説	
9	授業内容	生理学演習①	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国試の過去問および練習問題の実践と解説	
10	授業内容	生理学演習②	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国試の過去問および練習問題の実践と解説	
11	授業内容	生理学演習③	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国試の過去問および練習問題の実践と解説	
12	授業内容	生理学演習④	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国試の過去問および練習問題の実践と解説	
13	授業内容	生理学演習⑤	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国試の過去問および練習問題の実践と解説	
14	授業内容	生理学演習⑥	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国試の過去問および練習問題の実践と解説	
15	授業内容	まとめ（評価含む）	
	到達目標		

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	総合鍼灸学Ⅷ	単位数	1 単位	授業形態	講義	実務経験の有無	無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	谷口 剛志	E-mail		実施時期	3 年 時間外		

授業の目的	
国家試験科目について、問題演習により理解を深め、試験問題に対応できる能力を完璧化することを目的とします。	
到達目標	
国家試験において8割以上正解し、国家試験に合格すること。	
授業の内容	
<p>(1) 国家試験で出題される知識の確認</p> <p>(2) 演習試験で出題された問題の確認</p> <p>(3) 国家試験過去問題の演習</p> <p>(4) 模擬試験問題の演習</p>	
注意事項	
<p>※医療人として相応しい人間性（知識・技能）の習得を目的に、全出席を基本原則とします。予測できない病気などで欠席する場合がありますので、日頃から全出席を心がけてください。また、無断での途中退出や早退は「欠席」となります。注意してください。</p> <p>※教室内は一つの社会です。他の学生が不快となるような言動は慎み、全員による居心地の良い教室空間の構築を期待します。</p> <p>※受験資格：本授業の2/3以上の出席。</p>	
成績評価	
<p>学期末の期末試験を実施し、60点以上で合格とします。</p> <p>※受験資格：本授業の2/3以上の出席。</p>	
テキスト	
参考文献・図書	
オフィスアワーについて	
曜日：	
時間： 時 分～ 時 分	
授業時間外の学習について	
<p>授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。</p>	

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習 (予習・復習)
1	授業内容	問題演習①	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
2	授業内容	問題演習②	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
3	授業内容	問題演習③	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
4	授業内容	問題演習④	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
5	授業内容	問題演習⑤	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
6	授業内容	問題演習⑥	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
7	授業内容	問題演習⑦	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
8	授業内容	問題演習⑧	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
9	授業内容	問題演習⑨	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
10	授業内容	問題演習⑩	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
11	授業内容	問題演習⑪	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
12	授業内容	問題演習⑫	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
13	授業内容	問題演習⑬	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
14	授業内容	問題演習⑭	本講義内容を復習しておく。
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	
15	授業内容	問題演習⑮	
	到達目標	国家試験に出題される全範囲の問題の実践と解説	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	総合鍼灸学演習	単位数	1 単位	授業形態	演習	実務経験の有無	㊦ ・ 無
		時間数	30 時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	谷口 剛志	E-mail		実施時期	3 年 時間外		

授業の目的
3 年間の学習の総括として、鍼灸の研究（基礎・臨床・調査）・現場で用いる臨床技能（演習・実習）・国家試験に対応した学習等を行い、総合的な能力を修得することを目的とする。
到達目標
3 年間の総括として、自らの興味がある領域の学習を深めるとともに、生涯教育として鍼灸臨床の学びを深める基礎を確立する。
授業の内容
卒業研究 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健美鍼灸コース ・ 健康スポーツ鍼灸コース ・ 医療連携鍼灸コース ・ 研究コース ・ 臨床コース ・ 学修コース
注意事項
卒業研究については、担当教員の指示に従って履修して下さい。
成績評価
担当教員が提示する評価項目(卒業研究論文、レポート、臨床実技能の確認)で評価します。
テキスト
各指導教員により指示
参考文献・図書
特になし
オフィスアワーについて
随時
授業時間外の学習について
授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	救急処置実習	単位数	1 単位	授業形態	実習	実務経験の有無	無
		時間数	30 時間				
実務経験内容							
担当者	秋津 知宏	E-mail				実施時期	2年 時間外

授業の目的

傷病者や怪我人に対する応急処置・救急処置を理解することを目的とし、実際に三角巾や包帯、テーピングなどで応急処置を実施できる能力を身につけることを目的とします。

到達目標

- 疾病・疾患を理解することができる。
- 疾病・疾患に対し適切な判断をすることができる。
- 応急手当・救急処置を実施することができる。

授業の内容

- 赤十字基礎講習や救急法講習で行われている内容に沿って学びます。
- 応急手当・処置が必要な怪我や病気等について学びます。
- 怪我や病気等の発生時に必要な応急手当・処置について学びます。
- テーピング等の固定材料を使用して固定法を実施します。

注意事項

- 教科書・筆記用具・配布プリント・ノート等を持参して下さい。
- 授業中の私語、携帯電話・スマートフォンの使用、飲食は禁止します。
- 途中退席は欠席扱いになることがあります。
- 課題の提出を求めることがあります。

成績評価

- 授業時間数の 4/5 以上の出席が評価対象となります。
- 学期途中に行う確認試験（筆記試験）および授業内評価（実技試験）を行い、100 点満点で評価します。
- 合計点が 60 点以上で合格となります。

テキスト

参考文献・図書

- 赤十字救急法基礎講習 第5版
- 赤十字救急法講習

オフィスアワーについて

曜日：
時間： 時 分～ 時 分

授業時間外の学習について

授業計画を確認し、配布資料・講義中の指示をもとに予習・復習（50分程度）を行ってください。復習を行って理解できない場合はそのままにせず、必ず質問に来てください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画			授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	オリエンテーション 手当の基本について①	手当の基本を復習する
	到達目標	手当の基本を説明することができる	
2	授業内容	手当の基本について② 一次救命処置について①	応急処置を予習しておく 一次救命処置を復習する
	到達目標	胸骨圧迫について説明することができる	
3	授業内容	一次救命処置について②	外科的疾患を予習しておく 外科的応急処置を復習する 急病の処置を復習する
	到達目標	人工呼吸・AEDについて説明することができる	
4	授業内容	応急処置について 熱中症について①	怪我等に対する応急処置を復習する
	到達目標	怪我の応急処置や熱中症について説明することができる	
5	授業内容	熱中症について②	熱中症について復習する
	到達目標	熱中症について説明することができる	
6	授業内容	応急救急法について	怪我等に対する応急手当を復習する
	到達目標	応急救急法について説明することができる	
7	授業内容	確認試験 応急手当・救急処置の内容について確認・復習する	これまでの内容について（特に第1回～6回）復習しておく 応急手当・救急処置を復習する
	到達目標	応急手当・救急処置の内容を習得している	
8	授業内容	応急手当・救急処置の実践1 三角巾の取り扱い方、使用方法について学ぶ	三角巾の使用方法を復習する
	到達目標	三角巾を使用して応急手当ができる	
9	授業内容	テーピング・固定1 足関節のテーピング・固定について実技を交えて学ぶ	足関節の解剖を予習しておく 足関節のテーピング・固定を復習する
	到達目標	足関節のテーピング・固定を実施することができる	
10	授業内容	テーピング・固定2 足関節のテーピング・固定について実技を交えて学ぶ	足関節の解剖を予習しておく 足関節のテーピング・固定を復習する
	到達目標	足関節のテーピング・固定について実技を交えて学ぶ	
11	授業内容	頸部急性疾患に対する処置の実践	頸部の解剖を予習しておく 頸部のテーピング・固定を復習する
	到達目標	頸部急性疾患に対する処置を実践することができる	
12	授業内容	腰部急性疾患に対する処置の実践1	腰部の解剖を予習しておく 腰部のテーピング・固定を復習する
	到達目標	腰部のテーピング・固定を行うことができる	
13	授業内容	腰部急性疾患に対する処置の実践2	腰部の解剖を予習しておく 腰部のテーピング・固定を復習する
	到達目標	腰部のテーピング・固定を行うことができる	
14	授業内容	肩部急性疾患に対する処置の実践	肩部の解剖を予習しておく 肩部のテーピング・固定を復習する
	到達目標	肩部のテーピング・固定を行うことができる	
15	授業内容	まとめ（評価を含む） 本実習の内容について確認・復習をする	
	到達目標	本実習の内容についての技術を習得している	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	インターンシップ 実習Ⅱ	単位数	1単位	授業形態	実習	実務経験 の有無	無
		時間数	40時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	谷口 剛志	E-mail		実施時期	2年		

授業の目的

鍼灸治療、主に美容鍼灸の現場での患者を迎え入れる準備、心構え、患者とのコミュニケーション、治療方針の決定と鍼灸治療まで、一連の流れを見修することにより、臨床能力を高めること目的としています。また、将来のキャリアを意識体験することにより学修意欲を高め、キャリアビジョン形成することを目的としている。

到達目標

1. 美容鍼灸師による患者の理解し、思いやりを持った態度で接するとともに、患者とのコミュニケーションの特徴を説明することができる。
2. 美容鍼灸師による医療面接、身体診察、四診からの現代・東洋医学的病能把握を説明することができる。
3. 美容鍼灸師による現代・東洋医学的病能把握に基づいて適切な治療方針、適切な鍼灸治療を説明できる。

授業の内容

美容鍼灸の現場を見修することにより、将来の美容鍼灸師像を学ぶ。

注意事項

1. 現場では実際の患者に対して医療面接から治療まで見修を行います。
医療人として、実習生として相応しい態度、身だしなみで実習に臨んでください。
2. 患者、指導者への挨拶は積極的に行い、気遣いを心がけてください。
3. 実習先では指導者に従って積極的に実習を行ってください。
4. 実習先で得た個人情報には守秘義務があります。絶対に漏らさないでください。
そのほか、実施要領に記載された項目を確認してください。

成績評価

・ポートフォリオ、レポート等により評価します。

テキスト

参考文献・図書

オフィスアワーについて

授業時間外の学習について

実習の内容について、必ずその日のうちに振り返り、レポートの作成など、記憶にとどめるように努力すること。その際に、翌日の行動目標についても確認して実りある実習としてください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画		授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	その日のうちに振り返り、レポートの作成など、記憶にとどめる
	到達目標	
2	授業内容	
	到達目標	
3	授業内容	
	到達目標	
4	授業内容	
	到達目標	
5	授業内容	
	到達目標	
6	授業内容	
	到達目標	
7	授業内容	
	到達目標	
8	授業内容	
	到達目標	
9	授業内容	
	到達目標	
10	授業内容	
	到達目標	
11	授業内容	
	到達目標	
12	授業内容	
	到達目標	
13	授業内容	
	到達目標	
14	授業内容	
	到達目標	
15	授業内容	
	到達目標	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	インターンシップ 実習Ⅲ	単位数	1単位	授業形態	実習	実務経験 の有無	有
		時間数	40時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	谷口 剛志	E-mail		実施時期	2年		

授業の目的

鍼灸治療、主にスポーツ現場での患者を迎え入れる準備、心構え、患者とのコミュニケーションと医療情報の聴取、検査、病態把握、治療方針の決定と鍼灸治療まで、一連の流れを見修することにより、臨床能力を高めること目的としています。また、将来のキャリアを意識体験することにより学修意欲を高め、キャリアビジョン形成することを目的としている。

到達目標

1. スポーツ鍼灸師(スポーツトレーナー)による患者の苦痛を理解し、思いやりを持った態度で接するとともに、患者とのコミュニケーションの特徴を説明することができる。
2. スポーツ鍼灸師(スポーツトレーナー)による医療面接、身体診察、四診からの現代・東洋医学的病態把握を説明することができる。
3. スポーツ鍼灸師(スポーツトレーナー)による現代・東洋医学的病態把握に基づいて適切な治療方針、適切な鍼灸治療を説明できる。

授業の内容

スポーツ現場にて見修ことにより、将来のスポーツ鍼灸師像(スポーツトレーナー)を学ぶ。

注意事項

1. 現場では実際の患者に対して医療面接、検査から治療まで見修を行います。
医療人として、実習生として相応しい態度、身だしなみで実習に臨んでください。
2. 患者、指導者への挨拶は積極的に行い、気遣いを心がけてください。
3. 実習先では指導者に従って積極的に実習を行ってください。
4. 実習先で得た個人情報には守秘義務があります。絶対に漏らさないでください。
そのほか、実施要領に記載された項目を確認してください。

成績評価

・ポートフォリオ、レポート等により評価します。

テキスト

参考文献・図書

オフィスアワーについて

授業時間外の学習について

実習の内容について、必ずその日のうちに振り返り、レポートの作成など、記憶にとどめるように努力すること。その際に、翌日の行動目標についても確認して実りある実習としてください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画		授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	その日のうちに振り返り、レポートの作成など、記憶にとどめる
	到達目標	
2	授業内容	
	到達目標	
3	授業内容	
	到達目標	
4	授業内容	
	到達目標	
5	授業内容	
	到達目標	
6	授業内容	
	到達目標	
7	授業内容	
	到達目標	
8	授業内容	
	到達目標	
9	授業内容	
	到達目標	
10	授業内容	
	到達目標	
11	授業内容	
	到達目標	
12	授業内容	
	到達目標	
13	授業内容	
	到達目標	
14	授業内容	
	到達目標	
15	授業内容	
	到達目標	

【鍼灸学科授業シラバス】

科目名	インターンシップ 実習Ⅳ	単位数	1単位	授業形態	実習	実務経験 の有無	無
		時間数	40時間				
実務経験内容		明治東洋医学院専門学校附属治療所勤務					
担当者	谷口 剛志	E-mail		実施時期	3年		

授業の目的

鍼灸治療、主に病院内や医療連携の現場の患者を迎え入れる準備、心構え、患者とのコミュニケーションと医療情報の聴取、検査、病態把握、治療方針の決定と鍼灸治療まで、一連の流れを見修することにより、臨床能力を高めること目的としています。また、将来のキャリアを意識体験することにより学修意欲を高め、キャリアビジョン形成することを目的としている。

到達目標

1. 病院内や医療連携を行う鍼灸師による患者の苦痛を理解し、思いやりを持った態度で接するとともに、患者とのコミュニケーションの特徴を説明することができる。
2. 病院内や医療連携を行う鍼灸師による医療面接、身体診察、四診からの現代・東洋医学的病態把握を説明することができる。
3. 病院内や医療連携を行う鍼灸師による現代・東洋医学的病態把握に基づいて適切な治療方針、適切な鍼灸治療を説明できる。

授業の内容

病院内や医療連携の現場を見修することにより、将来の病院内や医療連携を行う鍼灸師像を学ぶ。

注意事項

1. 現場では実際の患者に対して医療面接、検査から治療まで見修を行います。
医療人として、実習生として相応しい態度、身だしなみで実習に臨んでください。
2. 患者、指導者への挨拶は積極的に行い、気遣いを心がけてください。
3. 実習先では指導者に従って積極的に実習を行ってください。
4. 実習先で得た個人情報には守秘義務があります。絶対に漏らさないでください。
そのほか、実施要領に記載された項目を確認してください。

成績評価

・ポートフォリオ、レポート等により評価します。

テキスト

参考文献・図書

オフィスアワーについて

授業時間外の学習について

実習の内容について、必ずその日のうちに振り返り、レポートの作成など、記憶にとどめるように努力すること。その際に、翌日の行動目標についても確認して実りある実習としてください。

【鍼灸学科授業シラバス】

授業計画		授業時間外学習（予習・復習）
1	授業内容	その日のうちに振り返り、レポートの作成など、記憶にとどめる
	到達目標	
2	授業内容	
	到達目標	
3	授業内容	
	到達目標	
4	授業内容	
	到達目標	
5	授業内容	
	到達目標	
6	授業内容	
	到達目標	
7	授業内容	
	到達目標	
8	授業内容	
	到達目標	
9	授業内容	
	到達目標	
10	授業内容	
	到達目標	
11	授業内容	
	到達目標	
12	授業内容	
	到達目標	
13	授業内容	
	到達目標	
14	授業内容	
	到達目標	
15	授業内容	
	到達目標	